

Tohoku University Fact Book 2018

東北大学概要 2018



TOHOKU
UNIVERSITY

CONTENTS

〈はじめに〉

歴史的背景・東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー	01
東北大学の使命・基本的な目標・学生歌・校友歌	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11

〈組 織〉

運営組織	13
機構図	14
役員・主な役職者	15
総長選考会議	19
役員会	19
経営協議会	19
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所・研究施設・組織・機構等	25
附属図書館	27
病院	28

〈学 生〉

学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数・学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	35
校友会	36

〈財 務〉

平成29年度収入・支出予算	37
研究費等受入状況	37
土地・建物	39

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

災害復興新生研究機構	41
革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)	42
研究大学強化促進事業	42
スーパーグローバル大学創成支援	43
教育	44
寄附講座・寄附研究部門	45
共同研究講座・共同研究部門	45
産学連携	46
社会との連携協力	47

〈国際交流〉

学術交流協定締結等	49
研究者等交流状況	56
外国人留学生数	59
国際的な大学連合への加盟	63
海外拠点	64

〈キャンパス〉

施設所在地一覧	65
建物配置図	67

歴史的背景

東北大学は、1907年(明治40年)に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー

東北大学では、公式ロゴマークを平成17年3月に制定した。「Creativity」「Global」「Tradition」をキーコンセプトに、仙台を象徴する植物、「萩」をモチーフとし、世界に大きく広がっていく動きがデザインされている。また、公式カラーは、「紫」と「黒」の二色を採用しており、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表現している。

平成19年6月には東北大学ロゴマークを学章とするとともに、「紫」をスクールカラーとした。



東北大学の使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

大学の基本的な目標

東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。

1 教育目標・教育理念 — 「指導的人材の養成」

- ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
- ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

2 使命 — 「研究センター大学」

- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究センター大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

3 基本方針 — 「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」

- ・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」であることを目指す。
- ・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。
- ・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。

学生歌・校友歌

半世紀以上に渡って親しまれてきた「青葉もゆるこのみちのく」を、平成19年の創立百周年を機に正式に学生歌として制定した。また、平成25年には「緑の丘」を同窓生、在校生、教職員、そして東北大学を支えるすべての関係者のための歌である校友歌とし、今後、この2曲を大切に歌い継いでいくこととした。

はじめに

東北大学は1907年の建学以来、111年にわたり「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、及び「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出し、独創的かつ世界トップレベルの研究成果を挙げてきました。我が国を代表する総合研究大学として、東北大学をさらに発展させるため、これからも力を尽くして参ります。

さて、私たちが生きている世界は、今、大きく変わろうとしています。グローバル化の一層の進展はもちろんのこと、第4次産業革命の進行、特に人工知能やIoT（Internet of Things）の急速な普及により、社会の仕組みが根本から変わりつつあると多くの人が感じています。また、国際社会の多極化に伴って日々複雑さを増す国際情勢も、世界が転換期を迎えていることを示唆しています。このように地球規模で社会・経済の構造が急激に変化する中で、広義のイノベーションの源泉となる卓越した知と、イノベーションそのものの根幹を担う多彩な人材を生み出す総合研究大学の役割は、かつてないほど重要性を増しています。



創造と変革を先導する大学へ

里見進 前総長は、東日本大震災の直後の2012年に総長に就任され、混乱した状況にあった本学の学生・教職員を勇気づけ、24年にわたるキャンパス整備事業を継承して世界に誇るべき青葉山新キャンパスを拓き、本学をこれまでも増して活力ある大学へと発展させました。総長としての私の役割は、その成果を土台として、東北大学を「創造と変革を先導する世界屈指の大学」へと成長、飛躍させることです。ここで私たちに求められることは、「世界最高水準の知を創造」することであり、「未来を拓く変革を先導」することであると考えます。これらの営みを通して、学生諸君や若い研究者たちの挑み心を受けとめ、伸ばし、世界で活躍できる人材を育成しなければなりません。

世界最高水準の知を創造する

第一の目標である、世界最高水準の知の創造は、研究第一主義を標榜する本学にとって、建学以来のミッションでもあります。深い学術的理解を追究する基礎研究に加え、社会的ニーズに応える応用研究・基盤研究など、多様な研究を世界的に高い水準を目指して推進する必要があります。これらの卓越した研究を基盤として、先進的な国際共同教育を展開し、世界をリードする人材を輩出します。さらに、分野・国境を越えたオープンサイエンスを加速し、国際的な協働を通して新たな知識や価値を創造します。以上のような多面的な取り組みの総合をもって国際プレゼンスの抜本的な向上を図ります。

未来を拓く変革を先導する

第二に、東北大学は、未来に向けて社会・経済の変革を力強く先導する存在となります。本学は、東日本大震災の被災地に所在する総合研究大学として、これまで地域の復興・新生を牽引し、「社会と共にある大学」という新たなアイデンティティを獲得してきました。現在、本学のあらゆる学問領域は、社会との多様な接点を有しており、社会との双方向の協働を通して価値創造を行っています。今後、このような広義の「社会連携」に対する組織感度を高め、社会のパートナーと共に新たな挑戦に取り組んでいきます。3.11の経験を土台としつつ、多様な社会課題に対して大学の総合力を活かした解を与えるとともに、イノベーションの源泉となる優れた研究成果を創出し、次世代を担う有為な人材を育成します。

伝統を基盤として新たな挑戦へ

さて、東北大学の111年の伝統は、私たち構成員にとってどのような意味を持つのでしょうか。この伝統とは、東北大学の歴史から見て、現在の私たちが到達することを期待される高いスタンダードであると、私は考えています。昨年、本学は世界最高水準の教育研究活動の展開ができると評価され、文部科学大臣から「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。この中で、時代に追従するのではなく、創造と変革を先導して未来を切り拓くことにより、「世界から尊敬される三十傑大学」を目指すことを目標に掲げました。これは、学生諸君、私も含めた教職員、そして東北大学全体にとって、真に挑戦する価値のある目標であると確信しています。

国立大学法人といえども安定した環境が約束されていない時代です。しかし、このような制約の中でも、私たちには新たな物事の進め方を生み出す知の力があります。卓越した教育研究の展開を通して、本学でしか成しえない人材育成と社会連携の成果が形づくられ、それによって国内外における本学の価値が一層高まり、ひいては、それが本学の新たな活力の源となります。この好循環を構成員、関係者の皆様と一緒に確立していきたいと思っておりますので、どうかご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成30年7月

東北大学総長 大野 英 男

歴代総長

歴代総長

代 数	氏 名	在任期間
初 代	澤 柳 政太郎	明治44(1911)年 3月24日～ 大正 2(1913)年 5月 8日
第 2 代	北 條 時 敬	大正 2(1913)年 5月 9日～ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小 川 正 孝	大正 6(1917)年 8月25日～ 大正 6(1917)年10月14日
第 3 代	福 原 鏝二郎	大正 6(1917)年10月15日～ 大正 8(1919)年 6月20日
第 4 代	小 川 正 孝	大正 8(1919)年 6月21日～ 昭和 3(1928)年 6月14日
第 5 代	井 上 仁 吉	昭和 3(1928)年 6月15日～ 昭和 6(1931)年 6月14日
第 6 代	本 多 光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日～ 昭和15(1940)年 5月30日
第 7 代	熊 谷 岱 蔵	昭和15(1940)年 5月31日～ 昭和21(1946)年 2月11日
第 8 代	佐 武 安太郎	昭和21(1946)年 2月12日～ 昭和24(1949)年 3月31日
第 9 代	高 橋 里 美	昭和24(1949)年 4月 1日～ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒 川 利 雄	昭和32(1957)年 7月 1日～ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石 津 照 璽	昭和38(1963)年 7月 1日～ 昭和40(1965)年10月 4日
(事務取扱)	元 村 勲	昭和40(1965)年10月 5日～ 昭和40(1965)年11月19日

代 数	氏 名	在任期間
第12代	本 川 弘 一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水 野 弥 彦	昭和46(1971)年 2月 3日～ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加 藤 陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日～ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前 田 四 郎	昭和52(1977)年 5月 1日～ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石 田 名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日～ 平成 元(1989)年 4月30日
第16代	大 谷 茂 盛	平成 元(1989)年 5月 1日～ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉 永 馨	平成 2(1990)年10月 1日～ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西 澤 潤 一	平成 2(1990)年11月 6日～ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿 部 博 之	平成 8(1996)年11月 6日～ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉 本 高 志	平成14(2002)年11月 6日～ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井 上 明 久	平成18(2006)年11月 6日～ 平成24(2012)年 3月31日
第21代	里 見 進	平成24(2012)年 4月 1日～ 平成30(2018)年 3月31日
第22代	大 野 英 男	平成30(2018)年 4月 1日～



初代 澤柳政太郎



第2代 北條時敬



第3代 福原鏝二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志



第20代 井上明久



第21代 里見進

沿革図

明治9(1876)年8月
札幌農学校

明治40(1907)年 明治40(1907)年9月
創立 農科大学
明治40(1907)年6月
東北帝国大学

大正7(1918)年4月
分離独立・北海道帝国大学
大正8(1919)年4月
大学令

昭和22(1947)年10月 昭和24(1949)年5月
東北大学 新制大学

明治44(1911)年1月
理科大学

大正8(1919)年4月
理学部

明治20(1887)年8月
第二高等学校医学部

明治34(1901)年4月
仙台医学専門学校

明治45(1912)年4月
医学専門部

大正4(1915)年7月
医科大学
大正7(1918)年4月
廃止

大正8(1919)年4月
医学部

昭和14(1939)年5月
臨時附属医学専門部

昭和19(1944)年3月
附属医学専門部

明治39(1906)年4月
仙台高等工業学校

明治45(1912)年4月
工学専門部

大正8(1919)年5月
工学部

大正10(1921)年4月
分離独立・仙台高等工業学校

昭和19(1944)年4月
仙台工業専門学校



正門(昭和初期)



史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月
農学部

大正11(1922)年8月 昭和24(1949)年4月
法文学部 3学部に分立

明治20(1887)年4月
第二高等学校

明治27(1894)年6月
第二高等学校大学予科

大正8(1919)年4月
第二高等学校

昭和24(1949)年5月
教育学部
昭和24(1949)年5月 昭和25(1950)年3月
包括 廃止

昭和24(1949)年6月
分校第一教養部
昭和24(1949)年6月
分校第二教養部
昭和24(1949)年6月
分校第三教養部

明治19(1886)年4月
宮城県尋常師範学校

明治31(1898)年4月
宮城県師範学校

大正2(1913)年4月
宮城県女子師範学校

大正15(1926)年4月
宮城県女子専門学校
昭和18(1943)年4月
宮城師範学校

昭和24(1949)年5月
併合
昭和24(1949)年5月
包括

昭和24(1949)年6月 昭和32(1957)年4月
分校教育教養部 北分枝に改称
昭和24(1949)年6月
包括

大正8(1919)年5月
附属鉄鋼研究所

大正11(1922)年8月
金属材料研究所

昭和16(1941)年12月
抗酸菌病研究所

昭和18(1943)年10月
高速力学研究所

昭和10(1935)年9月
附属電気通信研究所

昭和19(1944)年1月
電気通信研究所

昭和14(1939)年8月
農学研究所

昭和16(1941)年3月
選鉱製錬研究所

昭和18(1943)年1月
科学計測研究所

昭和18(1943)年10月 昭和21(1946)年1月
航空医学研究所 廃止

昭和19(1944)年1月
非水溶液化学研究所

昭和20(1945)年1月
硝子研究所(ガラス研究所)

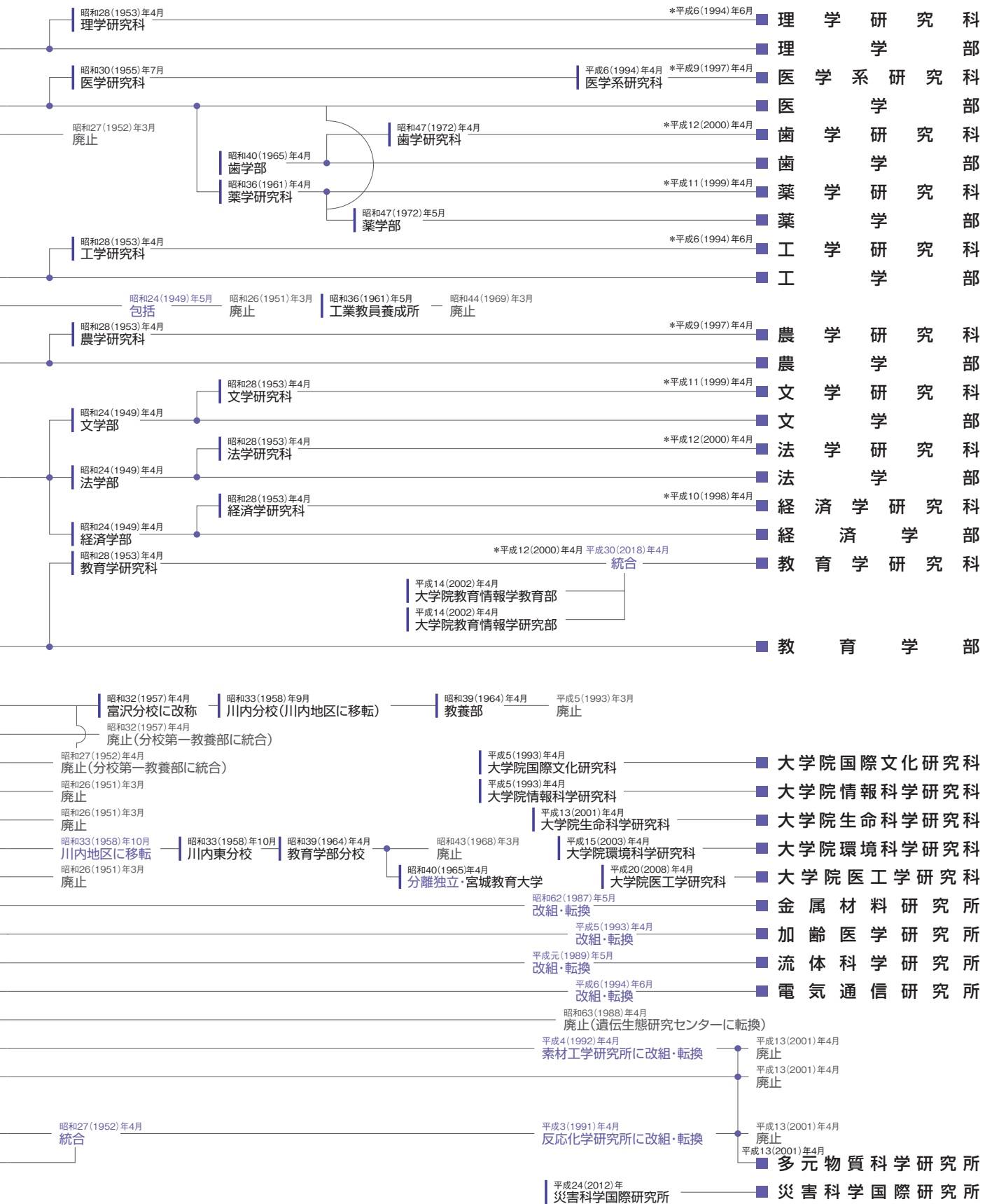


片平キャンパス 正門

(平成30年5月現在)

はじめに

昭和28(1953)年4月 新制大学院 — 昭和32(1957)年 創立50周年 — 昭和57(1982)年 創立75周年 — 昭和62(1987)年 創立80周年 — 平成16(2004)年4月 国立大学法人 — 平成19(2007)年 創立100周年 — ■ 東 北 大 学



* 大学院重点化時期

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(平成30年5月現在)

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏 名	部局(誉博…名誉博士)	受 賞 理 由
1987年	ハンス・ハイリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田 中 耕 一	工 学 部 、 誉 博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	ユニバーシティプロフェッサー、金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見
2011年	ダニエル・シェヒトマン	ユニバーシティプロフェッサー	準結晶の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受章者 33名・文化功労者 52名

文化勲章受章	文化功労者	氏 名	部 局	主 な 業 績
昭和12年	昭和26年	本 多 光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡 部 金治郎	工 学 部	分割陽極マグネトロン発見等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮 部 金 吾	農 科 大 学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真 島 利 行	理 学 部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡 田 武 松	理 学 部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田 辺 元	理 学 部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土 井 晩 翠	法 文 学 部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊 谷 岱 蔵	医 学 部	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢 部 長 克	理 学 部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇 井 伯 寿	法 文 学 部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩 原 雄 祐	理 学 部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増 本 量	金属材料研究所	不銹変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村 上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八 木 秀 次	工 学 部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山 田 孝 雄	法 文 学 部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野 副 鉄 男	理 学 部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉 田 富 三	医 学 部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅 誠 司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤 堀 四 郎	理 学 部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒 川 利 雄	医 学 部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安 井 琢 磨	経 済 学 部	我が国の近代経済学発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石 原 謙	法 文 学 部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広 中 平 祐	理 学 部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高 橋 信 次	医 学 部	X線CTの基礎となる回転横断撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑 原 武 夫	法 文 学 部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西 澤 潤 一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田 中 耕 一	工 学 部、誉 博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中 西 香 爾	理 学 部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日 沼 頼 夫	歯 学 部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成15年	飯 島 澄 男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
平成24年	平成19年	小 田 滋	法 学 部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
平成25年	昭和62年	岩 崎 俊 一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	昭和29年	松 村 松 年	農 科 大 学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高 橋 里 美	法 文 学 部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊 藤 誠 哉	農 科 大 学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武 内 義 雄	法 文 学 部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原 龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真 島 正 市	理 科 大 学	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡 辺 寧	工 学 部	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂 村 徹	農 科 大 学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼 知 福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武 井 武	理 学 部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金 倉 圓 照	文 学 部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	平成4年	今 井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島 田 謹 二	法 文 学 部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横 堀 武 夫	工 学 部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増 本 健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩 田 靖 夫	文 学 部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成18年	伊 藤 英 覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	櫻 井 英 樹	理 学 部	有機ケイ素化学を学問体系として確立
—	平成23年	遠 藤 章	農 学 部	高コレステロール血症の治療薬スタチンを開発
—	平成25年	舩 岡 富士雄	電気通信研究所	フラッシュメモリの発明

日本学士院会員

選定年月日	氏 名	部 局
大正 11年 12月 26日	本 多 光太郎	金 属 材 料 研 究 所
大正 14年 6月 27日	藤 原 松三郎	理 学 部
大正 14年 6月 27日	矢 部 長 克	理 学 部
大正 15年 5月 5日	真 島 利 行	理 学 部
昭和 7年 3月 2日	神 津 俣 祐	理 学 部
昭和 9年 7月 31日	掛 谷 宗 一	理 学 部
昭和 12年 3月 23日	加 藤 武 夫	理 学 部
昭和 12年 5月 8日	大 類 伸	法 文 学 部
昭和 12年 12月 1日	片 山 正 夫	理 学 部
昭和 14年 5月 27日	柴 田 桂 太	農 科 大 学
昭和 17年 5月 30日	武 内 義 雄	法 文 学 部
昭和 18年 12月 11日	熊 谷 岱 蔵	医 学 部
昭和 19年 7月 10日	萩 原 雄 祐	理 学 部
昭和 20年 12月 12日	宇 井 伯 寿	法 文 学 部
昭和 21年 2月 8日	布 施 現之助	医 学 部
昭和 22年 2月 5日	田 辺 元	理 学 部
昭和 22年 6月 25日	阿 部 次 郎	法 文 学 部
昭和 22年 6月 25日	窪 田 忠 彦	理 学 部
昭和 22年 7月 19日	河 村 又 介	法 文 学 部
昭和 22年 10月 1日	雨 宮 育 作	農 学 研 究 所
昭和 24年 10月 5日	土 居 光 知	法 文 学 部
昭和 25年 10月 6日	伊 藤 誠 哉	農 科 大 学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操 三	法 学 部
昭和 25年 10月 6日	佐 武 安太郎	医 学 部
昭和 25年 10月 6日	高 橋 里 美	法 文 学 部
昭和 25年 10月 6日	真 島 正 市	理 科 大 学
昭和 25年 10月 6日	松 村 松 年	農 科 大 学
昭和 25年 10月 6日	村 上 武次郎	金 属 材 料 研 究 所
昭和 26年 10月 17日	小 宮 豊 隆	法 文 学 部
昭和 26年 10月 17日	八 木 秀 次	工 学 部
昭和 28年 10月 22日	青 木 正 児	法 文 学 部
昭和 28年 10月 22日	石 原 謙	法 文 学 部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言 人	医 学 部
昭和 32年 3月 12日	田 中 義 磨	農 科 大 学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫 島 実三郎	理 学 部
昭和 35年 4月 12日	加 藤 豊治郎	医 学 部
昭和 35年 4月 12日	勝 本 正 晃	法 学 部
昭和 35年 4月 12日	増 本 量	金 属 材 料 研 究 所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠 司	金 属 材 料 研 究 所
昭和 38年 2月 12日	金 倉 圓 照	文 学 部
昭和 39年 2月 12日	赤 堀 四 郎	理 学 部
昭和 39年 2月 12日	坂 村 徹	農 科 大 学
昭和 39年 2月 12日	田 岡 良 一	法 文 学 部
昭和 39年 2月 12日	中 川 善之助	法 学 部

選定年月日	氏 名	部 局
昭和 40年 1月 12日	岡 崎 義 恵	文 学 部
昭和 40年 1月 12日	黒 川 利 雄	医 学 部
昭和 40年 1月 12日	吉 田 富 三	医 学 部
昭和 40年 11月 12日	沼 知 福三郎	高 速 力 学 研 究 所
昭和 41年 11月 12日	小 川 鼎 三	医 学 部
昭和 41年 11月 12日	堀 経 夫	法 文 学 部
昭和 42年 11月 13日	木 村 亀 二	法 学 部
昭和 42年 11月 13日	清 宮 四 郎	法 学 部
昭和 43年 11月 12日	三 宅 剛 一	文 学 部
昭和 43年 11月 12日	本 川 弘 一	医 学 部
昭和 45年 11月 12日	半 沢 洵	農 科 大 学
昭和 49年 12月 12日	小 竹 無二雄	理 学 部
昭和 49年 12月 12日	山 本 義 一	理 学 部
昭和 51年 11月 12日	広 中 平 祐	理 学 部 (併)
昭和 51年 11月 12日	新 明 正 道	文 学 部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷 夫	法 文 学 部
昭和 51年 11月 12日	高 柳 真 三	法 学 部
昭和 52年 11月 12日	岡 本 耕 造	医 学 部
昭和 52年 11月 12日	永 井 健 三	工 学 部
昭和 52年 11月 12日	野 副 鐵 男	理 学 部
昭和 52年 11月 12日	柳 瀬 良 幹	法 学 部
昭和 54年 11月 12日	今 井 勇之進	金 属 材 料 研 究 所
昭和 54年 11月 12日	烏 山 四 男	工 学 部
昭和 56年 12月 12日	高 橋 信 次	医 学 部
昭和 58年 12月 12日	矢 島 羊 吉	文 学 部
昭和 60年 11月 12日	加 藤 愛 雄	理 学 部
昭和 61年 12月 12日	熊 谷 尚 夫	経 済 学 部
平成 元年 12月 12日	小 川 環 樹	法 文 学 部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工 学 部 (併)
平成 6年 12月 12日	伊 藤 英 覺	高 速 力 学 研 究 所
平成 6年 12月 12日	小 田 滋	法 学 部
平成 7年 12月 12日	西 澤 潤 一	電 気 通 信 研 究 所
平成 8年 12月 12日	横 堀 武 夫	工 学 部
平成 9年 12月 12日	樋 渡 宏 一	理 学 部
平成 10年 12月 14日	鈴 木 禄 彌	法 学 部
平成 12年 12月 12日	樋 口 陽 一	法 学 部
平成 13年 12月 12日	源 了 圓	文 学 部
平成 14年 12月 12日	金 谷 治	文 学 部
平成 15年 12月 12日	岩 崎 俊 一	電 気 通 信 研 究 所
平成 18年 12月 12日	田 中 耕 一	工 学 部、 營 博
平成 18年 12月 12日	井 上 明 久	金 属 材 料 研 究 所
平成 22年 12月 13日	小 山 貞 夫	法 学 部
平成 22年 12月 13日	飯 島 澄 男	科 学 計 測 研 究 所
平成 25年 12月 12日	藤 田 宙 靖	法 学 研 究 科
平成 29年 12月 12日	安 元 健	農 学 部

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏 名	部 局	受 賞 理 由
第 4 回 大正 3 年	日下部 四郎太	理 科 大 学	岩石の力学的研究
第 6 回 大正 5 年	本 多 光太郎	理 科 大 学	鉄に関する研究
第 7 回 大正 6 年	真 島 利 行	理 科 大 学	漆の主成分に関する研究
○ 第 8 回 大正 7 年	柴 田 桂 太	農 科 大 学	植物界に於けるフラボン体の研究
○ 第 9 回 大正 8 年	石 原 純	理 学 部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第 9 回 大正 8 年	市 川 厚 一	農 科 大 学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○ 第 11 回 大正 10 年	布 施 現之助	医 学 部	脳の解剖的研究
第 11 回 大正 10 年	松 本 彦七郎	理 学 部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第 15 回 大正 14 年	畑 井 新喜司	理 学 部	白鼠に関する研究
△ 第 15 回 大正 14 年	曾 襦 武	金 属 材 料 研 究 所	気体の磁気係数の測定
△ 第 17 回 昭和 2 年	村 上 武次郎	金 属 材 料 研 究 所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○ 第 18 回 昭和 3 年	掛 谷 宗 一	理 学 部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第 21 回 昭和 6 年	宇 井 伯 寿	法 文 学 部	印度哲学研究(全六巻)
第 21 回 昭和 6 年	増 本 量	金 属 材 料 研 究 所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△ 第 22 回 昭和 7 年	宇 田 新太郎	工 学 部	超短波長電波の研究
△ 第 23 回 昭和 8 年	野 村 博	理 学 部	生薑の辛味成分の研究
第 24 回 昭和 9 年	田 所 芳 秋	理 学 部	耐火物に関する研究
第 25 回 昭和 10 年	海 野 三 朗	理 学 部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○ 第 26 回 昭和 11 年	吉 田 富 三	医 学 部	o-Amidoazotoluol の経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△ 第 26 回 昭和 11 年	星 野 敏 雄	理 学 部	インドールの誘導体の合成的研究
第 30 回 昭和 15 年	菊 田 多利男	臨時理化学研究所	鉄の研究
○ 第 31 回 昭和 16 年	岡 部 金治郎	工 学 部	磁電管に関する研究
第 31 回 昭和 16 年	尾 形 輝太郎	理 学 部	感光色素合成に関する研究
第 32 回 昭和 17 年	茅 誠 司	金 属 材 料 研 究 所	強磁性結晶体の磁気的研究
第 33 回 昭和 18 年	木 原 玉 汝	医 学 部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第 34 回 昭和 19 年	小 竹 無二雄	理 学 部	毒物の化学的研究
第 34 回 昭和 19 年	寺 尾 博	農 学 研 究 所	水稻冷害の生理学的研究
○ 第 36 回 昭和 21 年	増 本 量	金 属 材 料 研 究 所	異常特性を有する鉄合金の研究
第 37 回 昭和 22 年	真 島 正 市	理 科 大 学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第 40 回 昭和 25 年	沼 知 福三郎	工 学 部	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第 41 回 昭和 26 年	小 川 鼎 三	医 学 部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第 42 回 昭和 27 年	鮫 島 實三郎	理 学 部	膠質学に関する研究
第 43 回 昭和 28 年	金 倉 圓 照	文 学 部	印度中世精神史
第 43 回 昭和 28 年	野 副 鐵 男	理 学 部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第 43 回 昭和 28 年	成 瀬 政 男	工 学 部	歯車に関する研究(共同研究)
○ 第 43 回 昭和 28 年	吉 田 富 三	医 学 部	吉田肉腫の病理学的研究
第 44 回 昭和 29 年	本 川 弘 一	医 学 部	脳電図の研究
第 45 回 昭和 30 年	金 倉 圓 照	文 学 部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第 45 回 昭和 30 年	山 田 龍 城	文 学 部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第 45 回 昭和 30 年	羽田野 伯 猷	文 学 部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第 45 回 昭和 30 年	多 田 等 観	文 学 部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第 45 回 昭和 30 年	赤 堀 四 郎	理 学 部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第 46 回 昭和 31 年	堀 一 郎	文 学 部	我が国民間信仰史の研究
第 47 回 昭和 32 年	折 茂 豊	法 学 部	国際私法の統一性
○ 第 47 回 昭和 32 年	中 村 元	文 学 部	初期のヴェーダーンタ哲学
第 49 回 昭和 34 年	高 田 修	文 学 部	居庸関(共同研究)
○ 第 50 回 昭和 35 年	高 田 修	文 学 部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○ 第 50 回 昭和 35 年	宮 次 男	文 学 部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第 50 回 昭和 35 年	神 田 英 蔵	理 学 部	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第 51 回 昭和 36 年	佐 藤 知 雄	工 学 部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第 51 回 昭和 36 年	磯 永 吉	農 科 大 学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第 53 回 昭和 38 年	関 口 春次郎	金 属 材 料 研 究 所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第 57 回 昭和 42 年	今 井 勇之進	金 属 材 料 研 究 所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第 58 回 昭和 43 年	加 藤 愛 雄	理 学 部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第 58 回 昭和 43 年	神 立 誠	農 学 研 究 所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究
第 59 回 昭和 44 年	宮 田 光 雄	法 学 部	西ドイツの精神構造

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏 名	部 局	受 賞 理 由
第59回 昭和44年	水 島 宇三郎	農 学 部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山 本 義 一	理 学 部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広 中 平 祐	理 学 部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横 堀 武 夫	工 学 部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡 本 耕 造	医 学 部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西 山 善 次	金 属 材 料 研 究 所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西 澤 潤 一	電 気 通 信 研 究 所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北 住 敏 夫	文 学 部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋 口 陽 一	法 学 部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊 藤 英 覺	高 速 力 学 研 究 所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚 志	理 学 部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第67回 昭和52年	高 橋 信 次	医 学 部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島 田 謹 二	法 文 学 部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊 一	理 学 部	磁気圏擾乱の研究
第69回 昭和54年	佐 藤 武 敏	法 文 学 部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀 谷 哲 治	薬 学 部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木 下 彰	経 済 学 部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※ 第72回 昭和57年	角 谷 静 夫	理 学 部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増 本 健	金 属 材 料 研 究 所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石 田 名香雄	医 学 部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩 崎 俊 一	電 気 通 信 研 究 所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪 井 善 勝	工 学 部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第78回 昭和63年	沼 田 眞	農 学 研 究 所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※ 第79回 平成元年	日 沼 頼 夫	歯 学 部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※ 第80回 平成2年	中 西 香 爾	理 学 部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工 学 部(併)	火災の構造および基礎的特性の研究
第82回 平成4年	鈴 木 秀 次	金 属 材 料 研 究 所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山 本 肇	歯 学 部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多 田 啓 也	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊 地 吾 郎	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第84回 平成6年	櫻 井 英 樹	理 学 部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸 山 雍 成	文 学 部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉 原 高 嶺	法 学 部	国際司法裁判制度
※ 第92回 平成14年	飯 島 澄 男	科 学 計 測 研 究 所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第92回 平成14年	栗 原 康	理 学 部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井 上 明 久	金 属 材 料 研 究 所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日 向 康 吉	農 学 部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡 本 宏	医 学 系 研 究 科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠 藤 實	医 学 部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第94回 平成16年	安 元 健	農 学 部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大 野 英 男	電 気 通 信 研 究 所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴 木 厚 人	理 学 研 究 科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加 藤 康 司	工 学 研 究 科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝 彦	理 学 部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※ 第99回 平成21年	村 上 哲 見	文 学 部	宋詞に関する研究
第99回 平成21年	川 人 貞 史	法 学 研 究 科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回 平成22年	大 類 洋	生 命 科 学 研 究 科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎ 第100回 平成22年	西 平 守 孝	生 命 科 学 研 究 科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究
第103回 平成25年	中 沢 正 隆	電 気 通 信 研 究 所	エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献
第103回 平成25年	佐 藤 英 明	農 学 研 究 科	哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究
第104回 平成26年	山 本 雅 之	医 学 系 研 究 科	生体の環境ストレス応答の分子機構の解明
第104回 平成26年	首 藤 伸 夫	工 学 部	津波防災の総合的研究
第105回 平成27年	鈴 木 雅 洲	医 学 部	ヒト体外受精・胚移植の確立と普及に関する研究
※ 第107回 平成29年	長 谷 川 昭	理 学 研 究 科	沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究
第107回 平成29年	横 堀 壽 光	工 学 研 究 科	メソスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏名	職名等	授賞理由
平成29年 3月24日	遠藤 哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年 3月26日	山本 雅之	医学系研究科教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	佐藤 英明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢 正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢 正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を取った女性科学者に贈られる「第25回荻野賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。
平成29年度

氏名・団体名	職名等	授賞理由
渡辺 正夫	生命科学研究科 教授	全学教育「基礎(展開)ゼミ」において、学生の観察・レポートという主体的活動を、web を介してコメント・励ましなどを行うという双方向型の新たな授業形態を構築した。 観察力・文章力養成を目標とした web ベースの双方向の完全公開型授業は他教員も参考としたい授業形態である。また、学生による授業評価も極めて高い評価を受けている。
吉田 和哉	工学研究科 教授	2010年度より継続してロボティクスに関するサマープログラム(TESP)を開催しており、海外協定校を中心に毎年50名を超える大学院生が世界各国より参加している。 2015年度までの6年間に参加した182名中の10名が、ダブルディグリープログラム、博士後期課程入学等で本学に戻ってくるなど受講学生に大変好評であり、ロボティクス分野の次代を担う世界中の優秀な学生の育成と、国際交流を通した本学の国際的なプレゼンス向上に大きく貢献した。
沼山 恵子	医工学研究科 准教授	社会人技術者に医学・生物学のエッセンスを教授する「医療工学技術者育成のための再教育システム(REDEEM)」の実験・実習実施の総括や工学系出身の大学院生に対する細胞遺伝子工学実習の中核を務めてきた。その実習環境を活用したアウトリーチ活動も積極的に展開し、医工学の啓蒙と次世代人材育成にも大きく貢献した。
東北大学サイエンスカフェ・ワーキンググループ、総務企画部広報課社会連携推進室		2005年から12年間、通算150回、「東北大学サイエンスカフェ」を企画・実施し、学生ボランティア組織の支援とともに、本学研究者の最先端研究の成果を市民とともに語り合い、若い世代に知的感動と大学入学への動機を与えるための最も代表的なアウトリーチ活動として、本学の知名度向上に大きく貢献した。
男女共同参画推進センター主催全学教育科目「ジェンダーと人間社会」関係教員		閉講となっていた全学教育科目「ジェンダーと人間社会」を再開講し、理系・文系分野の複数の講師によるオムニバス形式での独創的な授業内容を構成し、全分野の学生にジェンダーに関わる社会の諸事情について幅広い知見と意識醸成の機会を与えるなど、学生の男女共同参画意識の醸成に大きく貢献した。

総長賞受賞者 平成29年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

伊 東 香奈江	文学部	高 橋 舞 香	医学部
田 中 淳 司	文学部	梅 原 典 子	歯学部
西 塚 孝 平	教育学部	杉 山 恭 子	薬学部
岡 野 哲 郎	法学部	瀧 田 千 秋	工学部
岡 野 瞭 介	法学部	兎 内 龍 也	工学部
荒 井 知江子	経済学部	小 泉 幸 照	工学部
遠 藤 寛 也	経済学部	伊 藤 拓 海	工学部
大 奥 章 洋	経済学部	川 本 弘 樹	工学部
有 沢 洋 希	理学部	林 謙 汰	工学部
大 金 原 理	理学部	伊 東 達 矢	工学部
長谷川 拓 也	理学部	甘 粕 裕 明	工学部
櫻 井 一 貴	医学部	大 嶋 健 資	農学部
遠 藤 幸 奈	医学部	平 野 伶 奈	農学部

修士

川守田 聖 矢	工学研究科	大 山 宗 馬	医学系研究科
笹 山 知 嗣	工学研究科	島 彦 仁	医学系研究科
戸 村 勇 登	工学研究科	蔡 優 広	歯学研究科
長 洲 航 平	情報科学研究科	浅 川 三 喜	薬学研究科
小 山 卓 耶	医工学研究科	山 田 脩 裕	工学研究科
石 田 雄 樹	文学研究科	浅 田 啓 幸	工学研究科
盛 下 真 優子	教育学研究科	佐々木 渉 太	工学研究科
根 岸 謙 法	法学研究科	覃 宇	工学研究科
中 尾 公 一	経済学研究科	大 橋 美 和	農学研究科
直 江 央 寛	理学研究科	ソマイエ ファサリ	国際文化研究科
高 浦 大 雅	理学研究科	上 野 嶺	情報科学研究科
熊 本 淳	理学研究科	田 中 良 弥	生命科学研究科
吉 本 崇 志	理学研究科	大 柳 良 介	環境科学研究科
		李 璿 熙	教育情報学教育部

総長研究支援技術賞受賞者

優れた研究支援を行い研究成果の創出に顕著な貢献があった技術職員を表彰するものです。

平成29年度

氏名・団体名	職名等	授賞題目	授賞理由
理学研究科 機器開発・研修室		先端機械工作技術による機器開発への貢献	設立以来92年、組織の根幹をなす創意工夫と温故知新の心を継承し、先端機械工作技術を駆使し、特に物理学専攻の超高分解能スピニング分解角度分光電子分光装置、地学専攻の宇宙実験装置の開発、ニュートリノ科学センターのカムランド建設等、多大な貢献を果たした。
工学研究科	技術専門員 阿部 茂樹	プログラマブルデバイスを用いた最先端回路設計に関する研究支援	再構成可能デバイスを用いた研究支援として、自己修復機能を有するLSIのシステム設計・開発・指導あるいは本学と産業総合技術研究所との暗号ハードウェアプロジェクトにおいて国内外100を超える大学や研究機関で利用されている暗号LSI評価ボードの開発に多大な貢献を果たした。
電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設共通部		最先端スピントロニクス素子の研究開発に対する技術支援	電子線や紫外線を用いた極微細リソグラフィーに関する技術支援により、世界最小磁気トンネル接合(MTJ)素子の開発や、人工知能用スピントロニクス素子の世界初の動作実証などにおいて大きな貢献を果たした。

学友会長賞受賞者 平成29年度

入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

塩野 一毅	男 声 合 唱 部
平 沢 遼	映 画 部
山 口 恭 正	吹 奏 楽 部

鳩原 翔	硬式野球部
小林 隆嗣	オリエンテーリング部

廣 瀬 明日香	ア ー チ ョ リ ー 部
小 林 丈 晃	レーシングカート部

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏 名	部 局
平成29年	黄 婷 婷	経済学研究科
	李 文 娟	理学研究科
	張 妹	医学系研究科
	張 大 妹	工学研究科
平成28年	盛 福 剛	経済学研究科
	李 静	理学研究科
	張 雪 琴	工学研究科
	李 関 喬	環境科学研究科
	于 凱 鴻	医工学研究科

授賞年度	氏 名	部 局
平成27年	李 月 珊	文学研究科
	薛 婧	理学研究科
	郭 威	工学研究科
	郭 飛 鵬	情報科学研究科
	郭 飛 鵬	環境科学研究科
平成26年	連 潔	文学研究科
	劉 磊	医学系研究科
	劉 弘	工学研究科
	劉 偉	生命科学研究科
	劉 勇	環境科学研究科

授賞年度	氏 名	部 局
平成25年	彭 寧 寧	理学研究科
	孫 舒 嵐	医学系研究科
	許 斌	工学研究科
平成24年	浦 正 寧	経済学研究科
	桂 沛 君	医学系研究科
	陳 凱 幼	工学研究科
	劉 家 佳	情報科学研究科
	果 崇 申	環境科学研究科
平成23年	朱 華 勳	理学研究科
	浩 日 勳	医学系研究科
	趙 曉 麗	工学研究科
	温 磊	生命科学研究科

澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

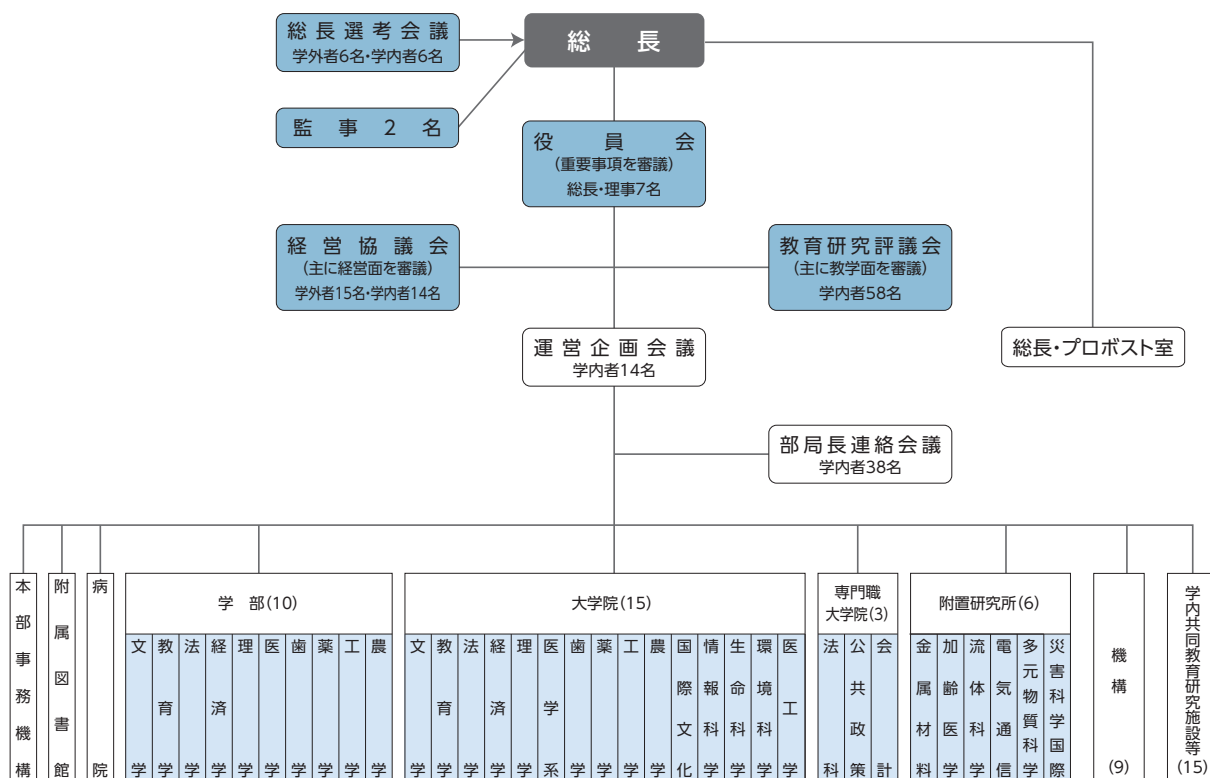
	氏名・団体名	職 名 等	受賞部門	授 賞 課 題 名
平成29年	小川 眞里子	三 重 大 学 名 誉 教 授	本 賞	科学技術とジェンダー：歴史と展望の探求
	古山 陽一	国際医療福祉大学 成田看護学部 助教	奨 励 賞	看護学分野における若手男性研究者として男性のケアワーク参画を支援する先導的活動
平成28年	名古屋大学男女共同参画室		本 賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年	大坪 久子	日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本 賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
平成26年	新大 Wits (しんだいういつ)		奨 励 賞	“新大 Wits” による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育
	辻村みよ子	明治大学法科大学院 教授	本 賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について
	SA 輝友会 (エスエーきゆうかい)		奨 励 賞	東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み

沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

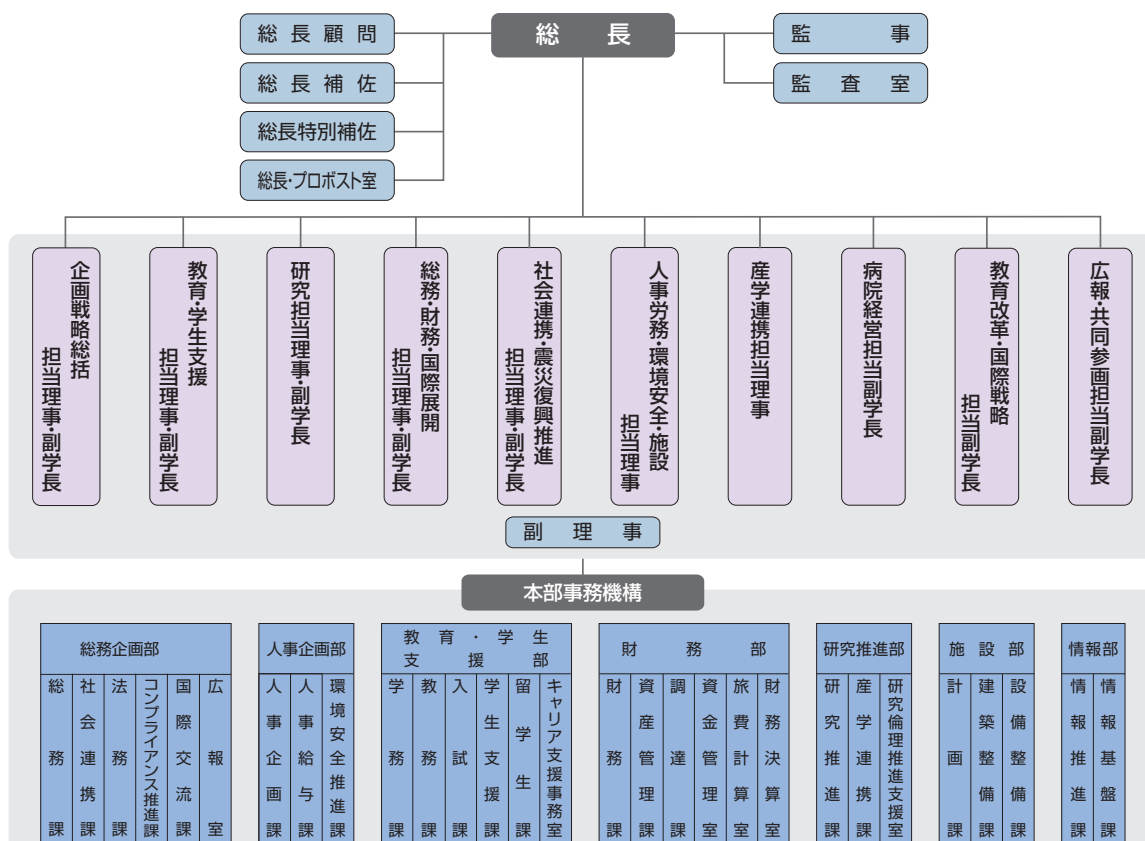
「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

授 賞 年 度	氏 名・団 体 名	職 名 等	授 賞 部 門
平 成 2 4 年	ア ロ ナ	経済学研究科 「留学生・研究者の出産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活 動 部 門
平 成 2 3 年	朝 倉 京 子	医学系研究科教授	研 究 部 門
平 成 2 2 年	茂 木 洋 平	法学研究科博士課程後期	研 究 部 門
	阿 部 比 佐 久	理学研究科再雇用職員	プロジェクト部門(特別賞)
	久 利 美 和	理学研究科助教	
平 成 2 1 年	村 上 祐 子	理学研究科准教授	研 究 部 門
	下 夷 美 幸	文学研究科准教授	
	青葉理学振興会		活 動 部 門
	女性と労働研究会		プ ロ ジ ェ ク ト 部 門
平 成 2 0 年	山 崎 都	病院 医員	活 動 部 門 (特 別 賞)
	東北大学川内けやき保育園保護者会		活 動 部 門
	トウムフオドント	環境科学研究科博士課程学生	プ ロ ジ ェ ク ト 部 門 (特 別 賞)
平 成 1 9 年	齊 藤 綾 美	教育学研究科特別研究員	研 究 部 門
	阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研 究 部 門 (特 別 賞)
	工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会WGおよび女子学生交流会学生会スタッフ		活 動 部 門
	尾 崎 博 美	教育学研究科博士課程学生	プ ロ ジ ェ ク ト 部 門
	八 木 美 保 子	教育学研究科博士課程学生	
	水 原 克 敏	教育学研究科教授	
平 成 1 8 年	生 田 久 美 子	教育学研究科教授	プ ロ ジ ェ ク ト 部 門 (特 別 賞)
	ヤマモトシアエミコ	文学研究科専門研究員	
	吉 田 浩	経済学研究科助教	
	遠 山 智 子	理学研究科教育研究支援者	活 動 部 門
	鈴 木 美 智 子	理学研究科教育研究支援者	
	玉 江 京 子	理学研究科助手	
平 成 1 8 年	海老原 孝 枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	活 動 部 門
	橋 本 鋤 市	教育学研究科助教	プ ロ ジ ェ ク ト 部 門

運 営 組 織



理事・副学長・副理事・本部事務機構



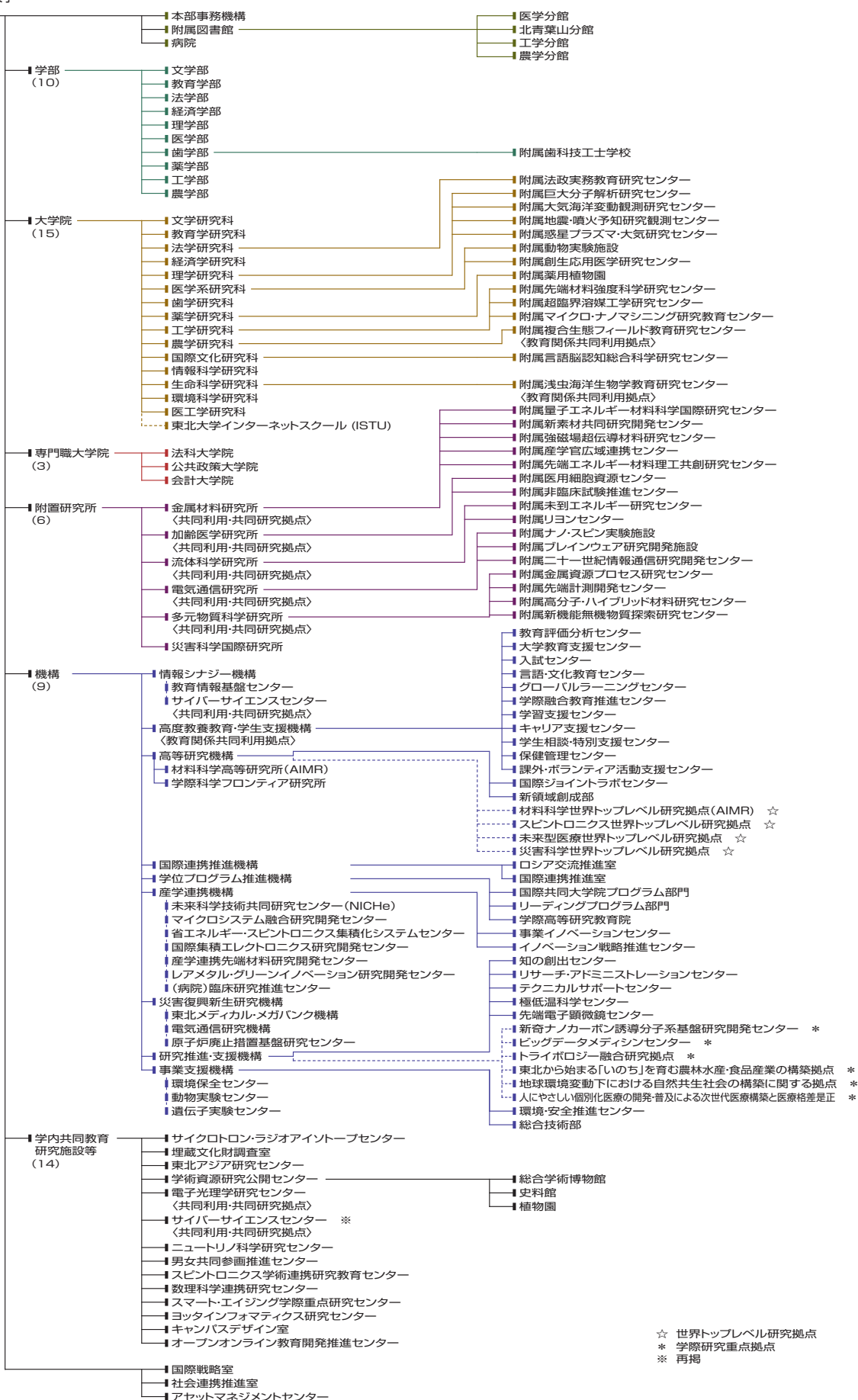
機構図

(平成30年7月1日現在)

組織

国立大学法人東北大学

東北大学



役員・主な役職者

総 長	大 野 英 男
理事・副学長(企画戦略総括担当)	青 木 孝 文
理事・副学長(教育・学生支援担当)	滝 澤 博 胤
理事・副学長(研究担当)	早 坂 忠 裕
理事・副学長(総務・財務・国際展開担当)	植 木 俊 哉
理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当)	原 信 義
理 事(人事労務・環境安全・施設担当)	大 槻 達 也
理 事(産学連携担当)	矢 島 敬 雅
監 事	小 林 邦 英
監 事(非常勤)	牛 尾 陽 子
副学長(病院経営担当)	八重樫 伸 生
副学長(教育改革・国際戦略担当)	山 口 昌 弘
副学長(広報・共同参画担当)	大 隅 典 子
総長補佐	森 本 浩 一
総長補佐	長 坂 徹 也
総長補佐	高 梨 弘 毅
副理事(大学院改革担当)	湯 上 浩 雄
副理事(入試担当)	長 濱 裕 幸
副理事(学生支援担当)	小田中 直 樹
副理事(研究担当)	小 谷 元 子
副理事(研究戦略マネジメント担当)	根 本 靖 久
副理事(利益相反マネジメント担当)	谷 内 一 彦
副理事(震災復興推進担当)	今 村 文 彦
副理事(研究・産学連携担当)	宮 田 敏 男

副理事(産学連携担当)	杉 本 諭
副理事(企画戦略担当)	伊 豆 仁 志
総長特別補佐(情報基盤担当)	伊 藤 彰 則
総長特別補佐(教育企画担当)	静 谷 啓 樹
総長特別補佐(学生支援担当)	菅 原 俊 二
総長特別補佐(研究担当)	中 山 啓 子
総長特別補佐(研究担当)	高 田 昌 樹
総長特別補佐(研究担当)	高 倉 浩 樹
総長特別補佐(研究倫理担当)	佐々木 孝 彦
総長特別補佐(災害対策担当)	佐 藤 健
総長特別補佐(国際交流担当)	末 松 和 子
総長特別補佐(業務改革担当)	藤 本 雅 彦
総長特別補佐(社会連携担当)	金 井 浩
総長特別補佐(社会連携担当)	吉 見 享 祐
総長特別補佐(社会連携担当)	吉 澤 誠
総長特別補佐(震災復興推進担当)	張 替 秀 郎
総長特別補佐(震災復興推進担当)	渡 邊 豊
総長特別補佐(校友会担当)	長谷川 史 彦
総長特別補佐(国際戦略担当)	米 澤 彰 純
総長特別補佐(ICT革新担当)	小 林 広 明
総長特別補佐(広報担当)	曾 根 秀 昭
総長特別補佐(共同参画担当)	田 中 真 美
総長特別補佐(共同参画担当)	芳 賀 満

■ 本部

事務機構長	齋 藤 仁
【総長・プロボスト室】	
総長・プロボスト室長	青 木 孝 文
総長・プロボスト室副室長	山 口 昌 弘
総長・プロボスト室副室長	伊 豆 仁 志
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	塩 崎 充 博
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	菊 田 克 也
【総務企画部】	
総務企画部長	齋 藤 仁
総務課長	高 木 雅 弘
社会連携課長	佐 藤 秀 樹
法務課長	阿 部 文 洋
コンプライアンス推進課長	木 村 賢 一
国際交流課長	我 妻 靖
広報室長	佐 藤 秀 樹
【人事企画部】	
人事企画部長	成 田 邦 彦
人事企画課長	佐 藤 龍 彦
人事給与課長	目 黒 尚 美
環境安全推進課長	志 田 享
【教育・学生支援部】	
教育・学生支援部長	藤 王 勉
学務課長	安 藤 正 夫
教務課長	高 橋 裕 之
入試課長	高 橋 忠 志
学生支援課長	佐 藤 功

留学生課長	乳 井 まさこ
【財務部】	
財務部長	伊 豆 仁 志
財務課長	樋 口 祐 介
資産管理課長	熊 谷 大
調達課長	高 橋 智
【研究推進部】	
研究推進部長	佐 藤 義 幸
研究推進部次長	伊 藤 保 春
研究推進課長	櫛 引 加代子
産学連携課長	三 上 洋 一
研究倫理推進支援室長	小 澤 浩
【施設部】	
施設部長	高 橋 勝 治
計画課長	森 屋 昭 則
建築整備課長	中 西 康 晴
設備整備課長	佐 藤 孝 記
【情報部】	
情報部長	大 川 俊 治
情報推進課長	大 沼 忠 弘
情報基盤課長	大 川 俊 治
【本部事務機構付】	
課長	加 藤 博
【監査室】	
監査室長	菅 原 隆

(平成30年7月1日現在)

■ 学部・大学院研究科及び附属施設			
【文学部・文学研究科】		【薬学部・薬学研究科】	
文学部長・文学研究科長	森 本 浩 一	薬学部長・薬学研究科長	根 東 義 則
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	阿 部 恒 之	薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	平 澤 典 保
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	佐 藤 嘉 倫	薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	岩 淵 好 治
事務長	志 賀 紀 行	薬用植物園長	根 東 義 則
【教育学部・教育学研究科】		事務長	渡 邊 真 好
教育学部長・教育学研究科長	工 藤 与志文	【工学部・工学研究科】	
教育学部副学部長・教育学研究科副研究科長	八 嶽 友 広	工学部長・工学研究科長	長 坂 徹 也
事務長	佐 藤 伸 一	工学研究科副研究科長	澤 田 恵 介
【法学部・法学研究科】		工学研究科副研究科長	安 藤 晃 晃
法学部長・法学研究科長	樺 島 博 志	工学研究科副研究科長	橋 爪 秀 利
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	高 さやか	先端材料強度科学研究センター長	三 浦 英 生
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	成 瀬 幸 典	超臨界溶媒工学研究センター長	猪 股 宏
法科大学院長	中 原 茂 樹	マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	小 野 崇 人
公共政策大学院長	阿 南 友 亮	マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長	福 島 誉 史
法政実務教育研究センター長	平 田 武	事務部長	齋 藤 嘉 信
事務長	木 戸 龍 輔	総務課長	佐 藤 政 行
【経済学部・経済学研究科】		教務課長	菅 原 昇 一
経済学部長・経済学研究科長	照 井 伸 彦	経理課長	齋 藤 雅 樹
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	日 引 聡	研究推進課長	柴 田 一
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	守 健 二	【農学部・農学研究科】	
会計大学院長	青 木 雅 明	農学部長・農学研究科長	牧 野 周
事務長	佐々木 清 浩	農学研究科副研究科長	伊 藤 房 雄
【理学部・理学研究科】		農学研究科副研究科長	高 橋 英 樹
理学部長・理学研究科長	寺 田 眞 浩	複合生態フィールド教育研究センター長	尾 定 誠
理学研究科副研究科長	川 勝 年 洋	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	小 倉 振一郎
理学研究科副研究科長	小 原 隆 博	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	多 田 千 佳
理学研究科副研究科長	日 笠 健 一	事務長	佐 藤 吉 和
巨大分子解析研究センター長	岩 本 武 明	【国際文化研究科】	
大気海洋変動観測研究センター長	青 木 周 司	国際文化研究科長	小 野 尚 之
地震・噴火予知研究観測センター長	松 澤 暢	国際文化研究科副研究科長	岡 田 毅
惑星プラズマ・大気研究センター長	笠 羽 康 正	国際文化研究科副研究科長	寺 本 成 彦
事務部長	谷 口 善 孝	言語脳認知総合科学研究センター長	高 橋 大 厚
総務課長	穴 戸 和 良	事務長	山 木 幸 一
教務課長	板 垣 毅	【情報科学研究科】	
経理課長	及 川 勝 治	情報科学研究科長	中 尾 光 之
【医学部・医学系研究科】		情報科学研究科副研究科長	尾 畑 伸 明
医学部長・医学系研究科長	五十嵐 和 彦	情報科学研究科副研究科長	橋 本 浩 一
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	海 野 倫 明	事務長	信 坂 健
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	片 桐 秀 樹	【生命科学研究科】	
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	中 山 啓 子	生命科学研究科長	東 谷 篤 志
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	吉 沢 豊 子	生命科学研究科副研究科長	河 田 雅 圭
動物実験施設長	三 好 一 郎	浅海海洋生物学教育研究センター長	熊 野 岳
創生応用医学研究センター長	大 隅 典 子	事務長	及 川 良 房
事務部長	志 田 昌 幸	【環境科学研究科】	
総務課長	佐 藤 敬 浩	環境科学研究科長	土 屋 範 芳
教務課長	我 妻 建 史	環境科学研究科副研究科長	葛 西 栄 輝
経理課長	杉 山 泰 啓	【医工学研究科】	
【歯学部・歯学研究科】		医工学研究科長	厨 川 常 元
歯学部長・歯学研究科長	佐々木 啓 一	医工学研究科副研究科長	永 富 良 一
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	高 橋 信 博		
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	若 森 実		
歯科技工士学校長	菊 池 雅 彦		
事務長	阿 部 昭		

役員・主な役職者

■ 附置研究所及び附属施設

【金属材料研究所】		【電気通信研究所】	
金属材料研究所長	高 梨 弘 毅	電気通信研究所長	塩 入 諭
金属材料研究所副研究所長	古 原 忠 忠	電気通信研究所副研究所長	北 村 喜 文
金属材料研究所副研究所長	佐々木 孝 彦	電気通信研究所副研究所長	石 山 和 志
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	永 井 康 介	ナノ・スピン実験施設長	上 原 洋 一
新素材共同研究開発センター長	古 原 忠 忠	ブレインウェア研究開発施設長	羽 生 貴 弘
強磁場超伝導材料研究センター長	野 尻 浩 之	21世紀情報通信研究開発センター長	末 松 憲 治
産学官広域連携センター長	正 橋 直 哉	事務部長	金 子 雅 人
先端エネルギー材料理工共創研究センター長	折 茂 慎 一	【多元物質科学研究所】	
事務部長	高 橋 嘉 典	多元物質科学研究所長	村 松 淳 司
総務課長	千 葉 史 朗	多元物質科学研究所副研究所長	寺 内 正 己
経理課長	小 松 誠	多元物質科学研究所副研究所長	福 山 博 之
【加齢医学研究所】		多元物質科学研究所副研究所長	高 橋 正 彦
加齢医学研究所長	川 島 隆 太	金属資源プロセス研究センター長	本 間 格
加齢医学研究所副研究所長	本 橋 ほづみ	先端計測開発センター長	高 田 昌 樹
医用細胞資源センター長	松 居 靖 久	高分子・ハイブリッド材料研究センター長	芥 川 智 行
非臨床試験推進センター長	山 家 智 之	新機能無機物質探索研究センター長	山 根 久 典
事務部長	阿 部 芳 浩	事務部長	山 田 純 司
【流体科学研究所】		総務課長	松 田 清
流体科学研究所長	大 林 茂	経理課長	佐 藤 利 信
流体科学研究所副研究所長	小 林 秀 昭	【災害科学国際研究所】	
未到エネルギー研究センター長	寒 川 誠 二	災害科学国際研究所長	今 村 文 彦
リオンセンター長	内 一 哲 哉	災害科学国際研究所副研究所長	伊 藤 潔
事務部長	朝 倉 知 明	事務部長	曾 根 芳 則

■ 附属図書館及び分館

図書館長	大 隅 典 子	情報サービス課長	三 角 太 郎
図書館副館長	柳 原 敏 昭	医学分館長	北 本 哲 之
事務部長	加 藤 晃 一	北青葉山分館長	小 原 隆 博
総務課長	小 陳 左和子	工学分館長	高 橋 弘
情報管理課長	佐 藤 初 美	農学分館長	藤 井 智 幸

■ 病院

病院長	八重樫 伸 生	事務部長	中 野 正 昭
総括副病院長	高 橋 哲	総務課長	芳 賀 昌 史
副病院長	江 草 宏	経営管理課長	岩 淵 隆 行
副病院長	石 岡 千加史	経理課長	石 垣 忠 忠
副病院長	富 永 悌 二	医事課長	前 田 光 男
副病院長	張 替 秀 郎	地域医療連携課長	渡 邊 サチ子
副病院長	福 本 敏		

■ 機構

【情報シナジー機構】		【高等研究機構】	
情報シナジー機構長	青 木 孝 文	高等研究機構長	早 坂 忠 裕
情報シナジー機構副機構長	伊 藤 彰 則	材料科学高等研究所長	小 谷 元 子
教育情報基盤センター長	早 川 美 徳	材料科学高等研究所研究支援部門長	池 田 進
サイバーサイエンスセンター長	曾 根 秀 昭	学際科学フロンティア研究所長	早 瀬 敏 幸
サイバーサイエンスセンター副センター長	吉 澤 誠	国際ジョイントラボセンター長	早 坂 忠 裕
【高度教養教育・学生支援機構】		新領域創成部長	早 坂 忠 裕
高度教養教育・学生支援機構長	滝 澤 博 胤	高等研究機構等事務長	船 田 正 幸
高度教養教育・学生支援機構副機構長	山 口 昌 弘	【国際連携推進機構】	
高度教養教育・学生支援機構副機構長	関 根 勉	国際連携推進機構長	植 木 俊 哉
高等教育開発部門長	大 森 不二雄	国際連携推進機構副機構長	山 口 昌 弘
教育内容開発部門長	中 村 教 博	ロシア交流推進室長	植 木 俊 哉
学生支援開発部門長	伊 藤 千 裕	ロシア交流推進室副室長	山 口 昌 弘
教養教育院長	滝 澤 博 胤	国際連携推進室長	山 口 昌 弘

(平成30年7月1日現在)

【学位プログラム推進機構】	
学位プログラム推進機構長	山口 昌 弘
学位プログラム推進機構副機構長	湯 上 浩 雄
学位プログラム推進機構副機構長	山 谷 知 行
学位プログラム推進機構副機構長	静 谷 啓 樹
国際共同大学院プログラム部門長	山 口 昌 弘
リーディングプログラム部門長	静 谷 啓 樹
産業共創大学院プログラム部門長	湯 上 浩 雄
学際高等研究教育院長	山 谷 知 行
【産学連携機構】	
産学連携機構長	矢 島 敬 雅
産学連携機構副機構長	杉 本 諭
産学連携機構副機構長	長谷川 史 彦
未来科学技術共同研究センター長	長谷川 史 彦
未来科学技術共同研究センター副センター長	植 松 康
未来科学技術共同研究センター副センター長	阿 部 敬 悦
未来科学技術共同研究センター副センター長	後 藤 昌 史
マイクロシステム融合研究開発センター長	小 野 崇 人
マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	戸 津 健 太 郎
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長	遠 藤 哲 郎
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター副センター長	羽 生 貴 弘
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長	遠 藤 哲 郎
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	池 田 正 二
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	品 田 賢 宏
産学連携先端材料研究開発センター長	大 林 茂
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	垣 花 眞 人
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	寒 川 誠 二
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	古 原 忠
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	吉 田 栄 吉
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長	杉 本 諭
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	佐 藤 修 彰
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	吉 田 和 哉
(病院)臨床研究推進センター長	下 川 宏 明
事業イノベーションセンター長	矢 島 敬 雅

イノベーション戦略推進センター長	矢 島 敬 雅
【災害復興新生研究機構】	
災害復興新生研究機構長	原 信 義
災害復興新生研究機構副機構長	今 村 文 彦
東北メディカル・メガバンク機構長	山 本 雅 之
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	木 下 賢 吾
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	呉 繁 夫
東北メディカル・メガバンク機構事務長	近 藤 隆
東北メディカル・メガバンク機構特任教授(企画・調整担当)	樋 口 晋 一
電気通信研究機構長	加 藤 寧
電気通信研究機構副機構長	川 又 政 征
電気通信研究機構副機構長	塩 崎 充 博
原子炉廃止措置基盤研究センター長	渡 邊 豊
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	前 田 匡 樹
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	高 木 敏 行
【研究推進・支援機構】	
研究推進・支援機構長	早 坂 忠 裕
知の創出センター長	早 坂 忠 裕
知の創出センター副センター長	前 田 吉 昭
リサーチ・アドミニストレーションセンター長	河 村 純 一
リサーチ・アドミニストレーションセンター副センター長	佐 藤 準
テクニカルサポートセンター長	早 坂 忠 裕
テクニカルサポートセンター副センター長	中 山 啓 子
極低温科学センター長	佐 々 木 孝 彦
先端電子顕微鏡センター長	今 野 豊 彦
【事業支援機構】	
事業支援機構長	大 槻 達 也
環境保全センター長	服 部 徹 太 郎
動物実験センター長	清 水 律 子
遺伝子実験センター長	本 橋 ほづみ
環境・安全推進センター長	大 槻 達 也
総合技術部長	大 槻 達 也
総合技術部副部長	佐 藤 和 則

■ 学内共同教育研究施設等	
【サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター】	
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	渡 部 浩 司
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	田 代 学
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	寺 川 貴 樹
【埋蔵文化財調査室】	
埋蔵文化財調査室長	藤 澤 敦
【東北アジア研究センター】	
東北アジア研究センター長	高 倉 浩 樹
東北アジア研究センター副センター長	瀬 川 昌 久
東北アジア研究センター副センター長	千 葉 聡
【学術資源研究公開センター】	
学術資源研究公開センター長	西 弘 嗣
総合学術博物館長	藤 澤 敦
史料館長	柳 原 敏 昭
植物園長	牧 雅 之
【電子光物理学研究センター】	
電子光物理学研究センター長	濱 広 幸
【ニュートリノ科学研究センター】	
ニュートリノ科学研究センター長	井 上 邦 雄
【男女共同参画推進センター】	
男女共同参画推進センター長	大 隅 典 子
男女共同参画推進センター副センター長	田 中 真 美
男女共同参画推進センター副センター長	永 次 史
男女共同参画推進センター副センター長	芳 賀 満
【スピントロニクス学術連携研究教育センター】	
スピントロニクス学術連携研究教育センター長	高 梨 弘 毅
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	白 井 正 文
スピントロニクス学術連携研究教育センター副センター長	水 上 成 美
【数理学連携研究センター】	
数理学連携研究センター長	小 川 卓 克
数理学連携研究センター副センター長	都 築 暢 夫
数理学連携研究センター副センター長	原 田 昌 晃
【スマート・エイジング学際重点研究センター】	
スマート・エイジング学際重点研究センター長	川 島 隆 太
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	龍 靖 之
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	本 橋 ほづみ
【ヨットインフォマティクス研究センター】	
ヨットインフォマティクス研究センター長	塩 入 諭
ヨットインフォマティクス研究センター副センター長	行 場 次 朗
ヨットインフォマティクス研究センター副センター長	鈴 木 陽 一
【キャンパスデザイン室】	
キャンパスデザイン室長	青 木 孝 文
キャンパスデザイン室副室長	杉 山 丞
キャンパスデザイン室副室長	高 橋 勝 治
【オープンオンライン教育開発推進センター】	
オープンオンライン教育開発推進センター長	滝 澤 博 胤
オープンオンライン教育開発推進センター副センター長	中 島 平
【国際戦略室】	
国際戦略室長	山 口 昌 弘
国際戦略室副室長	米 澤 彰 純
【社会連携推進室】	
社会連携推進室長	原 信 義
社会連携推進室副室長	長谷川 史 彦
社会連携推進室副室長	吉 澤 誠
【アセットマネジメントセンター】	
アセットマネジメントセンター長	植 木 俊 哉
アセットマネジメントセンター副センター長	伊 豆 仁 志

総長選考会議

学外委員	
天 野 平八郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
小野寺 正	KDDI 株式会社取締役相談役
高 橋 宏 明	東北経済連合会名誉会長
	東北電力株式会社相談役
	仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
遠 山 敦 子	公益財団法人トヨタ財団理事長
	元文部科学大臣
原 山 優 子	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー
	前総合科学技術・イノベーション会議常動議員
	東北大学名誉教授
東 哲 郎	東京エレクトロン株式会社取締役相談役

学内委員	
森 本 浩 一	総長補佐(文学研究科長)
長 坂 徹 也	総長補佐(工学研究科長)
高 梨 弘 毅	総長補佐(金属材料研究所長)
寺 田 眞 浩	理学研究科長
五十嵐 和 彦	医学系研究科長
佐々木 啓 一	歯学研究科長

役員会

大 野 英 男	総 長
青 木 孝 文	理 事・副学長
滝 澤 博 胤	理 事・副学長
早 坂 忠 裕	理 事・副学長

植 木 俊 哉	理 事・副学長
原 信 義	理 事・副学長
大 槻 達 也	理 事
矢 島 敬 雅	理 事

経営協議会

学外委員	
天 野 平八郎	一般社団法人宮城県自動車会議所最高顧問
長 田 公 平	日本経済新聞社参与
小野寺 正	KDDI 株式会社取締役相談役
帯 野 久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
鎌 田 宏	仙台商工会議所会頭
	七十七銀行代表取締役会長
川 田 順 一	JXTG ホールディングス取締役副社長執行役員
黒 田 玲 子	学校法人東京理科大学研究推進機構総合研究院教授
清 野 智	東日本旅客鉄道株式会社顧問
	日本政府観光局(JNTO) 理事長
高 橋 宏 明	東北経済連合会名誉会長
	東北電力株式会社相談役
	仙台フィルハーモニー管弦楽団理事長
中 鉢 良 治	国立研究開発法人産業技術総合研究所理事長
土 井 美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構監事
	奈良先端科学技術大学院大学理事
遠 山 敦 子	公益財団法人トヨタ財団理事長
	元文部科学大臣
原 山 優 子	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター客員フェロー
	前総合科学技術・イノベーション会議常動議員
	東北大学名誉教授
東 哲 郎	東京エレクトロン株式会社取締役相談役
吉 武 博 通	公立大学法人首都大学東京理事
	筑波大学名誉教授

学内委員	
大 野 英 男	総 長
青 木 孝 文	理 事・副学長
滝 澤 博 胤	理 事・副学長
早 坂 忠 裕	理 事・副学長
植 木 俊 哉	理 事・副学長
原 信 義	理 事・副学長
大 槻 達 也	理 事
矢 島 敬 雅	理 事
八重樫 伸 生	副学長(病院長)
山 口 昌 弘	副学長
大 隅 典 子	副学長
森 本 浩 一	総長補佐(文学研究科長)
長 坂 徹 也	総長補佐(工学研究科長)
高 梨 弘 毅	総長補佐(金属材料研究所長)

(平成30年5月1日現在)

教育研究評議会

大野英男	総長	伊藤房雄	農学研究科教授
青木孝文	理事・副学長	岡田毅	国際文化研究科教授
滝澤博胤	理事・副学長(高度教養教育・学生支援機構長)	橋本浩一	情報科学研究科教授
早坂忠裕	理事・副学長	杉本亜砂子	生命科学研究科教授
植木俊哉	理事・副学長	吉岡敏明	環境科学研究科教授
原信義	理事・副学長	西條芳文	医工学研究科教授
大槻達也	理事	佐々木孝彦	金属材料研究所教授
矢島敬雅	理事	本橋ほづみ	加齢医学研究所教授
八重樫伸生	副学長(病院長)	丸田薫	流体科学研究所教授
山口昌弘	副学長	羽生貴弘	電気通信研究所教授
大隅典子	副学長	寺内正己	多元物質科学研究所教授
森本浩一	総長補佐(文学研究科長)	丸谷浩明	災害科学国際研究所教授
長坂徹也	総長補佐(工学研究科長)	関根勉	高度教養教育・学生支援機構教授
高梨弘毅	総長補佐(金属材料研究所長)		
工藤与志文	教育学研究科長		
樺島博志	法学研究科長		
照井伸彦	経済学研究科長		
寺田眞浩	理学研究科長		
五十嵐和彦	医学系研究科長		
佐々木啓一	歯学研究科長		
根東義則	薬学研究科長		
牧野周	農学研究科長		
小野尚之	国際文化研究科長		
中尾光之	情報科学研究科長		
東谷篤志	生命科学研究科長		
土屋範芳	環境科学研究科長		
厨川常元	医工学研究科長		
川島隆太	加齢医学研究所長		
大林茂	流体科学研究所長		
塩入諭	電気通信研究所長		
村松淳司	多元物質科学研究所長		
今村文彦	災害科学国際研究所長		
高橋哲	病院総括副病院長		
高倉浩樹	東北アジア研究センター長		
小谷元子	材料科学高等研究所長		
山本雅之	東北メディカル・メガバンク機構長		
佐藤嘉倫	文学研究科教授		
野口和人	教育学研究科教授		
成瀬幸典	法学研究科教授		
日引聡	経済学研究科教授		
日笠健一	理学研究科教授		
谷内一彦	医学系研究科教授		
高橋信博	歯学研究科教授		
岩渕好治	薬学研究科教授		
猪股宏	工学研究科教授		

役員・職員数

(平成30年5月1日現在)

職 種		総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
部 局												
総 長		1										1
理 事			7									7
監 事				2(1)								2
本部事務機構	総長・プロボスト室										7	7
	総務企画部							1	1	2	48	50
	人事企画部										58	58
	教育・学生支援部										96	96
	財務部										73	73
	研究推進部										24	24
	施設部										43	43
	情報部										21	21
	国際交流課										11	11
	監査室										6	6
文学部・文学研究科					42	32		13	2	89	20	109
教育学部・教育学研究科					16	18		8		42	10	52
法学部・法学研究科					36	16	1	3	2	58	14	72
経済学部・経済学研究科					34	20	2	5	7	68	18	86
理学部・理学研究科					76	77	5	83	4	245	70	315
医学部・医学系研究科					87	61	28	111	21	308	41	349
歯学部・歯学研究科					19	16	10	54		99	18	117
薬学部・薬学研究科					17	12	7	26	5	67	15	82
工学部・工学研究科					113	108	6	117	9	353	114	467
農学部・農学研究科					38	43		38	3	122	28	150
国際文化研究科					20	16	2			38	14	52
情報科学研究科					33	33	1	24		91	10	101
生命科学研究科					27	13	3	32		75	14	89
環境科学研究科					17	15	1	17	2	52	7	59
医工学研究科					18	7	1	2		28	4	32
金属材料研究所					27	33	2	61	5	128	37	165
加齢医学研究所					15	8	3	23		49	13	62
流体科学研究所					17	7		17		41	10	51
電気通信研究所					20	21		23		64	15	79
多元物質科学研究所					46	31	6	66	2	151	29	180
災害科学国際研究所					19	15	2	19	1	56	9	65
図書館	図書館										26	26
	医学分館										6	6
	北青葉山分館										4	4
	工学分館										7	7
	農学分館										4	4
病 院					11	28	70	232	63	404	1,808	2,212
情報シナジー機構											2	2
高度教養教育・学生支援機構					29	37	22	20	2	110	18	128
高等研究機構	高等研究機構										11	11
	材料科学高等研究所				13	10		26	6	55	3	58
	学際科学フロンティア研究所				4	6		45		55	2	57
国際連携推進機構						1				1	2	3
学位プログラム推進機構					1					1		1
産学連携機構					2					2	19	21
災害復興新生研究機構								1		1		1
研究推進・支援機構					1	1		1	2	5	13	18
事業支援機構					1	2	1	5		9	380	389
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター					6	2	2	4	3	17		17
埋蔵文化財調査室											3	3
東北アジア研究センター					9	7		9		25		25
学術資源研究公開センター					3	4		6		13		13
電子光物理学研究センター					4	5		6		15		15
サイバーサイエンスセンター					4	5		1		10		10
ニュートリノ科学研究センター					1	4	1	6		12		12
男女共同参画推進センター											2	2
スピントロニクス学術連携研究教育センター						1		3		4		4
数理科学連携研究センター					1	2		1		4		4
スマート・エイジング学際重点研究センター					1	1		6	1	9		9
キャンパスデザイン室											3	3
インスティテューショナル・リサーチ室					1					1	1	2
オープンオンライン教育開発推進センター											1	1
未来科学技術共同研究センター					19	18	1	12	2	52	6	58
教育情報基盤センター					2	3		2	1	8		8
遺伝子実験センター						1				1		1
東北メディカル・メガバンク機構					12	8	14	41	8	83	18	101
マイクロシステム融合研究開発センター					3	3		1	2	9	2	11
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター								1		1		1
国際集積エレクトロニクス研究開発センター					13	2		1		16	4	20
産学連携先端材料研究開発センター					1					1	1	2
電気通信研究機構					2					2	1	3
合 計		1	7	2(1)	881	753	191	1,173	154	3,152	3,244	6,406

※再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※()は非常勤で内数。

学部

文学部 1学科5学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	人 文 社 会 学 科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
教育学部 1学科2学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	教 育 科 学 科	2	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	法 学 科	1	法学・政治学
経済学部 2学科6学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	経 済 学 科	3	基礎理論、応用経済、経済史
	経 営 学 科	3	経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	数 学 科	1	数学
	物 理 学 科	1	物理学
	宇 宙 地 球 物 理 学 科	1	宇宙地球物理学
	化 学 科	1	化学
	地 圏 環 境 科 学 科	1	地圏環境科学
	地 球 惑 星 物 質 科 学 科	1	地球惑星物質科学
医学部 2学科15学科目 7講座	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	医 学 科	15	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、麻酔・救急医学、社会医学
	保 健 学 科	7 (講座)	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	歯 学 科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、口腔病態基礎外科学
薬学部 2学科2学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	薬 学 科	1	薬学
	創 薬 科 学 科	1	創薬科学
工学部 5学科50学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	17	機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、ロボットシステム、ナノシステム、航空システム、宇宙システム、原子核システム安全工学、エネルギー物理工学、粒子ビーム工学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、バイオ・メディカルデバイス、バイオ・メディカルシステム
	電 気 情 報 物 理 工 学 科	11	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、通信システム工学、波動工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	9	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、超臨界流体工学、生体分子化学、生体機能化学
	材 料 科 学 総 合 学 科	7	創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、材料環境学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、建築構成学
農学部 2学科13学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	生 物 生 産 科 学 科	8	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	応 用 生 物 化 学 科	5	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

大学院

文学研究科 4専攻20講座

専攻
文化科学
言語科学
歴史科学
人間科学

講座数
5
3
6
5
1

講座
日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学
言語学、日本語学、日本語教育学
日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学
社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術社会論
○実践宗教学

教育学研究科 1専攻5講座

専攻
総合教育学

講座数
5

講座
教育学、教育心理学、教育情報アセスメント、○多文化教育論、○教育情報応用論

法学研究科 3専攻8講座

専攻
総合法制(法科大学院)
公共法政策(公共政策大学院)
法政理論研究(研究大学院)

講座数
3
2
3

講座
現代市民法、現代企業法、比較法社会論
行政法政策、ガバナンス研究
トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析

経済学研究科 2専攻12講座

専攻
経済経営学
会計専門職(会計大学院)

講座数
8
4

講座
経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

理学研究科 6専攻48講座

専攻
数学
物理学
天文学
地球物理学
化学
地学

講座数
5
16
3
7
10
7

講座
代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理論
量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、相関物理学、領域横断物理学、○原子核物理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
天文学、理論天体物理学、※スペース宇宙科学
固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、○惑星圏物理学、※固体地球物理学
無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学
地圏進化学、環境地学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、※地圏物質循環学、※地球内部反応

医学系研究科 4専攻55講座

専攻
医学
障害科学
保健学
公衆衛生学

講座数
44
3
6
2

講座
細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、情報健康医学、公共健康医学、○医用動物学、○加齢制御学、○腫瘍制御学、○加齢脳科学、○サイクロトロン核医学、※分子・神経イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、※がん生命科学、※地域精神医療、※先進循環器医学、※グローバル感染症学、※先進医薬品・医療機器開発レギュラトリーサイエンス、※宮城県北先制医療学、※次世代小児医療、※新興・再興感染症学、※腎臓病関連疾患総合医療、※地域先進医療学、※脳神経精神医学、※先進放射線核医学、○予防精神医学、○視覚先端医療学、○網膜疾患制御学、○循環器 EBM 開発学、○循環器先端医療開発学、○多発性硬化症治療学、○大動脈疾患治療開発学、○難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携、○漢方・統合医療学、○眼科画像情報解析学、○先進呼吸管理学、○神経電磁気生理学、○スポーツ・運動機能再建医学、○抗体創薬、○眼科創薬
機能医科学、※高齢者認知・運動機能障害学講座、○先進感染症予防学
基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、臨床検査医科学
情報健康医学、公共健康医学

歯学研究科 1専攻11講座

専攻
歯科学

講座数
11

講座
口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健教育学、口腔病態外科学、顎口腔創建学、○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学、◇次世代歯科材料工学、◇先端フリーラジカル制御学

薬学研究科 3専攻9講座

専攻
分子薬科学
生命薬科学
医療薬学

講座数
4
2
3

講座
分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
生命解析学、生命情報薬学
医療薬学、○病態分子薬学、※医薬品評価学

工学研究科 18専攻95講座

専攻
機械機能創成
ファインメカニクス
ロボティクス
航空宇宙工学
量子エネルギー工学
電気エネルギーシステム
通信工学
電子工学

講座数
6
8
4
5
12
4
4
7

講座
機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、○破壊機構学、○知能流体システム学、○多元物質応用システム工学
材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、先進ファインメカニクス、○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学、○損傷計測学
ロボットシステム、ナノシステム、先進ロボティクス、○知的メカノシステム工学
航空システム、宇宙システム、先進航空宇宙工学、○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、粒子ビーム工学、○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学、※廃炉基盤工学
エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、○情報エネルギーシステム工学、○先端電力工学
知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、○伝送工学
超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、○電子材料工学、○極限表面制御工学

工学研究科 18専攻95講座	専攻	講座数	講 座
	応 用 物 理 学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
	応 用 化 学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
	化 学 工 学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バ イ オ 工 学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	6	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理学、○プロセス設計学、○プロセス制御学、◇先進鉄鋼材料組織制御学 (JFE スチール)
農学研究科 3専攻19講座	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材 料 シ ス テ ム 工 学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土 木 工 学	5	数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
	都 市 ・ 建 築 学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
	技 術 社 会 シ ス テ ム	2	実践技術経営融合、先端社会工学
国際文化研究科 1専攻8講座	専攻	講座数	講 座
	資 源 生 物 科 学	9	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、※資源環境政策学、※緑辺深海生態系動態学、◎家畜生産機能開発学
	応 用 生 命 科 学	5	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学、
情報科学研究科 4専攻33講座	生 物 産 業 創 成 科 学	5	微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、◎微生物資源学
生命科学研究科 3専攻12講座	専攻	講座数	講 座
	国 際 文 化 研 究	8	ヨーロッパ・アメリカ研究、アジア・アフリカ研究、国際日本研究、国際政治経済論、国際環境資源政策論、多文化共生論、言語科学研究、応用言語研究
環境科学研究科 2専攻18講座	専攻	講座数	講 座
	情 報 基 礎 科 学	9	情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○高性能計算論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	シ ス テ ム 情 報 科 学	9	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
医工学研究科 1専攻10講座	人 間 社 会 情 報 科 学	6	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学、○コミュニケーション心理学
	応 用 情 報 科 学	9	応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、○バイオメディカル情報解析学、※複雑系統計科学
専門職大学院 3専攻9講座	専攻	講座数	講 座
	脳 生 命 統 御 科 学 専 攻	3	神経ネットワーク、細胞ネットワーク、○分子制御ネットワーク
	生 態 発 生 適 応 科 学 専 攻	4	個体ダイナミクス、生態ダイナミクス、○多様性ダイナミクス、※生態複合ダイナミクス
環境科学研究科 2専攻18講座	分 子 化 学 生 物 学 専 攻	5	ケミカルバイオロジー、分子ネットワーク、○階層的構造ダイナミクス、◎微生物進化機能開発、※ゲノム情報学
環境科学研究科 2専攻18講座	専攻	講座数	講 座
	先 進 社 会 環 境 学	5	資源戦略学、エネルギー資源学、環境政策学、○環境応用政策学、◎環境物質政策学 (DOWA ホールディングス)
	先 端 環 境 創 成 学	13	都市環境・環境地理学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理学、○環境システム材料学、※環境適合材料創製学、※地球環境変動学、※環境リスク評価学
医工学研究科 1専攻10講座	専攻	講座数	講 座
	医 工 学	10	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学
専門職大学院 3専攻9講座	専攻	講座数	講 座
	法 科 大 学 院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公 共 政 策 大 学 院	2	行政法政策、ガバナンス研究
	会 計 大 学 院	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、◇は共同研究講座を、△は客員研究部門を表す。

附置研究所

金属材料研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 29	研究目的及びその研究部門 材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属材料学、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、△材質制御学、結晶欠陥物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、耐環境材料学、原子力材料工学、電子材料物性学、△材料設計学、ランダム構造物質学、構造制御機能材料学、錯体物性化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、アクチノイド物質科学、不定比化合物材料学、分析科学、△材料プロセス評価学
加齢医学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 加齢医学に関する学理及びその応用の研究 加齢制御、腫瘍制御、脳科学、◎認知機能発達（公文教育研究会）
流体科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 流動現象に関する学理及びその応用の研究 流動創成、複雑流動、ナノ流動、◇先端車輛基盤技術研究（ケーヒン）Ⅱ
電気通信研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 4	研究目的及びその研究部門 高次情報通信に関する学理およびその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	部門数 5	研究目的及びその研究部門 多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測、◇非鉄金属精錬環境科学
災害科学国際研究所	部門数 7	研究目的及びその研究部門 災害科学に関する学理及びその応用の研究 災害リスク、人間・社会対応、地域・都市再生、災害理学、災害医学、情報管理・社会連携、◎地震津波リスク評価（東京海上日動）

注) ○は寄附研究部門を、◇は共同研究部門を、△は客員研究部門を表す。

■ 研究施設・組織・機構等

機構

施設名	設置目的
情報シナジー機構	本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図る。
高度教養教育・学生支援機構 (教育関係共同利用拠点)	高度教養教育及び学生支援に関する調査研究、企画及び提言並びにそれらの方法の開発及び実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与する。
高等研究機構	世界最高水準の研究者が集結する優れた国際的研究環境を構築することにより、世界最高の研究成果及び既存の学問領域を超えた新しい学術分野を創出し、並びに世界をリードする横断的分野融合研究を推進するとともに、次代を担う若手研究者を養成する。
材料科学高等研究所	革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。
学際科学フロンティア研究所	異分野融合による学際的研究を開拓し、及び推進するとともに、各研究科、各附置研究所及び学位プログラム推進機構学際高等研究教育院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することにより新たな知と価値を創出し、より豊かな人類社会の発展に貢献する。
国際連携推進機構	関係部局との連携の下、本学の国際化環境整備を促進し、職員及び学生の国際流動性の向上並びに教育研究における国際連携強化を一体的に行う。
学位プログラム推進機構	学問領域の壁を超え、かつ、国境の壁を超えた先進的な大学院の学位プログラム等の実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、これまでの本学の教育の質の向上に寄与し、国際的な指導者として活躍する人材を育成することを目的とする。
産学連携機構	産業界と連携して研究開発を行う関係部局との連携の下、世界標準の産学連携マネジメントを基盤とした本学の産学官連携の推進に関する業務を行うことにより、本学の研究成果の社会実装を図り、社会経済におけるイノベーションの推進に寄与する。
災害復興新生研究機構	関係部局との連携の下、本学が東日本大震災の被災地の中心に所在する総合大学として被災地域の課題を踏まえ、その特色及び資源を活用して行う研究、人材育成及び新産業創出等の取組を推進し、その成果を社会に発信し、及び実践を図ることにより、東日本震災からの復興及び新生に寄与する。
研究推進・支援機構	本学における研究の推進及び支援を行うことにより、本学の研究の一層の発展に寄与し、分野融合及び新たな学問分野の創出を実現するとともに、その成果を社会に還元する。
事業支援機構	本学における適切な職場環境の形成及び教育研究に関する技術的支援を行うことにより、教育研究活動の一層の充実に資する。

研究施設・組織・機構等

学内共同教育研究施設

施設名	設置目的
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
東北アジア研究センター	東北アジア（東アジア及び北アジア並びに日本をいう。）地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の本学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
電子光学研究センター (共同利用・共同研究拠点)	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光科学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
サイバーサイエンスセンター (共同利用・共同研究拠点)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射能環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
男女共同参画推進センター	男女共同参画委員会の方針に基づき、女性研究者の育成支援等に係る施策を行うことにより、本学における男女共同参画を推進する。
スピントロニクス学術連携研究 教育センター	世界をリードする日本のスピントロニクス研究の国際競争力の向上、新産業の創出、現産業の強化及び次世代人材の育成を目指し、国内外の研究機関との共同研究を促進する連携ネットワークの拠点としての役割を担う。
数理科学連携研究センター	先端的社会実現に向けたテクノロジー及びイノベーションの原動力となる数学・数理科学の基礎基盤構築を促進し、異分野連携研究による新分野の創出及び社会の要請に応える研究教育活動を含めた総合的な数理科学の進展を行う。
スマート・エイジング学際重点 研究センター	基礎生命科学、人文社会科学その他の加齢科学に関する広範な学問領域が重層的かつ融合的に協同し、社会での認知症予防実践を提言する文理融合の学際的国際共同研究を行うことにより、真に有機的な融合科学としての加齢科学の構築を図り、もって超高齢社会における個人及び社会の活力維持に向けたスマート・エイジングを実現する。
ヨットインフォマティクス 研究センター	人文社会科学、理工学及び情報科学の知を連携し、質・価値の概念を導入した情報処理手法の構築及び社会実装に向けた文理連携研究を行うことにより、情報質を取り扱う新たな情報学を確立し、もって多様な価値を享受できる社会の実現に貢献する。
キャンパスデザイン室	本学の伝統を継承し、及び長期的視点に立ったキャンパスのデザインに関する調査及び研究を行い、専門的な観点から国立大学法人東北大学キャンパス総合計画委員会を支援する。
オープンオンライン 教育開発推進センター	本学における大規模公開オンライン講座に関する研究開発、企画及び支援を関係部局との連携の下、一体的に行うとともに、本学の教育研究成果をオンライン教育により国内外へ発信及び公開することにより、本学の教育研究の一層の発展に寄与する。
施設名	設置目的
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤（放射性物質を含む廃棄物を除く。）を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を開発することにより、環境の保全に資する。
教育情報基盤センター	本学における教育の情報化及び情報教育に関する研究開発及び支援を行うとともに、教育上の情報システムに関する管理運用を一元的に行い、もって本学における教育の高度化及び学生サービスの充実に資する。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
東北メディカル・メガバンク機構	東日本大震災における被災地の長期健康調査のための大規模コホート調査による医療健康福祉情報とゲノム情報をつなぐ新たな複合バイオバンクの構築及び次世代生命医療情報システムの研究拠点形成を通じた人材養成の推進により、医療資源の有効的活用等による医療過疎問題の改善及び先進的ゲノム医療の実現を図り、もって東北地方の復興に資する。
マイクロシステム融合研究開発 センター	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
省エネルギー・スピントロニクス 集積化システムセンター	スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した革新的な省エネルギー論理集積回路を開発し、及びその技術に係る産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代半導体分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、低炭素・省エネルギー社会の実現に貢献する。
電気通信研究機構	本学の電気、通信、電子及び情報の各分野の研究者及び技術者の英知を結集し、災害に強い情報通信ネットワークの構築及び世界をリードする革新的研究開発を通じて、被災地である東北における情報通信・エレクトロニクス産業の興隆、さらに我が国における新しい情報通信・エレクトロニクス分野の新産業創出に寄与し、社会的課題にこたえる戦略的研究の推進、地域政策及び国家政策への貢献並びに産学連携研究の推進を行う。
国際集積エレクトロニクス 研究開発センター	集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。
産学連携先端材料 研究開発センター	産学官による連携体制を構築し、未来の社会を支える新しい材料に係る加工、製造、処理、分析及び評価の各プロセスにおける技術の研究開発及び実用化を促進することにより、東北地域の産業復興及び我が国の材料分野における国際競争力の強化に寄与する。
レアメタル・グリーンイノベーション 研究開発センター	産学官による共同研究とコンソーシアムの形成を通じ、レアメタルのサプライチェーンの構築ならびにグリーンイノベーションを推進して、レアメタルを効率的に利用する産業構造の構築及び省エネルギーによる低炭素社会の実現に資するとともに、これらの研究を通じて次代を担う研究者及び技術者の教育及び育成に貢献する。
原子炉廃止措置基盤 研究センター	東京電力株式会社福島第一原子力発電所における原子炉の安全かつ着実な廃止措置に資する基盤技術の研究開発及び原子炉の廃止措置等に関する基盤研究を行うことにより、東日本大震災からの復興及び我が国の原子力分野における国際競争力の強化に寄与する。
国際戦略室	本学の戦略的な国際協働並びに包括的な国際化に向けた体制強化を図るための戦略及び施策の立案を行う。
社会連携推進室	卒業生、一般市民、地域団体など社会全体への知の循環及び共有を通じて、本学と社会との互惠関係の維持発展を図るとともに、基金活動の推進及びその活動を通じた社会との新しい関係の構築を図る。
アセットマネジメントセンター	本学の供用可能スペースその他の保有資産の利用を一元的に管理するとともに、その活用について企画し、及び情報を広く学内外に提供することにより、資産の有効活用を図り、もって戦略的な大学経営の推進に資する。

所蔵冊数

(平成30年3月31日現在)

区 分	種 別	本 館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計	
蔵書冊数	図 書	和漢書	1,637,192	172,654	92,255	181,083	88,763	2,171,947
		洋 書	1,174,670	244,771	306,209	183,361	61,585	1,970,596
		計	2,811,862	417,425	398,464	364,444	150,348	4,142,543
	雜 誌	和雑誌	26,679	5,408	2,686	3,743	4,363	42,879
		洋雑誌	17,442	9,416	8,559	4,384	2,299	42,100
		計	44,121	14,824	11,245	8,127	6,662	84,979

利用状況

(平成29年度)

区 分	本 館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	669,368	188,059	67,321	122,394	66,098	1,113,240
学外閲覧者	1,847	1,254	1,871	105	582	5,659
貸出図書	227,603	30,284	24,442	49,795	8,054	340,178
レファレンスサービス	506	3,607	2,892	4,896	2,644	14,545
情報検索サービス	1,300	7,686	1,157	2,203	1,190	13,536
文献複写	5,298	8,383	1,572	4,861	589	20,703

蔵書の特徴

1. 国 宝	史 記 孝文本紀第十(平安時代) 類聚國史 巻第二十五(平安時代)
2. 貴重図書	和漢書820点(うち狩野文庫574点)、西蔵大蔵経(デルゲ版)、漱石文庫、秋田家史料、洋書110点
3. 準貴重図書	狩野文庫(国宝・貴重図書を除く)、和算関係資料、晩翠文庫、櫛田(民蔵)文庫、ヴント文庫(Wilhelm Wundt)、ケーベル文庫(Raphael von Koeber)、シュタイン文庫(Friedrich Stein)、ゼッケル文庫(Emil Seckel)、チーテルマン文庫(Ernst Zitellmann)、古文書資料群、ヴィルヘルム・ヴィンデルバント直筆ノート(Wilhelm Windelband)
4. その他特殊文庫等	阿部(次郎)文庫、大類(伸)文庫、児島(喜久雄)文庫、石津(照璧)文庫、梅原(末治)文庫、矢島(玄亮)文庫、和田(佐一郎)文庫、須永(重光)文庫、木下(彰)文庫、高柳(真三)文庫、宮田(光雄)文庫、伊東(信雄)文庫、河野(与一)文庫、中野(正)文庫、中村(吉治)文庫、平山(諦)文庫、松本(金寿)文庫、柳瀬(良幹)文庫、金谷(治)文庫、芹澤(長介)文庫、武内(義雄)文庫、ヴェルフェル文庫(Georg Wüffel)、晴山文書、齋藤養之助家史料、第二特殊文庫資料群



ラーニング・commons



グローバル学習室



国宝(史記 孝文本紀 第十)

■ 病院

(平成30年5月1日現在)

部門	診療科	病床数
医科部門	内科	総合診療科、循環器内科、総合感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、加齢・老年病科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科
	外科	総合外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科、緩和医療科、救急科
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科
	脳・神経・精神科	神経内科、脳神経外科、精神科
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、てんかん科、内部障害リハビリテーション科、高次脳機能障害科
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科
歯科部門	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科、咬合機能成育室
	口腔維持系診療科	口腔診断科、歯科顎口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科
	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科

組織

患者数

(平成29年度)

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	363,087	994.8
歯科部門	10,501	28.8
部門／外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	556,170	2,279
歯科部門	150,325	616

先進医療

(平成30年5月1日現在)

泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術

歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法

重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植

パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん

インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法

成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。）

初発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する照射前大量メトトレキサート療法後のテモゾロミド併用放射線治療＋テモゾロミド維持療法

FDGを用いたポジトロン断層・コンピュータ断層撮影による不明熱の診断（画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る）

LDL アフェレシス療法

ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）

細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）

リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法

テモゾロミド用量強化療法

自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術および十二指腸空腸バイパス術



学生総数

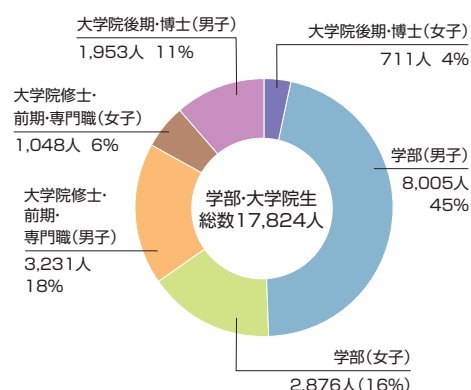
区分	学生定員	在籍者	内 留学生数			研究者 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 学部入学前教育受講生 日本語研修コース
			国費	私費	計	
学部学生	10,040	10,881 (2,876)	56	149	205	351
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,838	4,279 (1,048)	120	657	777	192
大学院学生(後期・博士)	2,581	2,664 (711)	188	476	664	
計	16,459	17,824 (4,635)	364	1,282	1,646	543
附属学校	40	28 (17)	—	—	—	—
研究所	—	—	—	—	—	21
その他	—	—	—	—	—	27
合計	16,499	17,852 (4,652)	364	1,282	1,646	591

()の数は女子で内数。私費留学生については、政府派遣留学生を含む

学 部

学部名	総定員	在 籍 者	
文 学 部	840	960 (491)	[19]
教 育 学 部	280	301 (155)	[0]
法 学 部	640	729 (236)	[7]
経 済 学 部	1,080	1,176 (234)	[10]
理 学 部	1,296	1,380 (222)	[42]
医 学 部	1,386	1,428 (585)	[4]
歯 学 部	318	318 (142)	[6]
薬 学 部	360	391 (128)	[1]
工 学 部	3,240	3,540 (416)	[96]
農 学 部	600	658 (267)	[20]
計	10,040	10,881 (2,876)	[205]

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数



大学院

研究科等名	修士・前期・専門職				後期・博士			
	総定員	在 籍 者			総定員	在 籍 者		
文 学 研 究 科	178	188 (104)	[66]		135	177 (74)	[53]	
教 育 学 研 究 科	88	76 (50)	[21]		51	68 (28)	[8]	
法 学 研 究 科	230	150 (32)	[19]		52	49 (15)	[25]	
経 済 学 研 究 科	180	168 (76)	[124]		60	49 (18)	[21]	
理 学 研 究 科	524	597 (95)	[58]		390	263 (39)	[83]	
医 学 系 研 究 科	184	215 (116)	[29]		583	751 (221)	[70]	
歯 学 研 究 科	12	14 (9)	[2]		168	187 (76)	[34]	
薬 学 研 究 科	108	122 (26)	[11]		70	69 (14)	[8]	
工 学 研 究 科	1,272	1,542 (187)	[183]		522	516 (73)	[177]	
農 学 研 究 科	218	260 (104)	[38]		111	98 (28)	[22]	
国 際 文 化 研 究 科	70	70 (44)	[53]		48	53 (32)	[32]	
情 報 科 学 研 究 科	280	341 (59)	[81]		126	132 (22)	[42]	
生 命 科 学 研 究 科	212	202 (70)	[18]		124	83 (23)	[24]	
環 境 科 学 研 究 科	200	231 (51)	[50]		99	100 (32)	[53]	
医 工 学 研 究 科	70	88 (20)	[13]		32	47 (7)	[12]	
教 育 情 報 学 教 育 部	12	15 (5)	[10]		10	22 (9)	[1]	
計	3,838	4,279 (1,048)	[776]		2,581	2,664 (711)	[665]	

()の数は女子で内数、[]の数は留学生で内数

附属学校

学校名	定 員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	17 (12)	28 (17)

()の数は女子で内数

入学状況

(平成30年度)

学 部

学部名			入学 定員	入学志願者		入学者	
文	学	部	210	564	(312)	222	(126)
教	育	学 部	70	263	(140)	75	(43)
法	学	部	160	485	(171)	172	(60)
経	済	学 部	260	1,198	(206)	275	(49)
			20	27	(5)	10	(2)
理	学	部	324	1,506	(249)	325	(63)
医	学	医 学 科	135	645	(167)	139	(30)
		保健学科	144	388	(300)	144	(107)
歯	学	部	53	223	(91)	53	(25)
薬	学	部	80	298	(95)	86	(22)
工	学	部	810	2,475	(332)	802	(88)
農	学	部	150	467	(193)	153	(61)
計			2,396	8,512	(2,256)	2,446	(674)
			20	27	(5)	10	(2)

()の数は女子で内数。下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、《 》の数は女子で内数

大学院

研究科等名	修士・前期・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文 学 研 究 科	前期	89	135 (91)	78 (52)
	後期	45	45 (25)	32 (15)
教 育 学 研 究 科	前期	45	90 (60)	45 (32)
	後期	15	34 (16)	27 (11)
法 学 研 究 科	前期	10	6 (3)	3 (2)
	後期	12	10 (3)	3 (0)
	専門職	80	153 (26)	55 (6)
経 済 学 研 究 科	前期	50	59 (35)	21 (16)
	後期	20	11 (2)	10 (2)
	専門職	40	35 (11)	15 (4)
理 学 研 究 科	前期	262	353 (47)	270 (32)
	後期	130	49 (4)	49 (4)
医 学 系 研 究 科	修士	40	46 (28)	38 (23)
	博士	130	125 (38)	121 (34)
	前期	52	59 (30)	52 (27)
	後期	21	33 (19)	25 (15)
歯 学 研 究 科	修士	6	5 (4)	5 (4)
	博士	42	37 (14)	36 (14)
薬 学 研 究 科	博士	4	2 (1)	2 (1)
	前期	54	59 (12)	56 (12)
	後期	18	13 (2)	13 (2)
工 学 研 究 科	前期	636	918 (115)	717 (86)
	後期	174	121 (18)	112 (16)
農 学 研 究 科	前期	109	173 (67)	122 (52)
	後期	37	27 (9)	26 (8)
国際文化研究科	前期	35	56 (38)	27 (19)
	後期	16	11 (7)	9 (6)
情報科学研究科	前期	140	190 (24)	150 (24)
	後期	42	29 (5)	27 (3)
生命科学研究科	前期	106	109 (34)	93 (28)
	後期	30	14 (6)	13 (5)
環境科学研究科	前期	100	128 (19)	102 (14)
	後期	33	10 (4)	10 (4)
医工学研究科	前期	39	42 (8)	37 (7)
	後期	12	7 (1)	7 (1)
計	修士	46	51 (32)	43 (27)
	博士	176	164 (53)	159 (49)
	前期	1,727	2,377 (583)	1,773 (403)
	後期	605	414 (121)	363 (92)
	専門職	120	188 (37)	70 (10)

()の数は女子で内数



平成30年度入学式 平成30年4月4日

出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

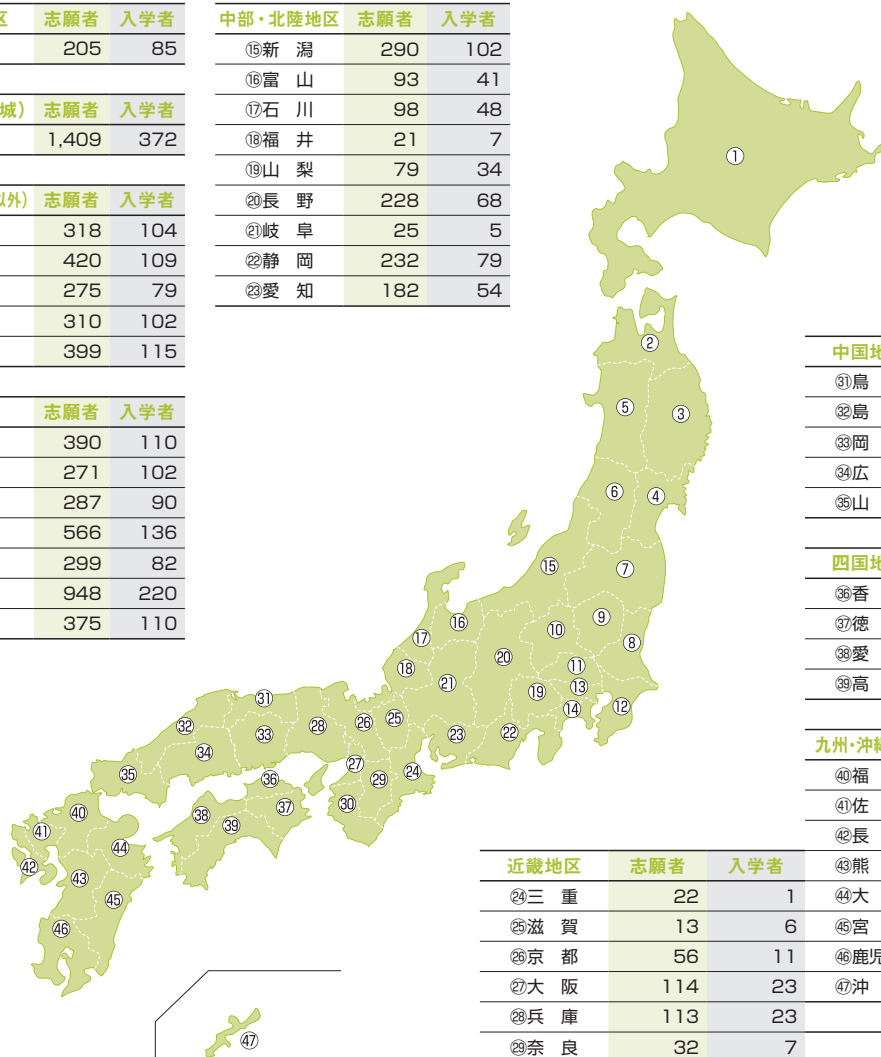
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	205	85

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1,409	372

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	318	104
③岩手	420	109
⑤秋田	275	79
⑥山形	310	102
⑦福島	399	115

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	390	110
⑨栃木	271	102
⑩群馬	287	90
⑪埼玉	566	136
⑫千葉	299	82
⑬東京	948	220
⑭神奈川	375	110

中部・北陸地区	志願者	入学者
⑮新潟	290	102
⑯富山	93	41
⑰石川	98	48
⑱福井	21	7
⑲山梨	79	34
⑳長野	228	68
㉑岐阜	25	5
㉒静岡	232	79
㉓愛知	182	54



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	12	1
㉕島根	5	4
㉖岡山	28	11
㉗広島	36	13
㉘山口	10	2

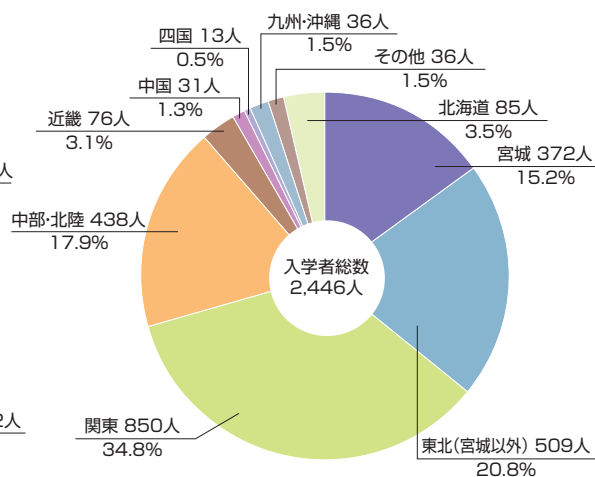
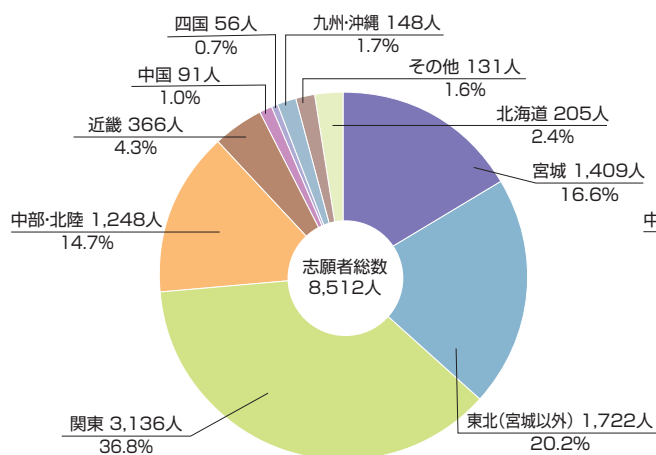
四国地区	志願者	入学者
㉙香川	22	4
㉚徳島	6	2
㉛愛媛	16	6
㉜高知	12	1

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㉝福岡	42	9
㉞佐賀	11	4
㉟長崎	13	1

近畿地区	志願者	入学者
㊱三重	22	1
㊲滋賀	13	6
㊳京都	56	11
㊴大阪	114	23
㊵兵庫	113	23
㊶奈良	32	7
㊷和歌山	16	5
その他	志願者	入学者
その他	131	36

※その他は、帰国生徒、高専等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

平成30年度 学部入学志願者・入学者の出身地区別内訳



学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(平成30年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和24年4月 以前入学者)	新制 (昭和24年5月以降入学者)	
		平成29年度	累計
文学部	1,277	218	11,440
教育学部	—	84	6,957
法学部	3,844	169	12,845
経済学部	1,446	260	14,736
理学部	2,747	343	17,181
医学部	3,290	269	8,337
歯学部	—	52	2,658
薬学部	—	79	4,052
工学部	3,953	910	49,149
農学部	679	164	9,337
計	17,236	2,548	136,692

※農学部旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数(修士)

(平成30年3月31日現在)

区分	平成29年度	累計
文学研究科	64	3,581
教育学研究科	37	1,282
法学研究科	9	602
経済学研究科	67	1,462
理学研究科	259	10,317
医学系研究科	82	1,108
歯学研究科	6	85
薬学研究科	67	2,456
工学研究科	721	25,306
農学研究科	141	4,301
国際文化研究科	40	880
情報科学研究科	151	3,204
生命科学研究科	96	1,546
環境科学研究科	89	1,344
医工学研究科	34	324
教育情報学教育部	15	176
計	1,878	57,974

学位授与者数(専門職)

(平成30年3月31日現在)

区分	平成29年度	累計
公共法政策修士(専門職)	18	298
法務博士(専門職)	19	833
会計修士(専門職)	63	432
計	100	1,563

学位授与者数(博士)

(平成30年3月31日現在)

区分	旧制 (昭和28年3月 以前入学者)	新制(課程) (昭和28年4月以降入学者)		新制(論博)	
		平成29年度	累計	平成29年度	累計
文学研究科	96	17	542	5	307
教育学研究科	—	4	198	0	131
法学研究科	38	3	131	1	54
経済学研究科	50	12	302	2	117
理学研究科	944	70	3,143	4	1,270
医学系研究科	3,715	139	4,031	9	3,514
歯学研究科	—	30	824	0	210
薬学研究科	—	20	613	5	588
工学研究科	554	147	5,536	1	2,241
農学研究科	152	27	1,207	0	795
国際文化研究科	—	10	199	0	10
情報科学研究科	—	28	703	0	65
生命科学研究科	—	23	360	2	30
環境科学研究科	—	16	330	1	21
医工学研究科	—	10	70	1	4
教育情報学教育部	—	3	43	0	3
計	5,549	559	18,232	31	9,360



平成30年3月学位記授与式 平成30年3月27日



卒業後の状況 進路状況調(平成29年度卒業・修了)

(平成30年5月1日現在)

学 部

区 分	卒業者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文 学 部	218 (117)	32 (19)	— —	153 (84)	32 (19)	121 (65)	33 (14)
教 育 学 部	84 (39)	15 (6)	— —	59 (26)	17 (10)	42 (16)	10 (7)
法 学 部	169 (47)	20 (4)	— —	129 (41)	22 (9)	107 (32)	20 (2)
経 済 学 部	260 (54)	4 (2)	— —	233 (50)	27 (4)	206 (46)	23 (2)
理 学 部	343 (49)	280 (36)	— —	43 (8)	3 (0)	40 (8)	20 (5)
医 学 部	6年 126 (18)	0 (0)	122 (18)	0 (0)	— —	— —	4 (0)
	4年 143 (102)	41 (23)	— —	98 (78)	56 (49)	42 (29)	4 (1)
歯 学 部	52 (28)	0 (0)	42 (25)	0 (0)	— —	— —	10 (3)
薬 学 部	6年 20 (13)	0 (0)	— —	20 (13)	2 (2)	18 (11)	0 (0)
	4年 59 (14)	56 (13)	— —	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (0)
工 学 部	910 (121)	785 (98)	— —	86 (19)	7 (4)	79 (15)	39 (4)
農 学 部	164 (68)	126 (49)	— —	31 (16)	5 (2)	26 (14)	7 (3)
計	2,548 (670)	1,359 (250)	164 (43)	853 (336)	171 (99)	682 (237)	172 (41)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：前期2年の課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文 学 研 究 科	64 (32)	18 (5)	— —	25 (15)	9 (5)	16 (10)	21 (12)
教育学研究科	37 (22)	12 (6)	— —	23 (16)	8 (5)	15 (11)	2 (0)
法学研究科	9 (3)	3 (2)	— —	2 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (1)
経済学研究科	67 (34)	9 (3)	— —	26 (11)	4 (1)	22 (10)	32 (20)
理学研究科	259 (41)	67 (6)	— —	181 (32)	9 (2)	172 (30)	11 (3)
医学系研究科	48 (22)	10 (5)	— —	35 (15)	18 (9)	17 (6)	3 (2)
薬学研究科	67 (15)	9 (1)	— —	53 (11)	0 (0)	53 (11)	5 (3)
工学研究科	721 (93)	69 (8)	— —	625 (79)	26 (1)	599 (78)	27 (6)
農学研究科	141 (68)	20 (6)	— —	105 (56)	10 (5)	95 (51)	16 (6)
国際文化研究科	40 (26)	13 (8)	— —	12 (8)	1 (1)	11 (7)	15 (10)
情報科学研究科	151 (23)	18 (3)	— —	115 (12)	4 (1)	111 (11)	18 (8)
生命科学研究科	96 (44)	18 (7)	— —	69 (33)	8 (4)	61 (29)	9 (4)
環境科学研究科	89 (16)	12 (4)	— —	75 (12)	4 (1)	71 (11)	2 (0)
医工学研究科	34 (4)	2 (0)	— —	29 (3)	0 (0)	29 (3)	3 (1)
教育情報学教育部	15 (11)	1 (1)	— —	8 (4)	0 (0)	8 (4)	6 (6)
計	1,838 (454)	281 (65)	0 (0)	1,383 (307)	101 (35)	1,282 (272)	174 (82)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：後期3年の課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	修了者のうち ポストドクター となった者
					県内	県外		
文学研究科	17 (5)	0 (0)	— —	7 (2)	4 (1)	3 (1)	10 (3)	7 (2)
教育学研究科	4 (2)	0 (0)	— —	4 (2)	2 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
法学研究科	3 (0)	0 (0)	— —	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
経済学研究科	12 (5)	0 (0)	— —	6 (2)	1 (0)	5 (2)	6 (3)	2 (1)
理学研究科	70 (10)	0 (0)	— —	43 (5)	5 (0)	38 (5)	27 (5)	13 (2)
医学系研究科	13 (4)	0 (0)	— —	9 (3)	5 (1)	4 (2)	4 (1)	1 (1)
薬学研究科	15 (4)	0 (0)	— —	13 (2)	1 (0)	12 (2)	2 (2)	1 (0)
工学研究科	147 (10)	0 (0)	— —	104 (4)	19 (0)	85 (4)	43 (6)	10 (0)
農学研究科	27 (8)	0 (0)	— —	21 (8)	5 (1)	16 (7)	6 (0)	5 (1)
国際文化研究科	10 (5)	0 (0)	— —	5 (3)	1 (0)	4 (3)	5 (2)	3 (1)
情報科学研究科	28 (2)	0 (0)	— —	17 (1)	3 (0)	14 (1)	11 (1)	7 (1)
生命科学研究科	23 (2)	0 (0)	— —	16 (2)	2 (0)	14 (2)	7 (0)	5 (1)
環境科学研究科	16 (3)	0 (0)	— —	12 (2)	3 (1)	9 (1)	4 (1)	1 (0)
医工学研究科	10 (1)	0 (0)	— —	9 (0)	1 (0)	8 (0)	1 (1)	0 (0)
教育情報学教育部	3 (2)	0 (0)	— —	2 (1)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
計	398 (63)	0 (0)	0 (0)	269 (37)	55 (7)	214 (30)	129 (26)	56 (11)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：修士課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
医学系研究科	34 (22)	6 (6)	— —	23 (13)	8 (5)	15 (8)	5 (3)
歯学研究科	6 (5)	2 (2)	— —	3 (2)	1 (1)	2 (1)	1 (1)
計	40 (27)	8 (8)	0 (0)	26 (15)	9 (6)	17 (9)	6 (4)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：博士課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	修了者のうち ポストドクター となった者
					県内	県外		
医学系研究科	126 (24)	0 (0)	— —	104 (21)	65 (17)	39 (4)	22 (3)	8 (1)
歯学研究科	30 (7)	1 (0)	— —	27 (7)	18 (6)	9 (1)	2 (0)	1 (0)
薬学研究科	5 (1)	0 (0)	— —	4 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (1)	0 (0)
計	161 (32)	1 (0)	0 (0)	135 (28)	84 (23)	51 (5)	25 (4)	9 (1)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

研究科：専門職学位課程

区 分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
法学研究科	18 (3)	0 (0)	— —	18 (3)	2 (1)	16 (2)	0 (0)
法学研究科(法科大学院)	19 (3)	0 (0)	— —	3 (0)	0 (0)	3 (0)	16 (3)
経済学研究科	63 (31)	0 (0)	— —	45 (23)	1 (0)	44 (23)	18 (8)
計	100 (37)	0 (0)	0 (0)	66 (26)	3 (1)	63 (25)	34 (11)

()は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、試験準備、未就職者等

産業別就職者数

(平成30年5月1日現在)

学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
建設業	1	0	2	5	2	0	0	0	5	0	15
製造業	20	4	15	33	4	2	0	14	34	4	130
電気・ガス・熱供給・水道業	4	3	3	5	0	0	0	0	1	0	16
情報通信業	21	8	10	36	17	0	0	0	8	2	102
運輸業、郵便業	2	2	1	8	0	0	0	0	5	0	18
卸売業、小売業	5	4	4	5	0	1	0	0	3	3	25
金融業、保険業	17	8	17	55	3	2	0	0	3	5	110
不動産業、物品賃貸業	5	0	1	7	1	0	0	0	3	0	17
学術研究、専門・技術サービス業	4	0	4	5	2	0	0	0	8	3	26
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	5
生活関連サービス業、娯楽業	3	2	1	2	0	0	0	0	1	1	10
教育、学習支援業	15	5	3	5	7	0	0	0	2	3	40
医療、福祉	2	0	0	0	0	93	0	6	0	1	102
複合サービス事業	2	0	2	3	1	0	0	0	0	1	9
サービス業(他に分類されないもの)	6	4	1	9	1	0	0	0	0	1	22
公務(国家公務)	15	3	32	20	1	0	0	0	5	3	79
公務(地方公務)	31	16	33	31	3	0	0	1	6	4	125
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	153	59	129	233	43	98	0	21	86	31	853

大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	8
建設業	0	0	0	0	5	0	0	0	43	2	0	2	2	4	0	0	58
製造業	4	0	2	4	103	5	0	58	466	63	2	54	44	57	28	1	891
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	2	5	0	0	0	33	0	0	3	0	4	1	0	48
情報通信業	5	1	2	9	38	0	0	1	42	5	1	46	5	6	2	4	167
運輸業、郵便業	1	0	1	3	5	2	0	0	25	1	1	2	0	2	2	0	45
卸売業、小売業	1	1	1	6	1	0	0	0	6	5	2	1	0	0	0	2	26
金融業、保険業	1	0	4	8	9	2	0	1	6	3	1	1	1	0	0	0	37
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	10
学術研究、専門・技術サービス業	1	3	2	24	29	6	1	5	49	13	4	2	14	7	4	0	164
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	5
教育、学習支援業	16	12	2	4	14	12	3	1	32	8	3	8	6	4	0	2	127
医療、福祉	0	4	0	0	0	136	26	4	1	3	1	0	0	0	1	0	176
複合サービス事業	1	0	0	3	1	0	0	0	4	3	0	3	4	0	0	0	19
サービス業(他に分類されないもの)	1	1	1	2	4	0	0	0	1	0	0	2	3	2	0	0	17
公務(国家公務)	1	3	4	1	4	1	0	0	8	7	0	0	1	0	0	0	30
公務(地方公務)	0	2	4	1	1	7	0	0	6	11	0	4	2	0	0	0	38
その他	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	7
計	32	27	24	77	224	171	30	70	729	126	17	132	85	87	38	10	1,879

学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。

学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	小田中直樹	経済学研究科	教授
文化部	早川 美徳	教育情報基盤センター	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
報道部	尾崎 彰宏	文学研究科	教授

文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	小原 隆博	理学研究科	教授
2 混声合唱部	八鍬 友広	教育学研究科	教授
3 交響楽部	福島 洋	災害科学国際研究所	准教授
4 文芸部			
5 美術部	杉本 欣久	文学研究科	准教授
6 映画部	関口 仁子	理学研究科	准教授
7 演劇部	荻原 理	文学研究科	准教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	成田 史生	工学研究科	教授
10 能楽部	片岡 龍	文学研究科	准教授
11 邦楽部	長谷川 晃	工学研究科	教授
12 放送研究部	桐島 陽	多元物質研究所	准教授
13 アマチュア無線部	菅沼 拓夫	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	木村 敏明	文学研究科	教授
16 囲碁部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
17 奇術部	金子 俊郎	工学研究科	教授
18 軽音楽部	亀田 卓	電気通信研究所	准教授
19 マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教授
20 化学部	飛田 博実	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	浜田 宏	文学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	高瀬 圭	医学系研究科	教授
24 書道部	猪股 宏	工学研究科	教授
25 生活部	井上 千弘	環境科学研究科	教授
26 アカペラコーラス部	末松 和子	高度教養教育・学生支援機構	教授



吹奏楽部

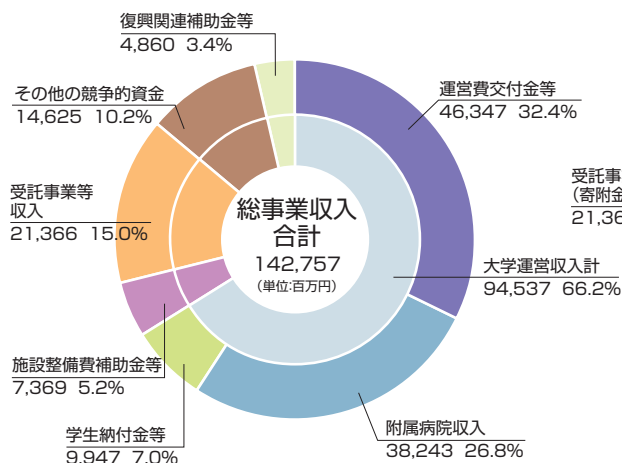
体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	長谷川史彦	未来科学技術共同研究センター	教授
3 準硬式野球部	西村 太志	理学研究科	教授
4 硬式庭球部	宮澤 陽夫	未来科学技術共同研究センター	教授
5 軟式庭球部	須藤 祐司	工学研究科	准教授
6 ラグビー部	埜上 洋	多元物質科学研究所	教授
7 男子バレーボール部 女子バレーボール部	山口 健	工学研究科	准教授
8 蹴球部	亀井 尚	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部	須藤 彰三	理学研究科	教授
10 卓球部	篠田 弘造	多元物質科学研究所	准教授
11 山岳部	押谷 仁	医学系研究科	教授
12 水泳部	永富 良一	医工学研究科	教授
13 漕艇部	石井 誠一	医学系研究科	准教授
14 ヨット部	田中 真美	医工学研究科	教授
15 スケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
16 乗馬部	水田健太郎	歯学研究科	准教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	落合 芳博	農学研究科	教授
19 スキー部	風間 聡	工学研究科	教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	伊藤 高敏	流体科学研究所	教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	笹野 泰之	歯学研究科	教授
24 空手道部	古谷 豊	経済学研究科	准教授
25 自動車部	田中 秀治	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	植松 康	工学研究科	教授
27 ゴルフ部	西澤 松彦	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	工学研究科	教授
29 フェンシング部	朱 鴻民	工学研究科	教授
30 応援団	八重樫伸生	病院	教授
31 サイクリング部	高橋 信	工学研究科	教授
32 ボディビル部	宮腰 英一	教育学研究科	教授
33 少林寺拳法部	米山 裕	農学研究科	准教授
34 体操部	綿村 哲	理学研究科	准教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	福山 博之	多元物質科学研究所	教授
38 アーチェリー部	中山 亨	工学研究科	教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 男子ラクロス部 女子ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
41 レーシングカート部	中村 智樹	理学研究科	教授
42 新極真カラテ部	石井 圭一	農学研究科	准教授
43 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
44 ソフトボール部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
45 中国武術部	佐竹 保子	文学研究科	教授
46 防具空手道部	高橋 英志	環境科学研究科	准教授
47 人力飛行部	中村 寿	流体科学研究所	准教授
48 フットサル部	堀井 明	医学系研究科	教授

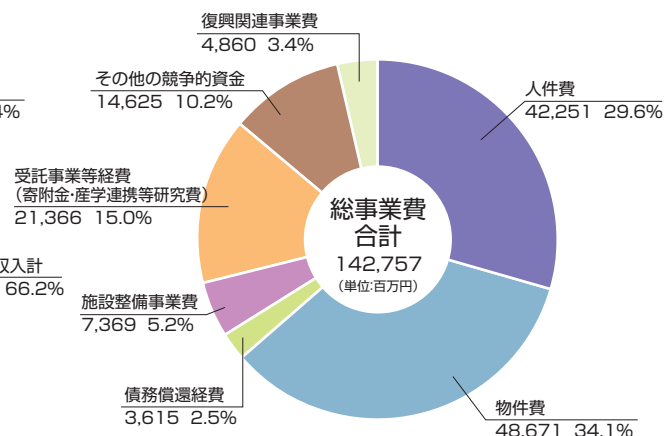
他 準加盟・登録 109 団体

■ 平成29年度収入・支出予算

収入予算総額



支出予算総額



■ 研究費等受入状況

(平成29年度)

科学研究費助成事業交付実績

研究種目	採択件数 (件)	交付額 (千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	6	423,200	126,960	550,160
新学術領域研究	146	1,212,450	363,735	1,576,185
基盤研究 (S・A・B・C) ※	1,321	4,383,460	1,306,881	5,690,341
挑戦的萌芽研究 ※	234	241,900	72,570	314,470
挑戦的研究 (開拓)	6	35,700	10,710	46,410
挑戦的研究 (萌芽)	100	240,100	72,030	312,130
若手研究 (A・B) ※	513	959,470	287,760	1,247,230
研究活動スタート支援	61	66,200	19,620	85,820
奨励研究	16	7,530	0	7,530
研究成果公開促進費 (学術図書・データベース)	4	7,000	0	7,000
特別研究員奨励費	306	271,141	12,300	283,441
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	22	219,600	65,880	285,480
計	2,735	8,067,751	2,338,446	10,406,197

※基金、一部基金分を含む

寄附金・受託研究等契約実績

区分	件数 (件)	受入金額 (千円)
寄附金	3,041	3,424,989
民間等との共同研究	1,195	4,211,313
一般	381	7,947,332
受託研究等経費	359	6,921,815
受託研究	740	14,869,147
競争的資金	740	14,869,147
小計	1,935	19,080,460
学術指導	280	159,606
計	5,256	22,665,055

研究費等受入状況

その他補助金交付実績

経 費	採択件数 (件)	交付額 (千円)		
		直接経費	間接経費	計
科学技術人材育成費補助金	6	209,651	0	209,651
厚生労働科学研究費補助金	10	130,684	38,202	168,886
研究拠点形成費等補助金	4	747,739	3,000	750,739
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	1	34,300	200	34,500
環境研究総合推進費補助金	3	37,822	9,825	47,647
大学改革推進等補助金	1	6,132	0	6,132
海洋生態系研究開発拠点機能形成事業費補助金	1	214,649	0	214,649
国際化拠点整備事業費補助金	2	36,479	0	36,479
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	1	277,020	30,780	307,800
加速器科学総合支援事業	1	500	0	500
情報知能システム研究センター支援補助金	1	26,381	0	26,381
原子力人材育成等推進事業費補助金	3	45,472	0	45,472
中小企業経営支援等対策費補助金	20	128,747	17,884	146,632
医療施設運営費等補助金	4	21,160	0	21,160
実践的な手術手技向上研修事業	2	142,022	0	142,022
研究大学強化促進費補助金	1	383,000		383,000
新人看護職員研究事業補助金	1	1,820	0	1,820
地域医療再生事業補助金	1	400	0	400
地域医療復興事業補助金	2	500,292	0	500,292
国立大学改革強化推進事業	3	395,450	0	395,450
地域医療介護総合確保基金	14	200,335	0	200,335
医療研究開発推進事業費補助金	12	3,131,918	49,540	3,181,458
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金	3	56,109	0	56,109
我が国周辺水産資源調査・評価推進事業	1	874	0	874
事業所内保育施設助成金	1	3,569	0	3,569
移植対策(造血幹細胞)事業費補助金	1	22,875	0	22,875
病院内保育所運営事業補助金	1	2,319	0	2,319
大学教育再生戦略推進費	2	22,733	3,409	26,142
地域ひとづくり総合推進費	1	14,600	0	14,600
山梨県若手研究者奨励事業費補助金	1	1,000	0	1,000
地域復興実用化開発等促進事業費補助金	1	34,962	359	35,321
企業主導型保育事業助成金	1	185,591	0	185,591
宮城県受入困難事案受入医療機関支援事業補助金	1	1,075	0	1,075
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	1	690	0	690
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	1	14,303	0	14,303
国立大学法人機能強化促進補助金	1	263,108	0	263,108
救急医療対策事業	2	9,991	0	9,991
埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金	1	3,700	0	3,700
臨床研修活性化推進特別事業	1	1,976	0	1,976
計	115	7,311,447	153,200	7,464,648

(平成30年5月1日現在)

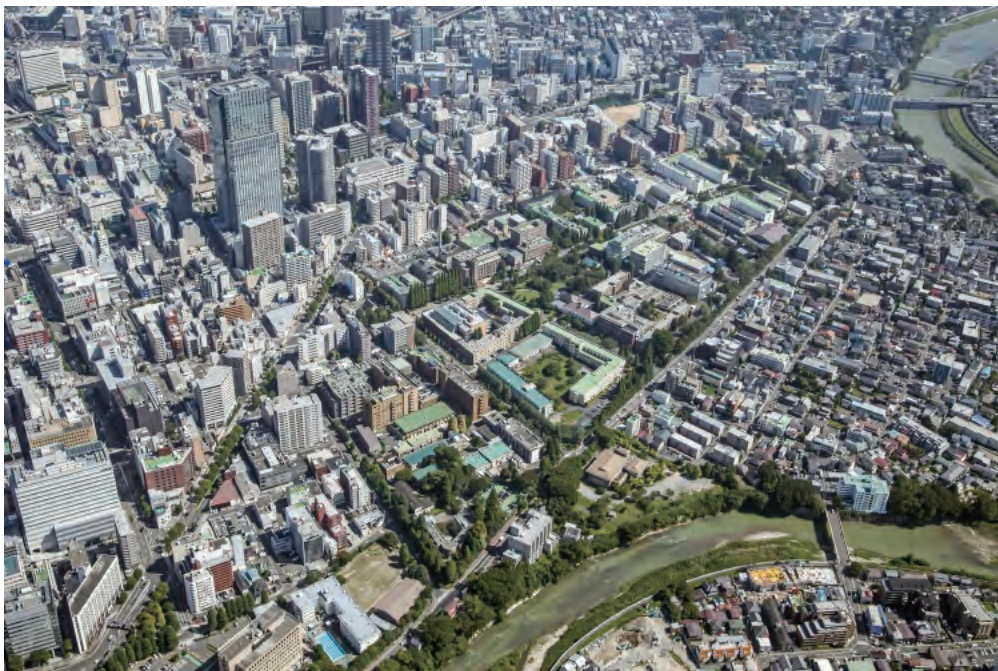
(単位：㎡)

地区名／面積			土 地			建 物		
			所 有	借 入	計	所 有	借 入	計
宮城県	仙 台 市	片 平 地 区	229,582	31	229,613	200,105	—	200,105
		米ヶ袋地区	3,231	—	3,231	512	—	512
		川内・青葉山地区	2,561,166	15,901	2,577,067	541,728	—	541,728
		星 陵 地 区	179,155	59	179,214	334,449	—	334,449
		雨 宮 地 区	92,746	—	92,746	30,847	—	30,847
		三 条 地 区	52,911	—	52,911	26,145	—	26,145
		富 沢 地 区	113,877	—	113,877	9,078	—	9,078
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781
		東仙台地区	3,705	—	3,705	2,026	—	2,026
		郷 六 地 区	—	399	399	26	—	26
		南吉成地区	—	3,287	3,287	2,509	—	2,509
		秋 保 地 区	—	4	4	—	20	20
		芋 沢 地 区	—	30	30	—	—	—
		柏 木 地 区	4,402	—	4,402	—	—	—
		八 幡 地 区	1,327	—	1,327	926	—	926
		茂 庭 地 区	—	1,825	1,825	—	—	—
		仙台市内各所 (地震観測点)	—	—	—	—	5	5
		学 生 寄 宿 舎	28,308	—	28,308	23,313	—	23,313
		職 員 宿 舎	80,439	—	80,439	42,708	—	42,708
		小 計	3,369,517	21,536	3,391,053	1,215,153	25	1,215,178
	仙 台 市 外	蔵 王 地 区	—	30,405	30,405	399	9	408
		七ヶ浜地区	—	528	528	383	3	386
		女川・牡鹿地区	25,312	43,341	68,653	2,864	—	2,864
		鹿島台地区	10,077	—	10,077	270	1	271
		鳴子・川渡地区	18,541,862	3,613	18,545,475	20,227	5	20,232
		岩 沼 地 区	—	812	812	—	533	533
		釜 房 地 区	—	3,557	3,557	691	763	1,454
		気仙沼地区	—	112	112	—	337	337
		米 山 地 区	—	2,000	2,000	101	—	101
		若 柳 地 区	—	100	100	12	—	12
		その他の地区	—	459	459	—	4,135	4,135
		職 員 宿 舎	3,562	—	3,562	59	—	59
		小 計	18,580,813	84,927	18,665,740	25,006	5,786	30,792
	計		21,950,330	106,463	22,056,793	1,240,159	5,811	1,245,970

(平成30年5月1日現在)

(単位：㎡)

地区名／面積		土 地			建 物		
		所 有	借 入	計	所 有	借 入	計
宮城県外	青 森 県	28,506	77,035	105,541	2,687	491	3,178
	秋 田 県	1,049	6,921	7,970	627	—	627
	山 形 県	—	1,471	1,471	298	17	315
	岩 手 県	10,014	16,071	26,085	873	18	891
	福 島 県	990	26,052	27,042	154	122	276
	新 潟 県	—	303	303	6	4	10
	東 京 都	—	—	—	—	5,266	5,266
	埼 玉 県	660	1	661	739	—	739
	茨 城 県	4,541	12,161	16,702	5,787	1	5,788
	栃 木 県	—	695	695	70	—	70
	岐 阜 県	—	716	716	424	—	424
	兵 庫 県	—	—	—	—	195	195
	大 阪 府	—	—	—	—	30	30
	鹿児島県	—	4	4	—	—	—
	計	45,760	141,430	187,190	11,665	6,144	17,809
合計		21,996,090	247,893	22,243,983	1,251,824	11,955	1,263,779



片平キャンパス 上空から

災害復興新生研究機構

東北大学災害復興新生研究機構は、東日本大震災からの復興に寄与する研究・教育・社会貢献等に全学を挙げて取り組み、その成果を社会に発信・実践するため、震災直後の平成23年4月に設置された組織です。東北大学は、被災地域の中心にある総合大学として、復興に全力を傾けていく歴史的使命があります。行政・地域との連携を図りながら、東北復興・日本新生の先導を目指して、8つのプロジェクトと復興アクション100⁺を展開しています。

災害復興新生研究機構 8つのプロジェクト

プロジェクト	内 容
災害科学国際研究推進プロジェクト	世界的災害科学研究の拠点である災害科学国際研究所 (IRiDeS) は、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、災害に強い社会を構築するための調査研究と社会貢献活動を展開しています。従来の災害研究を発展させた、巨大地震・津波の発生メカニズムの解明のほか、災害後の生活再建や災害教訓の語り継ぎなど、文系・理系の垣根を越えた「実践的防災学」研究に取り組んでいます。
地域医療再構築プロジェクト	総合地域医療研修センターは、東日本大震災で被災した医療従事者を受け入れ、先端医療に携わる機会を提供することにより、地域医療を担う人材の育成と生涯教育に貢献しています。また、東北メディカル・メガバンク機構では、被災地住民の長期健康調査を行うとともに、同意のもとで収集された医療情報をデータベース化し、ゲノム医療や創薬研究に向けた基盤形成を目指しています。
環境エネルギープロジェクト	東日本大震災の被災地の復興と我が国のエネルギー問題克服のため、東北大学が中心となり、参画する大学と被災自治体の協力を得て、地域の風土・特性に合った次世代エネルギー、エネルギー管理システムの構築を目指しています。
情報通信再構築プロジェクト	東日本大震災では、通信回線の途絶、情報収集不能、発信情報の不足など情報通信 (ICT) の課題が明らかになりました。電気通信研究機構は、独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) と連携し、災害に強い情報通信ネットワークの開発・実証拠点を形成します。
東北マリンサイエンスプロジェクト	地震・津波が東北沿岸域の海洋環境・海洋生態系に与えた影響と回復過程を科学的に明らかにし、東北の海の復興に貢献することを目指しています。東北大学、東京大学大気海洋研究所、独立行政法人海洋研究開発機構が中心となり、全国の研究者の参画と、漁業関係者等の協力を得て調査研究に取り組んでいます。
事故炉廃止措置・環境修復プロジェクト	「原子炉廃止措置基盤研究センター (CFReND)」は、福島第一原子力発電所の安全かつ着実な廃炉に資する基礎研究や基盤技術開発、原子炉廃止措置を担う若い技術者や研究者の育成に取り組んでおり、東日本大震災からの復興はもちろん、原子力分野における我が国の国際競争力の強化にも寄与することを目指しています。また、「放射能災害再生工学研究センター」による被災地域の生活環境や住民の健康、農林水産物等を対象とした調査や、被災動物の被ばくによる影響の調査等を行うことにより、放射性物質による汚染からの復旧技術や放射線防護の研究などにも取り組んでいます。
地域産業復興支援プロジェクト	「地域イノベーション研究センター」は、地域産業・社会における課題の抽出と解決策の立案を行うための調査研究や、多くのイノベーションを誘発する革新的なプロデューサーの育成を行うための塾・講座の実施を通して、地域の復興に貢献しています。また、「東北復興農学センター」は、被災地の農業・農村の復興を先導する人材育成や、今後懸念される大規模自然災害等の諸課題について、学際的視点からの教育・研究に取り組んでいます。
復興産学連携推進プロジェクト	被災地の経済復興の基本となる産業基盤の革新・強化のためには、産・学・官の連携が欠かせません。宮城県の産業界や自治体との連携をより強くし、文部科学省、経済産業省等の復興施策を十分に活用しながら、大学がもつ技術シーズを被災地企業において活用・実用化することにより、復興に貢献します。

復興アクション100⁺

復興アクション100⁺は、東北大学教職員が自発的に取り組む100以上の復興支援プロジェクトです。災害復興新生研究機構では、それらのプロジェクトの情報集約・活動支援を行っています。

災害復興新生研究機構は、パンフレットの発行やウェブサイト、シンポジウムの開催を通して、復興に向けた東北大学の取り組み状況とその成果を学内外に発信しています。



パンフレット



災害復興新生研究機構ウェブサイト



平成30年2月 災害復興新生研究機構シンポジウムの開催

革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)

事業実施期間：平成25年度～平成33年度

研究開発テーマ	拠点名称	拠点概要
センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム	さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が導くモチベーション向上社会創生拠点	超小型高性能で安全な、飲み込み型、絆創膏型、非接触型等のセンサを開発し、日常生活の中から行動や心身の情報をさりげなく収集することによって、常に自分や家族の生活様や健康状態がわかり、周囲が見守り支援することにより「強い絆」を構築することを通じて、不安のない安寧な、生きがいにあふれた社会を創ります。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 日常生活から常に体調や環境などのデータをさりげなく収集する先進的なセンサ技術 (自律駆動型超低電力・MEMS)
- 個人の膨大な健康情報を一元管理して個人の健康に活用したり、セキュリティ下で二次利用することを通じ健康に限らず、広く社会の利便性向上や種々の課題解決に役立つ新産業創出を加速化する技術 (プライベートクラウド PHR)
- 個人のゲノム情報による体質やセンサによって得られたデータから健康的なライフスタイルを「見える化」して提案したり、離れた家族を間近で見守る高度な手法 (週刊健康予報)

研究大学強化促進事業

事業実施期間：平成25年度～平成34年度

プログラム名	プログラム概要
研究大学強化促進事業	近年、我が国の論文数等の国際的シェアは相対的に低下傾向にあり大学等における研究体制・研究環境の全学的・継続的な改善や、研究マネジメント改革などによる国際競争力の向上が課題となっています。このような状況を踏まえ、世界水準の優れた研究活動を行う大学群を増強し、我が国全体の研究力の強化を図るために文部科学省が行う、大学等による研究マネジメント人材群の確保や集中的な研究環境改革等の研究力強化の取組を支援する平成25年度から平成34年度までの事業です。

○実現の鍵となる研究開発テーマ

- 研究推進・支援機構に設置されているリサーチ・アドミニストレーションセンターを充実し、世界の研究・社会動向と本学の研究力を解析することで、研究戦略を“見える化”によって立案支援するとともに、ベンチマーク大学や研究機関・研究者を選定し、それらの大学等からの訪問・滞在研究者を増加させる。
- 人類社会の共通課題解決に貢献し、東北大学発の先駆的研究領域を開発するため、訪問滞在型研究センター「東北大学知のフォーラム」を設置する。

名 称	フォーラム概要
東北大学知のフォーラム	知のフォーラムは国際的に開かれた訪問滞在型研究プログラムとして平成25年より開始。人類共通の課題や世界動向を踏まえた多様な分野の中から戦略研究テーマを設定し、そのテーマを牽引するノーベル賞級の研究者を招いて1～3カ月間じっくり研究を進め、新たな知見や融合領域の研究を創出するものです。また、滞在研究者と学生を含む若手研究者との交流の機会を広く設けることにより、研究の進展を図り、国際的人材育成にも貢献します。

- 「海外リサーチ・ステーション」を置き、将来のグローバル・リーダーとなる若手研究者を中長期海外の研究機関に滞在させ、そこで生まれたアイデアを熟成するための国際共同研究・国際共同プロジェクトを格段に増加させる。
- 訪問滞在研究者が円滑に定着するための支援を行う「リサーチ・レセプションセンター」や「国際対応事務部門」などの受入れ体制を整備し、リサーチ・レセプションセンター機能を有する高等研究機構等事務部国際推進係等を核に東北大学の事務国際化を加速する。

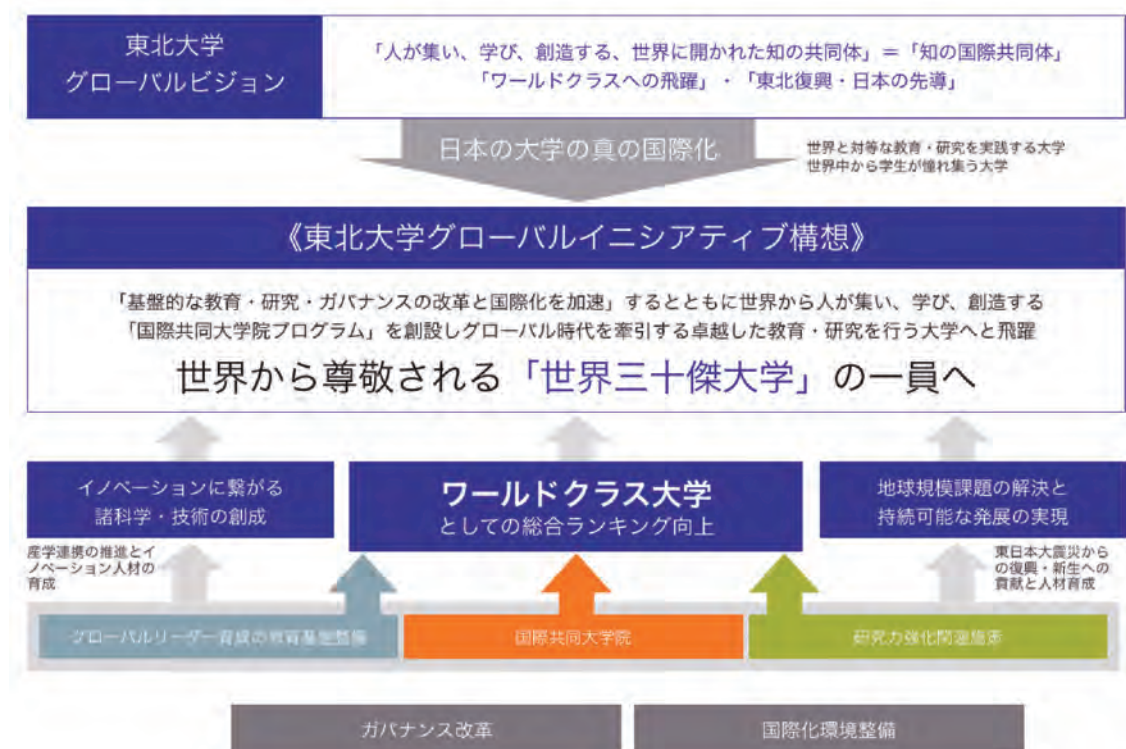
■ スーパーグローバル大学創成支援

東北大学は、グローバル30や経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援をはじめとする教育の国際化と、知のフォーラムや AIMR をはじめとする研究の国際化に関する先進的な取組を推進してきた実績をさらに加速するため、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(トップ型)」に申請し採択されました。この事業は、我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により“徹底した国際化”を進める大学に対し重点支援が行われ、トップ型には本学を含む13大学が採択されています。

本学が掲げる「東北大学グローバルイニシアティブ構想」は、グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界がその実力や実績を認め、敬意を持って評される大学となることを目指すためのものです。本構想実現のために、総長のリーダーシップによる機動的体制整備の一環として「機構化」による運営を取り入れ、機能結集型ガバナンスの実行を伴いながら主に以下の取組を行います。

グローバルイニシアティブ構想の 主な取組	事業概要
国際共同大学院プログラム	東北大学の強みや潜在性の分析をもとに、本学が力を発揮し世界を牽引できる分野、今後の発展が期待できる分野、人類が直面している課題・地球規模の問題に挑戦する分野において海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実施する7つの「国際共同大学院プログラム」群を創出するものです。平成29年度には、宇宙創成物理学国際共同大学院 (Graduate Program on Physics for the Universe: GP-PU)、データ科学国際共同大学院 (Graduate Program in Data Science: GP-DS)が開始され、カリフォルニア大学バークレー校、ケースウェスタンリザーブ大学等と連携し、教育力の向上と研究力強化の更なる向上を目指すとともに世界的な視野でアカデミアならびに産業界を牽引する人材を育成します。
グローバルリーダー育成の教育基盤整備 (FGL プログラム、TGL プログラム、国際共同教育)	「国際化拠点整備事業(グローバル30)」より推進してきた“Future Global Leadership (FGL) Program”をさらに発展させ、全ての研究科が英語で学位取得できる国際コースへ参画することを目指します。 「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(全学推進型)」により進めてきた「東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGL プログラム)」を継続・発展させ、グローバルリーダーとしての素養を身に付けた学部学生の育成を推進します。 海外の大学との組織的・継続的な教育連携を構築するため、国際共同大学院プログラム以外にも、複数の研究科で行っているダブルディグリープログラム等を積極的に推進します。

Ⅰ 東北大学スーパーグローバル大学構想



教育

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成24年度～平成30年度	工学研究科、理学研究科、文学研究科、災害科学国際研究所等 12部局	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム	東日本大震災に代表されるグローバルデザスターから人命・社会・産業を守ることに貢献できるグローバル安全学リーダーをアカデミアのみならず、世界的企業や国際機関などの多様な分野に輩出することを目指します。
平成25年度～平成31年度	工学研究科、理学研究科等 11部局	マルチディメンション物質理工学リーダー養成プログラム	多角的な視点や手法で物質・材料を理解し、新しい物質デザイン思想を現実化するだけの広く確かな基礎知識と幅の広い研究経験を有する物質リーダーとして、主に産業界で即戦力として活躍できる人材育成を目指します。

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」を養成することで、我が国におけるがん医療の一層の推進を目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成29年度～平成33年度	医学系研究科	東北次世代がんプロ養成プラン	わが国のがん医療の課題解決のため、最新のがん医療に必要な学識・技能や国際レベルの臨床研究を推進する能力を育み、大学、行政、職能団体、がん拠点病院や診療所、患者会や学会が連携しがんゲノム医療・個別化医療、希少がん・難治がん、小児から高齢者のライフステージ毎の多様ながんの医療ニーズに応えるがん専門医療人を養成します。

成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)

情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材の育成機能を強化するため、産学協働の実践教育ネットワークを形成し、課題解決型学習(PBL)等の実践的な教育を推進し広く全国に普及させることを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成28年度～平成32年度	情報科学研究科	情報セキュリティ分野の実践的人材育成コースの開発・実施	成長分野であり国家的に喫緊の課題であるサイバーセキュリティ分野の人材として、先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力の育成を指向して、教育コースを開発し実施します。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。また、平成25年度より東北大学グローバルリーダー育成プログラムの一つとなり、このコースに参加し修了することでTGLポイントを取得できます。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成17年度～	高度教養教育・学生支援機構	プラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ライティングやディスカッション、プレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。

若手研究者の養成を推進するため、優れた学生を「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」として選抜し、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内 容
平成19年度～	学位プログラム推進機構 学際高等研究教育院	修士・博士研究教育院生制度	各研究科等との連携を通じて、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に通用する若手研究者の育成を目指します。

■ 寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成30年5月1日現在)

寄附講座

設置年度	部局名	名 称	設置期間
平成30年度(継続)	医学系研究科	視覚先端医療学	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成30年度(継続)	医学系研究科	網膜疾患制御学	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成30年度(継続)	農学系研究科	家畜生産機能開発学	平成30年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度	医学系研究科	地域総合診療医育成	平成29年10月1日～平成32年9月30日
平成29年度(継続)	医学系研究科	循環器先端医療開発学	平成29年10月1日～平成34年9月30日
平成29年度(継続)	医学系研究科	循環器 EBM 開発学	平成29年10月1日～平成34年9月30日
平成29年度(継続)	医学系研究科	予防精神医学	平成29年10月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	医学系研究科	先端感染症予防学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度	医学系研究科	スポーツ・運動機能再建医学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	環境科学研究科	環境物質政策学(DOWA ホールディングス)	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	文学系研究科	実践宗教学	平成29年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	神経電磁気生理学	平成29年2月1日～平成31年3月31日
平成28年度	生命科学系研究科	微生物進化機能開発	平成28年10月1日～平成34年3月31日
平成28年度(継続)	医学系研究科	大動脈疾患治療開発学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度(継続)	医学系研究科	多発性硬化症治療学	平成28年5月1日～平成31年4月30日
平成28年度	医学系研究科	漢方・統合医療学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	眼科画像情報解析学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	医学系研究科	先進呼吸管理学	平成28年4月1日～平成31年3月31日
平成27年度	医学系研究科	難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携	平成27年6月1日～平成30年5月31日
平成27年度	農学系研究科	微生物資源学	平成27年4月1日～平成32年3月31日

寄附研究部門

設置年度	部局名	名 称	設置期間
平成30年度(継続)	災害科学国際研究所	地震津波リスク評価(東京海上日動)	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成29年度(継続)	加齢医学研究所	認知機能発達(公文教育研究会)	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	東北アジア研究センター	上廣歴史資料学	平成29年4月1日～平成34年3月31日
平成29年度(継続)	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	高齢者高次脳医学	平成29年4月1日～平成31年3月31日
平成28年度	東北メディカル・メガバンク機構	災害交通医療情報学	平成28年5月1日～平成31年3月31日
平成26年度	東北メディカル・メガバンク機構	ゲノム医学普及啓発	平成26年10月1日～平成31年3月31日

■ 共同研究講座・共同研究部門

共同研究講座・共同研究部門は、企業などから資金の他に研究者などを受け入れて、大学教員と目的を共有し、研究成果の実用化などを見据えた共同研究を促進することを目的として、「共同研究講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「共同研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成30年5月1日現在)

共同研究講座

設置年度	部局名	名 称	設置期間
平成30年度(継続)	工学系研究科	先端電力工学	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成29年度	医学系研究科	眼科創薬	平成29年10月1日～平成32年9月30日
平成29年度	歯学系研究科	先端フリースラジカル制御学	平成29年7月1日～平成32年3月31日
平成29年度	医学系研究科	抗体創薬	平成29年4月1日～平成34年3月31日
平成29年度	歯学系研究科	次世代歯科材料工学	平成29年4月1日～平成32年3月31日
平成29年度(継続)	工学系研究科	先進鉄鋼材料組織制御(JFE スチール)	平成29年4月1日～平成31年3月31日

共同研究部門

設置年度	部局名	名 称	設置期間
平成30年度	多元物質科学研究科	非鉄金属製錬環境科学	平成30年4月1日～平成35年3月31日
平成30年度(継続)	病	造血器病理学	平成30年4月1日～平成32年3月31日
平成30年度(継続)	流体科学研究科	先端車輪基盤技術研究(ケーヒン)Ⅱ	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成30年度(継続)	工学系研究科	電力エネルギー未来技術	平成30年4月1日～平成33年3月31日
平成28年度	病	慢性腎臓病透析治療	平成28年10月1日～平成31年9月30日
平成27年度	電子光物理学研究センター	凝縮系核反応	平成27年4月1日～平成31年3月31日
平成26年度	サイバーサイエンスセンター	高性能計算技術開発(NEC)	平成26年7月1日～平成30年6月30日

産学連携

産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立つて産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

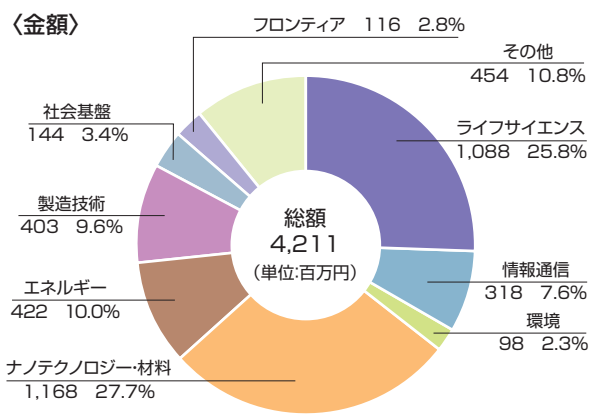
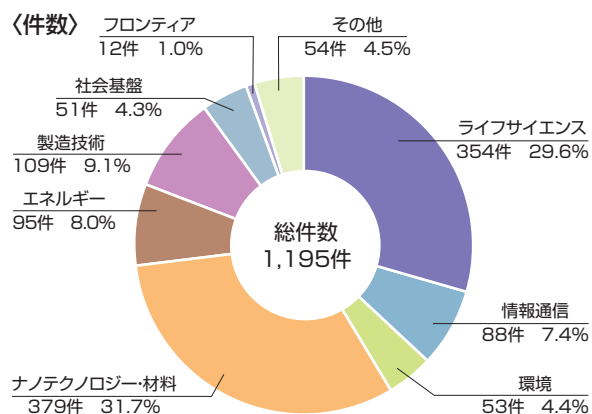
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成29年度	1,195	4,211
平成28年度	1,106	3,878
平成27年度	1,012	4,040
平成26年度	974	3,549
平成25年度	897	4,127
平成24年度	831	3,084
平成23年度	862	2,840
平成22年度	854	2,956
平成21年度	837	2,692
平成20年度	786	2,459
平成19年度	698	2,086
平成18年度	519	2,028
平成17年度	479	1,827
平成16年度	392	1,675
平成15年度	284	1,129

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成29年度	740	14,869
平成28年度	758	13,638
平成27年度	731	12,963
平成26年度	692	11,140
平成25年度	661	9,216
平成24年度	666	9,587
平成23年度	742	11,397
平成22年度	589	10,008
平成21年度	611	9,563
平成20年度	596	9,131
平成19年度	554	9,101
平成18年度	591	7,927
平成17年度	483	7,358
平成16年度	456	6,149
平成15年度	373	3,450

平成29年度 民間等との共同研究実施状況



官民イノベーションプログラム(国立大学に対する出資事業)

平成24年度に予算計上された本プログラムについては、大学の研究開発成果の事業化・実用化を推進するため、本学に対して政府出資金125億円、特別運営費交付金25億円が予算措置されています。

これを受けて、本学では「出資事業推進委員会」、「産学共同・事業化推進委員会」及び事業担当部署である「事業イノベーションセンター」を整備した上で、事業化の候補案件を「事業化推進事業型共同研究事業」として推進しています。

また、大学発ベンチャーに対して、資金供給等を行う事業(特定研究成果活用支援事業)を実施するベンチャーキャピタルとして、本学100%出資により東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社を平成27年2月に設立しました。

平成27年8月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合(ファンド)が組成され、本学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されています。

産学連携

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

(平成30年7月1日現在)

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年 1月19日	(株)日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所 (AIST)	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究および、「産総研・東北大 数理先端材料モデリングオープンイノベーションラボラトリ (MathAM-OIL)」の推進を目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	(株)河北新報社	共同研究・調査・イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	(株)七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス (株)	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年 2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年 6月 4日	住友金属鉱山 (株)	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成23年 7月26日	東京海上日動火災保険 (株)	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成23年11月10日	仙台市、筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成24年 1月19日	情報通信研究機構 (NICT)	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成25年 8月 1日	(株)東芝	「ヘルスケアビックデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年11月12日	物質・材料研究機構 (NIMS)	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。
平成26年 3月28日	日本原子力研究開発機構 (JAEA)	研究施設・設備、研究成果、人材等を活用し、連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図る。
平成26年 8月 1日	日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的医薬品の創出を目指して、新規創薬シーズ発掘のための連携・協力を推進する。
平成28年10月31日	医薬品医療機器総合機構 (PMDA)	双方が築き上げてきた資産、能力、人材等を相互に活用し合い、互恵の精神に基づき連携・協力することで我が国のレギュラトリーサイエンスの振興に資する。
平成28年11月 9日	量子科学技術研究開発機構 (QST)	PET (陽電子断層撮像法) を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成29年 2月14日	中小企業基盤整備機構	大学発ベンチャーの創出、地域イノベーションの推進等を行うことを目的とした産学連携強化を目指す。
平成29年 3月 1日	東北活性化研究センター	東北地域における産業の活性化と人材育成に貢献するため、あらゆる分野での連携・協力により地域の活力向上と人材育成を行うことで、持続的な発展に寄与する。
平成29年 3月28日	アルプス電気 (株)	先端技術新事業の創出を目指し、地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の育成を図り、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与する。
平成29年 4月20日	JFE スチール (株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年 6月29日	日本貿易振興機構 (JETRO)	グローバル人材育成、農林水産業・食品産業海外展開支援、大学シーズのグローバル社会実装化支援等の連携プログラムにおいて連携協力を行う。
平成29年10月 3日	新日鐵住金 (株)	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年11月 8日	(株)七十七銀行、(株)東京証券取引所	ベンチャー企業及び地域企業の成長支援並びに起業家人材育成の推進に関して、地域の経済活性化・発展に寄与する。
平成29年12月14日	石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)	双方の研究技術開発能力・人材・設備を補助的に活用することにより、資源・エネルギーに関する我が国の学術及び技術開発の発展に資する。
平成30年 6月26日	(株)フィリップス・ジャパン	健康・予防・医療への新たな価値を生むヘルスケアソリューションを創出する。

社会との連携協力

サイエンスカフェ

高校生など一般の方々と科学者が、飲み物を片手にテーブルを囲み、サイエンスについて気軽に話し合う場です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成29年度)
折茂 慎一 教授	材料科学高等研究所	「水素」をもっと身近に！未来のエネルギーを体感しよう	4月28日(金)
磯貝恵美子 教授	農学研究科	進撃の微生物～ヒトと病原体の戦い～	5月26日(金)
土屋 範芳 教授	環境科学研究科	地球の熱を使ってみよう～超臨界地熱資源から温泉水素発電まで～	6月30日(金)
荻島 創一 准教授	東北メディカル・メガバンク機構	あなたのデータで医療を変える	7月19日(水)
田中 秀治 教授	工学研究科	スマホのシェイクを感じる小さなセンサ、次は社会を大きく変える～ MEMS とIoTのお話～	8月25日(金)
秋山 正幸 教授	理学研究科	超巨大ブラックホールの謎	9月29日(金)
松浦 祐司 教授	医学研究科	見えない光で健康検査～くちびるで血糖値チェック～	10月20日(金)
魚住 信之 教授	工学研究科	植物はなぜ海水で育たないの？～植物の塩害とその分子メカニズム～	11月10日(金)
山口 雅彦 教授	薬学研究科	らせんと化学	12月13日(水)
藤井 智幸 教授	農学研究科	食べ物を美味しくする加工技術～故きをたずねて新しきを知る～	1月19日(金)
加藤 雄人 准教授	理学研究科	宇宙に響くさえずりとジオスペース	2月23日(金)
志田原美保 講師	医学系研究科	追跡！体内の薬のゆくえ～機能画像からはじまる未来医療～	3月16日(金)

産学官金連携フェア2018みやぎ

開催日	内容	開催地
平成30年1月18日	みやぎ産業振興機構主催の同フェアに特別共催機関として参画し、ロボット・AI、メディカルヘルスケア、IoT、マシン・マテリアル、エコロジカル・再生エネルギー、アグリ・バイオなどの各分野における研究の紹介とプレゼンテーションを実施した。	仙台国際センター

東北大学 MOOC

MOOC は、大規模公開オンライン講座 (massive open online course) の略称で、どなたでも無料のオンライン講義をオンデマンドで視聴でき、修了要件を満たした方には修了証が発行されます。

シリーズ名	講座名	講師	所属	オンライン講座開講期間 (平成29年度)	対面授業開講日 (平成29年度)
東北大学で学ぶ高度 教養シリーズ	memento mori —死を想え—	鈴木 岩弓 総長特命教授	教養教育院	10月3日～12月5日	11月18日(土):東京 11月23日(祝):仙台
東北大学 サイエンスシリーズ	解明:オーロラの謎	小原 隆博 教授	理学研究科	11月1日～12月19日	—
	東日本大震災の教訓を活 かした実践的防災学への アプローチ—災害科学の 役割	今村 文彦 教授 後藤 和久 准教授 佐藤 翔輔 准教授 安倍 祥 助手	災害科学国際研究所	1月25日～3月28日	—

リベラルアーツサロン

文系の幅広い分野から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、気軽に会話に興じるサロンの雰囲気です。

講師	所属	テーマ	開催日(平成29年度)
中川 学 准教授	高度教養教育・学生支援機構	江戸時代の死の文化～為政者の死をめぐる～	4月14日(金)
阿部 宏 教授	文学研究科	言葉を科学する	6月16日(金)
野口 和人 教授	教育学研究科	インクルーシブ社会の実現を目指して～発達障害の理解～	7月28日(金)
金 熊 准教授	経済学研究科	日本企業の国際経営と新興国市場戦略	11月17日(金)
小嶋 秀樹 教授	教育情報学研究所	ロボットや人工知能と私たちは本当に理解しあえるのか	12月8日(金)
坂巻 康司 准教授	国際文化研究科	フランス近代詩を読むーボードレールからの出発ー	3月2日(金)

公開講座

部局主催

講座の名称	実施部局
第52回東北大学教育指導者講座	教育学研究科
エネルギーデバイス工学	工学研究科
電気エネルギーシステム工学	工学研究科
先端スピニング工学特論	工学研究科
地球の未来を拓くグリーンナノテクノロジー	工学研究科
技術適応計画特論	工学研究科
河川沿岸の防災の現状と課題	工学研究科
福島事故以降の安全学に向けて	工学研究科
軽水炉安全セミナー	工学研究科
第24回公開講座「国際文化基礎講座」映像とイ メージのカレドスコープ	国際文化研究科
ものづくり基礎講座	金属材料研究所
金属材料研究所第87回定期講習会	金属材料研究所

みやぎ県民大学大学開放講座

講座の名称	実施部局
知っておきたいお口の病気	歯学研究科
私たちの食料と健康と環境	農学研究科
科学の目で見える環境とリサイクル	環境科学研究科
地球にやさしいエネルギーと環境・省エネルギー技 術～太陽電池・半導体・超伝導・植物の品種改良～	金属材料研究所
なかの科学	流体科学研究所
ミクロの世界を測る、見る、操る	多元物質科学研究所
こたのひろがりとは仕組みに迫る	高度教養教育・学生支援機構

「学都仙台コンソーシアム」サテライトキャンパス公開講座

講座の名称	実施部局
人間は機械である＝人工臓器の基礎と臨床	加齢医学研究所
ビールの泡から最先端ナノ材料の創造へ	多元物質科学研究所
中性子でミクロな世界を探索しよう	多元物質科学研究所
仙台的スポーツとボランティア	多元物質科学研究所
仙台的地名と災害	災害科学国際研究所
バイリンガルな子育てについて	高度教養教育・学生支援機構
源氏物語のエッセンス～女の宿世～	高度教養教育・学生支援機構
源氏物語のエッセンス～仏の方便～	高度教養教育・学生支援機構
最新天文学による現在の宇宙の姿	学際科学フロンティア研究所
最新天文学による宇宙の誕生と進化	学際科学フロンティア研究所

高校生のための公開授業

講座の名称	実施部局
電気情報物理学特別講義	工学部
科学の目で見える環境とリサイクル	環境科学研究科
進化の過程に基づく生体機能のイメージ構成	全学教育
秋冬野菜を盆栽として育ててみよう	全学教育
言語としての手話入門	全学教育

高校生のための公開講座

講座の名称	実施部局【講師派遣先高校】
幽霊の誕生	文学部
植物科学の最前線～自然エネルギーへの応用～	理学部
月面探査ロボット開発における移動機構の考案と具体化の実例	工学部
政宗とサケ	文学部
世界を変える授業を体験してみよう	教育学部
日本の立憲主義について	法学部
日本と世界経済	経済学部

講座の名称	実施部局【講師派遣先高校】
文学の世界	文学部
教育学の世界	教育学部
物理学(素粒子)の世界	理学部
生物学の世界	理学部(生命科学研究科)
看護学の世界	医学部
工学の世界	工学部
農学の世界	農学部
国際交流の世界	高度教養教育・学生支援機構
大学で学ぶこと～心理学入門	文学部
社会を変える NPO の役割とは	経済学部
がんと緩和ケア	医学部
光通信と光集積回路	工学部
生ゴミからエネルギーをつくる	農学部
文化の翻訳	文学部
日本と世界経済	経済学部
進化する航空機	工学部
日本の住まいとまちの地域性	工学部
生体物質で燃料電池が作れるか?	理学部
持続的な未来のための化学を活かした研究	工学部
感染症とワクチン	医学部
工学部の化学とは?～化学の知識を工業に展開する～	工学部
道路交通マネジメント入門	工学部
ロボティクスとシステム工学	情報科学研究科
歴史の中の経済社会	経済学部
視てみよう、測ってみよう!化学装置の中の現象を 自然から学ぶ生命のいとなみと私たちの環境	工学部
文学部における学問領域	農学部
法学部における実学と「虚学」、あるいは「役に立つ ことと「役に立たない」ことの意味	文学部
粉砕決算の経済学	法学部
「サブ」ナノサイエンスの世界～分子とクラスターの科学～	経済学部
カーボンナノチューブとグラフェンの世界によろこ	理学部
脳科学から見た学びのメカニズム	医学部
薬学部で何を学ぶのか、何を研究するのか?	薬学部
物質の流れを考え持続可能な地域環境をデザインする	工学部
コンピュータの過去・現在・未来	工学部
量子アニーリングが加速する最適化問題と機械学習	工学部
農地のリモートセンシングによる観測	農学部
(日本語)文法について考える	文学部
世界を変える授業を体験してみよう!	教育学部
民事裁判 ABC (拡大版)	法学部
政治学とはどのような学問か	法学部
大学で学ぶ経済学	経済学部
ネットワーク理論とその応用	経済学部
重複遺伝子の進化	理学部
完備性と方程式の解について	理学部
知っておきたい医学研究と医療の関係	医学部
細胞はどのようにしてストレスに適応するか	薬学部
化学を使ってナノの世界で組み上げる新しい材料開発	工学部
宇宙船の空気力学	工学部
～知る人ぞ知る宮城の世界最大風洞設備	工学部
溶液中の物理と化学で作るナノ構造体	工学部
工学部という選択「超音波が支える構造部材の健全性」	工学部
超音波を使ったがん治療システムの開発	工学部
地球の大気と植物の運命:植物最大のミステークを 科学する	農学部
社会的ジレンマで考える環境問題	農学部
微生物の世界	農学部

学術交流協定締結等

大学間協定

36ヶ国・地域 227機関

<アジア>

中国

- * 東北大学 (1983.8.5)
- * 中国科学技術大学 (1998.6.15)
- * 清華大学 (1998.8.31)
- * 南京大学 (1999.9.1)
- * 北京大学 (1999.11.10)
- * 吉林大学 (2001.3.1)
- * 浙江大學 (2001.4.9)
- * 復旦大学 (2001.4.19)
- * 武漢理工大學 (2001.4.30)
- * 重慶大学 (2001.7.4)
- * 同濟大学 (2002.8.13)
- * 中国海洋大学 (2002.10.21)
- * 北京科技大学 (2002.10.25)
- * 南京航空航天大学 (2003.3.10)
- * 厦門大学 (2005.6.29)
- * 華中科技大学 (2005.10.12)
- * 西安交通大学 (2006.8.31)
- * 華東師範大学 (2006.9.20)
- * 北京航空航天大学 (2006.12.16)
- * 蘭州大学 (2007.4.17)
- * 天津大学 (2007.6.8)
- * 大連理工大学 (2007.6.16)
- * 揚州大学 (2008.6.20)
- 中国社会科学院 (2008.10.15)
- * 東南大学 (2009.6.29)
- * 上海交通大學 (2009.10.15)
- * 北京工業大学 (2010.10.16)
- * 北京郵電大学 (2010.10.17)
- * 香港科技大学 (2011.2.1)
- * 上海海洋大学 (2011.12.5)
- * 中国地質大学 (武漢) (2012.2.6)
- * 香港城市大学 (2012.3.17)
- * 東北財経大学 (2013.3.19)
- * 上海大学 (2014.5.7)
- * 西南大学 (2018.1.3)

インド

- * インド工科大学ボンベイ校 (2000.8.21)
- * インド科学大学 (2008.12.18)

インドネシア

- * インドネシア大学 (2004.3.19)
- * ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- * バンドン工科大学 (2008.6.4)
- * ボゴール農科大学 (2010.3.23)
- * ブラウイジャヤ大学 (2014.9.24)
- パジャジャラン大学 (2016.1.21)

マレーシア

- * マラヤ大学 (2016.1.21)

モンゴル

- モンゴル科学アカデミー (2000.8.21)
- * モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

シンガポール

- * シンガポール国立大学 (2000.9.16)

韓国

- * 全北大学校 (1991.11.12)
- * ソウル大学校 (1998.7.8)
- * 光州科学技術院 (2000.8.21)
- * 釜慶大学校 (2000.8.21)
- * 浦項工科大学校 (2000.9.22)
- * 韓国科学技術院 (2001.4.24)
- * 忠南大学校 (2001.7.9)
- * 慶北大学校 (2002.9.2)
- * 嶺南大学校 (2003.12.3)
- * 東義大学校 (2003.12.19)
- * 朝鮮大学校 (2004.3.18)
- * 高麗大学校 (2004.3.31)
- * 国立昌原大学校 (2005.10.2)
- * 西江大学校 (2007.2.2)
- * 延世大学校 (2007.5.29)
- * 釜山大学校 (2007.7.26)
- * 国立公州大学校 (2007.7.29)
- * 中央大学校 (2008.3.27)
- * 慶熙大学校 (2010.3.5)
- * 成均館大学校 (2012.3.15)
- * 国民大学校 (2012.4.10)

- * 韓国科学技術研究院 (2016.8.23)

スリランカ

- * モラトゥワ大学 (2015.9.16)

台湾

- * 国立台湾大学 (2000.11.18)
- * 国立中正大学 (2003.11.14)
- * 国立成功大学 (2005.8.9)
- * 国立交通大学 (2005.12.15)
- * 国立中興大学 (2009.3.30)
- * 国立清華大学 (2009.12.2)
- * 国立政治大学 (2011.4.22)
- * 東吳大学 (2014.8.8)
- * 国立中央大学 (2015.2.24)

タイ

- * アジア工科大学院 (1998.11.9)
- * スラナリー工科大学 (2001.3.1)
- * キングモンクット工科大学ラカバン校 (2004.4.15)
- * チュロンコーン大学 (2011.2.3)
- * タマサート大学 (2012.4.5)
- * チェンマイ大学 (2012.4.10)
- * キングモンクット工科大学トンブリ校 (2012.11.26)
- * 泰日工業大学 (2014.8.19)

ベトナム

- * ベトナム国立大学ハノイ校 (2009.7.6)
- * 貿易大学 (2013.8.15)
- * ホーチミン市工科大学 (2014.10.14)

<中東>

イラン

- * テヘラン大学 (1999.8.25)

トルコ

- * イスタンブール工科大学 (2011.10.3)
- * エーゲ大学 (2017.7.13)

<アフリカ>

モロッコ

- * ムハンマド5世大学 - ラバト (2001.4.30)

南アフリカ

- * クワズールー・ナタール大学 (2010.12.20)
- * ヨハネスブルグ大学 (2016.8.19)

<オセアニア>

オーストラリア

- * シドニー大学 (1993.1.8)
- * ニューサウスウェールズ大学 (2001.4.7)
- * オーストラリア国立大学 (2002.7.16)
- * メルボルン大学 (2014.11.7)
- * マッコーリー大学 (2017.7.13)

ニュージーランド

- オークランド大学 (2002.11.15)

<北米>

カナダ

- * ウォーターloo大学 (2006.10.30)
- * オタワ大学 (2009.6.26)
- * クイーンズ大学 (2016.8.24)

アメリカ

- * ペンシルベニア州立大学 (1988.11.29)
- * カリフォルニア大学 (1990.3.15)
- パークレー校
- デービス校
- アーヴィン校
- ロサンゼルス校
- マーセド校
- リバーサイド校
- サンディエゴ校
- サンフランシスコ校
- サンタバーバラ校
- サンタクルス校
- * ワシントン大学 (シアトル) (1996.7.3)
- * バーデュー大学 (1997.9.23)
- * アラスカ大学 (1999.1.12)

(平成30年5月現在)

- *コロラド鉱山大学(2004.1.7)
- *シラキュース大学(2008.11.19)
- *国際教育協会(2009.1.27)
- *テンブル大学(2010.6.7)
- ハーバード大学(2010.7.22)
- *テキサス A&M 大学(2011.9.13)
- *ハワイ大学マノア校(2012.3.11)
- 保健社会福祉省国立衛生研究所(2013.5.9)
- *ニューヨーク州立大学オールバニー校(2014.5.1)
- *ノースカロライナ大学シャーロット校(2014.12.25)
- *ケースウェスタンリザーブ大学(2015.7.29)
- *ミシガン州立大学(2015.9.25)
- *メリーランド大学カレッジパーク校(2016.2.22)
- *モンタナ大学(2016.9.22)
- ライス大学(2017.7.21)
- *デンバー大学(2017.10.17)
- *ペイラー大学(2018.2.26)
- *ジョージア工科大学(2018.3.16)

<中南米>

ベネズエラ

- *シモン・ボリバル大学(2008.1.8)

<ヨーロッパ>

オーストリア

- *Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs(2002.11.14)
- *ウィーン大学(2010.2.24)

ベルギー

- ベルギー原子力研究センター(2005.6.16)

チェコ

- *チェコ工科大学プラハ校(2016.5.9)

フィンランド

- *アアルト大学(2001.11.5)
- *オウル大学(2004.8.9)
- *タンペレ工科大学(2006.1.31)
- *トゥルク大学(2016.11.29)

フランス

- *ソルボンヌ大学(1999.8.19)
- *レンヌ第2大学(1999.12.3)
- *グルノーブル・アルプ大学連合(2000.3.31)
- *ストラスブール大学(2000.3.31)
- *レンヌ第1大学(2000.12.20)
- *国立応用科学院リヨン校(2004.7.13)
- *ボルドー大学(2005.7.28)
- *国立中央理工科学学校(2006.2.13)
- リール校
- リヨン校
- マルセイユ校
- ナント校
- セントラルスピレック
- *アルピ鉱山大学(2006.9.12)
- *リヨン政治学院(2008.6.6)
- *リヨン高等師範学校(2008.8.11)
- *リヨン第2大学(2009.10.20)
- *コンピエニヌ工科大学(2010.3.15)
- *サンティエヌ国立高等鉱山学校(2012.4.5)
- *ボルドー工科大学(2013.7.5)
- リヨン大学(2013.9.9)
- *国立東洋言語文化研究大学(INALCO)(2017.1.31)
- *パリ第7大学(2017.9.21)
- *ロレーヌ大学(2018.2.26)

ドイツ

- *アーヘン工科大学(1998.5.19)
- *ドルトムント工科大学(1999.3.2)
- *ザールラント大学(1999.10.5)
- *ダルムシュタット工科大学(2003.4.30)
- *ゲッティンゲン大学(2003.10.23)
- *ドレスデン工科大学(2006.6.26)
- *ベルリン工科大学(2009.8.26)
- *ミュンヘン工科大学(2010.8.3)
- *カールスルーエ工科大学(2011.1.18)
- *カイザースラウテルン工科大学(2012.2.1)
- *ハイデルベルク大学(2012.2.2)
- *ヨハネスグーテンベルク大学マインツ(2012.2.6)
- ドイツ航空宇宙センター(2013.3.1)
- *パダボーン大学(2013.8.21)

- *ケムニッツ工科大学(2013.10.31)
- *レーゲンスブルク大学(2017.3.16)
- *オルデンブルク大学(2017.7.13)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」(1990.9.27)
- *フィレンツェ大学(2009.8.21)
- *トリノ工科大学(2010.11.24)
- *ナポリ大学(2012.3.28)
- *ペローナ大学(2013.5.13)
- *ミラノ工科大学(2013.5.14)
- *ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学(2018.3.14)

オランダ

- *グローニンゲン大学(2011.11.17)
- *トゥウェンテ大学(2015.8.21)
- *デルフト工科大学(2016.1.11)

ポーランド

- ポーランド科学アカデミー・触媒表面化学研究所(1999.8.4)

ポルトガル

- *リスボン新大学(2017.9.18)

ロシア

- *ロシア科学アカデミー・シベリア支部(1992.8.10)
- *モスクワ国立大学(1998.2.19)
- *ノボシビルスク国立大学(2003.7.4)
- ロシア科学アカデミー・極東支部(2012.1.23)
- *ニジネゴロド国立大学(2012.3.19)
- *極東連邦大学(2012.3.19)
- *ロシア国立高等経済学院(HSE)(2014.9.30)
- *サンクトペテルブルク国立総合大学(2014.10.1)

スペイン

- *グラナダ大学(2012.9.27)
- *バリアドリッド大学(2014.6.11)
- *マドリード・コンプルテンセ大学(2017.12.28)

スウェーデン

- *ウーメオ大学(1997.8.18)
- *王立工科大学(2000.9.20)
- *ウプサラ大学(2002.3.20)
- *ストックホルム大学(2003.1.14)
- *チャルマース工科大学(2006.4.19)

スイス

- *スイス連邦工科大学ローザンヌ校(2000.11.20)
- *スイス連邦工科大学チューリッヒ校(2010.7.21)
- *ジュネーブ大学(2015.10.20)

ウクライナ

- *ウクライナ国立工業大学(キエフ工科大学)(2004.6.2)

イギリス

- インペリアル・カレッジ・ロンドン(1988.5.4)
- ロンドン大学 "The School of Oriental and African Studies"(1989.4.10)
- ノッティンガム大学(2001.5.15)
- *ヨーク大学(2004.06.07)
- *シェフィールド大学(2009.8.21)
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(2013.11.21)

<国際機関>

国際機関

- ITER 国際核融合エネルギー機構(2013.12.24)
- 国連大学環境・人間の安全保障研究所(2017.10.17)
- 国連大学サステイナビリティ高等研究所(2018.3.8)

注1) *印は、授業料等を徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 協定機関名の後の括弧は協定締結年月日。

学術交流協定締結等

部局間協定

60ヶ国・地域 497機関

エリア	国・地域	機 関	部 局	締結年月日
アジア	パングラディッシュ (2)	* ダッカ大学会計・情報システム学部	経済学部・経済学研究科	2015/04/24
		ダッカ大学生物科学部	農学部・農学研究科	2014/04/27
	中国 (91)	北京航空航天大学材料科学院	金属材料研究所	2005/11/25
		北京医院	医学部・医学系研究科	1994/11/16
		* 北京師範大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2013/05/08
		中国医科大学	医学部・医学系研究科	1982/09/29
		* 中国政法大学商学院	経済学部・経済学研究科	2015/06/10
		* 中国政法大学政治学・公共管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/05/15
		中国科学院长春光学精密機械物理研究所	多元物質科学研究所	2000/12/26
		* 中国科学院化学研究所	工学部・工学研究科	2006/11/06
		中国科学院化学研究所	材料科学高等研究所	2010/04/12
		中国科学院金属研究所	金属材料研究所	1997/11/26
		* 中国科学院物理研究所	金属材料研究所	1993/02/17
		中国科学院物理研究所	流体科学研究所	2001/05/21
		中国科学院半導体研究所	電気通信研究所	2007/04/12
		中国科学院固体物理研究所	金属材料研究所	1985/01/01
		中国科学院上海硅酸塩研究所	金属材料研究所	1998/12/03
		中国科学院上海有機化学研究所	農学部・農学研究科	2005/06/07
		中国社会科学院法学研究所	法学部・法学研究科	2003/07/03
		* 重慶理工大学車両工学部	流体科学研究所	2012/07/09
		大連市口腔医院	歯学部・歯学研究科	2013/04/01
		* 大連理工大学研究生院	工学部・工学研究科	2000/06/12
		* 東北財經大会計学院	経済学部・経済学研究科	2005/05/01
		* 華東師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究科	2013/11/29
		* 華東師範大学与認知科学院	教育学部・教育学研究科	2013/11/29
		* 華東理工大学機械・動力工学部	工学部・工学研究科	2010/07/25
		福建医科大学口腔医学院	歯学部・歯学研究科	2013/04/01
		広東省民族宗教研究院	東北アジア研究センター	2001/06/25
		* 貴州大学管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/06/30
		* 杭州師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究科	2013/03/29
		* ハルビン工業大学	工学部・工学研究科	1996/08/03
		ハルビン工業大学計算機科学・技術学院	情報科学研究科	2010/07/05
		* ハルビン医科大学	医学部・医学系研究科	2000/06/21
		* 河北師範大学商学院	経済学部・経済学研究科	2016/01/11
		* 河北連合大学	工学部・工学研究科	2009/02/20
		華僑大学材料科学工程学院	多元物質科学研究所	2001/06/05
		* 湖南大学金融学院	経済学部・経済学研究科	2009/04/26
		内蒙古師範大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/04/01
		内蒙古師範大学旅游学院	東北アジア研究センター	2011/09/28
		内蒙古大学蒙古学学院	東北アジア研究センター	2008/09/22
		* 江南大学 Junyuan 学院	工学部・工学研究科	2016/03/10
		遼寧省腫瘤病院・遼寧省腫瘍研究所	加齢医学研究所	1998/12/07
		中央民族大学蒙古語言文学系	東北アジア研究センター	2014/02/25
		* 南京監査大学監査会計学院	経済学部・経済学研究科	2015/04/15
		* 南京師範大学教育科学学院	教育学部・教育学研究科	2010/11/25
		* 南京師範大学心理学院	教育学部・教育学研究科	2013/11/27
		* 南京大学化学・化学工学科	理学部・理学研究科	2014/03/28
		* 南開大学経済社会発展研究院	国際文化研究科	2017/06/30
		* 南開大学外国語学院	文学部・文学研究科	2015/12/16
		* 南開大学外国語学院	国際文化研究科	2015/12/16
		* 南開大学日本研究院	文学部・文学研究科	2016/02/25
		国家ナノ科学センター	医学部・医学系研究科	2015/01/18
		東北大学	工学部・工学研究科	1981/11/23
		東北大学	多元物質科学研究所	1981/11/23
		* 東北師範大学教育学部	教育学部・教育学研究科	2014/11/14
		* 東北師範大学 MBA 教育センター会計専門職大学院	経済学部・経済学研究科	2015/09/29
		* 東北師範大学商学院	経済学部・経済学研究科	2015/03/17
		* 中国海洋大学	農学部・農学研究科	2001/12/25
		北京大学ナノ科学技術研究センター	多元物質科学研究所	1998/11/05
		北京大学日本研究センター	教育学部・教育学研究科	1999/05/18
		* 青島科技大学環境及び安全工学部	工学部・工学研究科	2017/02/24
		* 中国人民大学商学院	経済学部・経済学研究科	2004/10/14
		* 中国人民大学公共管理学院	情報科学研究科	2008/10/27
		* 上海交通大学口腔医学院	歯学部・歯学研究科	2016/05/12
		* 上海交通大学環境科学与工程学院	環境科学研究科	2013/11/12
		* 上海海洋大学	農学部・農学研究科	2002/10/31
		* 四川大学商学院	経済学部・経済学研究科	2015/08/14
		* 四川大学经济学院	経済学部・経済学研究科	2015/09/08
		* 四川大学公共管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/09/06
		四川大学華西薬学院	薬学部・薬学研究科	2010/02/17
		四川大学華西口腔医学院	歯学部・歯学研究科	2006/09/28
		* 蘇州大学薬学部	薬学部・薬学研究科	2014/12/22
		* 華南理工大学 電子・情報学院、建築学院、機械・自動車工程学院	工学部・工学研究科	2016/07/07
		* 東南大学経済管理学院	経済学部・経済学研究科	2010/07/27
		* 西南交通大学公共管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/04/16
		西南大学材料・エネルギー学部	多元物質科学研究所	2017/03/22
		* 西南政法大学	法学部・法学研究科	2016/06/07
		* 中山大学光華口腔医学院	歯学部・歯学研究科	2018/03/12
		香港科技大学	金属材料研究所	1996/10/01
		香港科技大学科学部	材料科学高等研究所	2010/04/01
		* 香港大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2015/11/16
		* 香港大学 LI KA SHING 医学部	医学部・医学系研究科	2013/11/01
		* 天津医科大学口腔医学院	歯学部・歯学研究科	2010/07/08
		* 天津医科大学および TEDA 国際心血管病院	医学部・医学系研究科	2015/05/05
		天津大学材料学院	金属材料研究所	2006/07/21
		清華大学近代物理研究所及び応用物理系	金属材料研究所	1994/08/10
		清華大学水利水電工程系	流体科学研究所	1993/09/20
		* 電子科技大学	工学部・工学研究科	2009/06/22
		* 武漢大学哲学院	文学部・文学研究科	2015/03/19
		* 西安外国語大学日本文化経済学院	文学部・文学研究科	2017/05/10
		* 西安建築科技大学 環境・市政工程学院	環境科学研究科	2013/12/19
		* 西安電子科技大学	工学部・工学研究科	1999/08/12
		鄭州大学材料工程学院	多元物質科学研究所	2003/06/16
	インド (3)	* インド工科大学マドラス校	工学部・工学研究科	2013/12/16
		ブネ国立化学研究所	工学部・工学研究科	1999/04/28
	インドネシア (21)	* ボックカリガラ・サンガ・デンタルカレッジ	歯学部・歯学研究科	2014/07/01
		アチエ津波博物館	災害科学国際研究所	2016/11/22
		アイルラング大学歯学部	歯学部・歯学研究科	2015/02/16

(平成30年5月現在)

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

学術交流協定締結等

部局間協定

エリア	国・地域	機 関	部 局	締結年月日
アジア		* 国立東華大学管理学院 * 国立中山大学文学院中国文学系 * 国立中山大学物理系 * 国立台北大学法律学院 * 国立台北大学社会科学学院 * 国立台北大学商学院 * 国立台北科技大学工程学院 * 国立台東大学師範学院 * 国立台湾師範大学教育学院 * 国立台湾大学気象災害研究センター * 国立台湾大学工学院 * 国立台湾大学社会科学学院 * 国立台湾大学歯学部 * 国立陽明大学歯学部 * 東興大学商学院 * 台北医学大学医学科 * 台北医学大学口腔医学院 * 台北医学大学薬学科 * 台北医学大学公衆衛生栄養学院 * 淡江大学	経済学部・経済学研究科 文学部・文学研究科 電気通信研究所 法学部・法学研究科 情報科学研究科 経済学部・経済学研究科 理学部・理学研究科 教育学部・教育学研究科 教育学部・教育学研究科 災害科学国際研究所 金属材料研究所 経済学部・経済学研究科 歯学部・歯学研究科 歯学部・歯学研究科 経済学部・経済学研究科 医学部・医学系研究科 歯学部・歯学研究科 薬学部・薬学研究科 農学部・農学研究科 工学部・工学研究科	2015/07/13 1999/04/03 2013/05/08 2017/07/03 2007/10/08 2010/07/26 2015/05/02 2008/12/05 2011/03/04 2015/03/17 1998/03/23 2015/03/23 2016/10/07 2016/10/07 2007/09/27 2013/05/27 2017/04/15 2013/11/15 2006/04/28 2015/12/10
	タイ (17)	* チェンマイ大学理学部 * チェンマイ大学理学部プラズマビーム物理研究施設 * チュラロンコン大学医歯学部 * チュラロンコン大学歯学部 * カセサート大学工学部 * カセサート大学工学部 * カセサート大学水産学部 * コンケン大学歯学部 * コンケン大学管理科学学部 * マヒドン大学医学部 Ramathibodi 病院 * プリンス・オブ・ソングクラ大学歯学部 * プリンス・オブ・ソングクラ大学工学部 * サイアム大学教養学部 * 泰日工業大学 * タマサート大学医学部 * タマサート大学シリントーン国際工学部 * タマサート大学シリントーン国際工学部	多元物質科学研究所 電子光学研究センター 医学部・医学系研究科 歯学部・歯学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 環境科学研究科 農学部・農学研究科 歯学部・歯学研究科 経済学部・経済学研究科 医学部・医学系研究科 歯学部・歯学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 文学部・文学研究科 経済学部・経済学研究科 医学部・医学系研究科 情報科学研究科 工学部・工学研究科	2008/06/09 2016/12/06 2018/01/23 2014/12/09 2013/11/11 2017/02/24 2002/02/24 2015/02/19 2010/08/02 2013/11/01 2015/01/05 2001/01/16 2016/02/24 2007/10/23 2018/04/03 2008/01/21 2015/12/22
	ベトナム (7)	* 貿易大学国際経済学部 * ハノイ工科大学 * チュイロイ大学 * ベトナム科学技術アカデミアアカデミー大学院大学 * ベトナム科学技術アカデミア材料科学研究所 * ベトナム原子力研究所 * ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学	経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科	2010/01/14 2009/03/27 2007/01/30 2017/05/12 2008/02/14 2017/11/16 2009/07/20
中東	イラン (1)	* シラズ大学工学部	工学部・工学研究科	2002/03/01
	クウェート (1)	クウェート科学研究所	多元物質科学研究所	2013/02/18
アフリカ	アラブ首長国連邦 (1)	アラブ首長国連邦大学薬学・健康科学学部	加齢医学研究所	2016/07/10
	エジプト (3)	アレクサンドリア大学スーハ救急救命病院 アシュト大学 * エジプト日本科学技術大学	流体科学研究所 金属材料研究所 工学部・工学研究科	2017/11/30 1996/01/02 2013/05/12
オセアニア	ケニア (1)	* KCA 大学経営・公共管理学院	経済学部・経済学研究科	2015/05/05
	ナイジェリア (1)	* ナイジェリア大学 (ヌスカ) 物理学部	理学部・理学研究科	2016/02/26
	南アフリカ (2)	* ロース大学理学部	理学部・理学研究科	2013/09/16
		* ウィットウォーターズランド大学	理学部・理学研究科	2017/04/19
オセアニア	オーストラリア (7)	* グリフィス大学工学・情報学部 * グリフィス大学医学部 * マッコリー大学 * マッコリー大学・オーストラリアン・スクール・オブ・アドバンスト・メディシン * クイーンズランド工科大学衛生保健学部看護学科 * メルボルン大学微粒子流体プロセスセンター * シドニー大学	工学部・工学研究科 医学部・医学系研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 医学部・医学系研究科 材料科学高等研究所 加齢医学研究所	2006/01/10 2015/07/02 2015/06/17 2014/04/15 2006/04/10 2011/10/26 2017/02/14
	ニュージーランド (2)	ニュージーランド地質・核科学研究所 ニュージーランド地質・核科学研究所	理学部・理学研究科 災害科学国際研究所	2008/03/19 2014/09/01
北米	カナダ (9)	コンコーディア大学エドモントン マギル大学金属プロセス研究センター マギル大学モントリオール神経研究所 * モントリオール理工科大学 プリティッシュコロンビア大学歯学部 トロント大学金属・材料科学科 * トロント大学応用理工学部 トロント大学航空宇宙研究所 * ビクトリア大学工学部	医学部・医学系研究科 多元物質科学研究所 加齢医学研究所 工学部・工学研究科 歯学部・歯学研究科 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 流体科学研究所 情報科学研究科	2016/02/08 1998/11/30 2010/06/08 2017/10/12 2001/04/23 1998/12/01 2016/09/07 1994/06/20 2009/12/21
	アメリカ (32)	カーネギー研究機構地球物理学研究所 コロンビア大学化学科 コロンビア大学理工学部地球・環境工学科 ハーバード大学理工学部 ハーバード大学ライシャワー日本研究所 マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 マサチューセッツ工科大学電子工学研究所およびマイクロシステム技術研究所 ノースイースタン大学工学部 ボートランド州立大学 ラトガース大学ワイヤレスネットワーク研究所 (WINLAB) * ニューヨーク州立大学オールバニー校 シラキュース大学工学部 テキサス A&M 大学科学部農学・生命科学部 * ニューヨーク市立大学シティカレッジ工学部 フォーサイズ研究所 * オハイオ州立大学文理学部 (学部) * オハイオ州立大学文理学部 (大学院) カリフォルニア大学ロサンゼルス校純粋応用数学研究所 カリフォルニア大学リバーサイド校ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部 * ハワイ大学マノア校社会科学部 イリノイ大学工学部・バイオアクステクス研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクステクス研究所 イリノイ大学シカゴ校 * イリノイ大学アーバイン・シャンペン校工学部電気・コンピューター工学科 ケンタッキー大学工学部	理学部・理学研究科 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 金属材料研究所 災害科学国際研究所 工学部・工学研究科 金属材料研究所 電気通信研究所 多元物質科学研究所 流体科学研究所 経済学部・経済学研究科 電気通信研究所 経済学部・経済学研究科 流体科学研究所 農学部・農学研究科 工学部・工学研究科 歯学部・歯学研究科 文学部・文学研究科 文学部・文学研究科 材料科学高等研究所 工学部・工学研究科 金属材料研究所 経済学部・経済学研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 理学部・理学研究科 医学研究科 流体科学研究所	2008/12/01 1995/11/22 1998/10/15 2002/05/31 2014/06/13 2015/01/09 2015/01/09 2015/01/09 2015/01/09 2013/09/19 2014/12/09 2009/12/09 2012/08/06 2001/06/15 2018/02/06 2010/12/13 2005/12/09 2016/08/01 2017/08/01 2012/08/02 2017/03/22 2004/03/12 2017/03/27 1988/08/29 1988/08/29 2000/05/01 2013/07/29 2008/11/17

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

54

■ 学術交流協定締結等

部局間協定

エリア	国・地域	機 関	部 局	締結年月日
ヨーロッパ	アイスランド (1)	* レイキャビク大学計算機科学学部	情報科学研究科	2010/06/26
	イタリア (22)	ボローニャ大学教育学部 トリエステ放射光研究所 * ビサ高等師範学校エニオ・デジョリ/数学研究センター * ヴェネツィア大学「カ・フォスカリ」アジア・アフリカ地中海学部 * フェラーラ大学 フェラーラ大学理学研究科 * ラキウラ大学生活衛生環境科学部 ミラノ大学法学部 ミラノ大学薬学部 * ナポリ東洋大学 * パドヴァ大学文・哲学部 ビサ大学物理学科 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」建築学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学、情報科学および統計学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」文学、哲学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」数学・物理学・自然科学部 * ローマ大学「ラ・サピエンツァ」東洋学部 * シエナ大学理学研究科 * トレント大学産業工学部および情報工学・コンピューターサイエンス学部 トリエステ大学建築工学部 トリノ大学心理学部	文学部・文学研究科 多元物質科学研究所 理学部・理学研究科 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 サイクロロン・ラジオアイソトープセンター 農学部・農学研究科 法学部・法学研究科 薬学部・薬学研究科 文学部・文学研究科 文学部・文学研究科 金属材料研究所 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 情報科学研究科 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 文学部・文学研究科 理学部・理学研究科 工学部・工学研究科 流体科学研究所 加齢医学研究所	2015/04/20 2007/08/29 2013/06/25 2014/06/05 2012/06/27 2011/02/15 2004/02/09 2003/06/12 2003/07/16 2014/07/18 2015/08/01 1999/08/31 2012/04/05 2010/07/26 2010/07/28 2010/03/15 2017/03/24 2008/02/28 2013/08/01 2017/10/06 2002/06/28 2011/07/21
	カザフスタン (1)	燃焼問題研究所	流体科学研究所	2016/04/15
	キルギス (1)	キルギスタン国際大学	国際文化研究科	1998/02/20
	ルクセンブルク (1)	* ルクセンブルク大学科学技術通信学部	工学部・工学研究科	2017/11/29
	オランダ (9)	エラスムス大学エラスムスメディカルセンター疫学部門 * エラスムス大学メデ・カルセンター * ライデン大学人文学部 * マーストリヒト大学健康医学生命科学部 * アムステルダム大学理学部 * グローニンゲン大学経済学研究科 * ユトレヒト大学 Future Food Utrecht * ワーゲンニンゲン大学動物科学研究所 * ワーゲンニンゲン大学実験植物科学研究所	東北メディカル・メガバンク機構 医工学研究科 文学部・文学研究科 医学部・医学系研究科 理学部・理学研究科 経済学部・経済学研究科 農学部・農学研究科 農学部・農学研究科	2014/08/11 2010/03/23 2011/02/15 2014/05/30 2013/07/11 2012/09/20 2017/01/19 2016/01/28 2016/10/26
	ノルウェー (4)	* ノルウェー科学技術大学医学健康科学部 * ノルウェー科学技術大学医学健康科学部 ノルウェー科学技術大学自然科学部及び工学部 ベルゲン大学医学部	生命科学研究科 医学部・医学系研究科 工学部・工学研究科 加齢医学研究所	2017/04/28 2017/04/27 2017/10/16 2017/05/10
	ポーランド (10)	* AGH 科学技術大学 ポーランド電子材料技術研究所 ポーランド真空工学研究所 * ヤゲウォ大学国際政治学部 マリア・キリル・スクロドフスカ大学法学部 ポーランド科学アカデミー・物理研究所 ポーランド科学アカデミー・物理研究所 ヴロツワフ大学数学・計算科学研究科 * ヴロツワフ工科大学 * ヴロツワフ工科大学	工学部・工学研究科 金属材料研究所 金属材料研究所 文学部・文学研究科 法学部・法学研究科 金属材料研究所 電気通信研究所 情報科学研究科 工学部・工学研究科 流体科学研究所	2017/06/07 2002/03/01 2000/06/09 2015/09/30 2003/09/19 2000/12/08 1976/08/03 2009/09/21 2013/02/27 2014/06/10
	ポルトガル (1)	* リスボン大学テクニコ校	工学部・工学研究科	2017/05/12
	ルーマニア (1)	レーザー・プラスマ・放射物理国立研究所	多元物質科学研究所	2006/08/04
	ロシア (18)	* パンマン・モスク国立工科大学フォニクス・赤外工学研究教育センター無線電子工学・レーザ工学研究所 ロシア科学アカデミー・総合物理学研究所 ロシア科学アカデミー・固体物理学研究所 ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー・地球化学・分析化学研究所／モスクワ国立大学化学部 ロシア科学アカデミー・極東支部経済研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部自動制御プロセス研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部人文学・北方民族問題研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部理論及び応用力学研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部 V.N. スカチョフ森林研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部ソボルフ地質学鉱物学研究所 * イマヌエール・カントハルト連邦大学物理学研究所 * モスクワ国立大学心理学部 * ニジエコロド国立農業アカデミー スモレンスクステートメディカルアカデミー * サンクトペテルブルク電気工科大学 トムスク工科大学原子核物理研究所	電気通信研究所 金属材料研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 流体科学研究所 多元物質科学研究所 東北アジア研究センター 多元物質科学研究所 東北アジア研究センター 流体科学研究所 東北アジア研究センター 理学部・理学研究科 学際科学フロンティア研究所 文学部・文学研究科 農学部・農学研究科 加齢医学研究所 電気通信研究所 多元物質科学研究所	2014/06/26 1993/01/27 1993/10/01 2000/07/21 2017/10/15 2013/09/02 2005/09/01 2005/12/01 2009/09/30 1990/01/01 2002/10/01 2008/11/07 2015/01/30 2013/10/09 2015/04/21 2003/07/18 2016/11/22 1997/12/21
	スロバキア (1)	* ジリナ大学電気工学部	工学部・工学研究科	2017/06/13
	スロベニア (2)	ジョセフ・ステファン研究所 * リュブリャナ大学工学系4学部	金属材料研究所 工学部・工学研究科	2000/01/05 1998/06/03
	スペイン (7)	* バルセロナ生物医学研究所 マドリッド・アウトノマ大学化学部 アリカンテ大学材料研究所 * カタルーニャ工科大学バルセロナ産業工学部 カスティーリャ・ラ・マンチャ大学 ピゴ大学 ピゴ大学理学部	薬学部・薬学研究科 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 加齢医学研究所 電気通信研究所 農学部・農学研究科	2016/08/01 2013/06/26 2014/02/21 2016/04/11 2017/12/19 2011/02/25 1996/11/26
	スウェーデン (5)	* 王立工科大学 リンショーピング大学分析社会科学研究所 * リンショーピング大学工学部 * メーラーダーレン大学イノベーション・デザイン・工学部 * スウェーデン農科大学農業、景観計画、園芸学部及び獣医学部	工学部・工学研究科 文学部・文学研究科 工学部・工学研究科 工学部・工学研究科 農学部・農学研究科	1990/05/22 2015/05/07 1998/04/02 2016/03/10 2002/05/22
	スイス (1)	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	工学部・工学研究科	1994/07/29
	ウクライナ (1)	材料科学基礎国立研究所	多元物質科学研究所	2006/09/20
	イギリス (14)	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート 科学技術設備会議タースペリ研究所 * マンチェスター大学物理工学部機械・航空・土木工学科 ユニバーシタリレッジロンドン (UCL)・数物科学部 (MAPS) ケンブリッジ大学化学部 * ケンブリッジ大学工学部 ケンブリッジ大学材料科学・金属学部 ケンブリッジ大学数学部 * イーストアングリア大学薬学部 レスター大学社会科学部 ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション レディング大学心理学・臨床言語科学学部 ヨーク大学教育学部 ヨーク大学電子工学部	歯学部・歯学研究科 多元物質科学研究所 工学部・工学研究科 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 工学部・工学研究科 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 薬学部・薬学研究科 経済学部・経済学研究科 教育学部・教育学研究科 加齢医学研究所 教育学部・教育学研究科 金属材料研究所	2006/08/01 1996/10/01 2007/03/26 2009/01/06 2011/01/18 2016/11/11 2010/01/26 2013/04/08 2017/11/29 2001/02/12 1999/04/26 2016/09/14 2005/02/04 2004/05/18
	ウズベキスタン (1)	タシケント国立経済大学	国際文化研究科	1998/03/04
	国際機関 (1)	国連開発計画	災害科学国際研究所	2015/08/04

注) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。

(平成29年度実績)

外国人研究者等受入状況

[illegible]

■ 研究者等交流状況

本学教職員海外渡航状況

[illegible]

58

[illegible]

外国人留学生数

外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数												
		国費		私費					大学院生				研究生			その他					
				政府派遣		その他			学部生	博士・前期	博士・後期	博士・四年	学部	大学院	研究所等	研修コース	日本語 (学部)	特別聴講学生 (大学院)	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
		男	女	男	女	男	女														
アジア（18 カ国・地域）	インド	12	2			10	2	26	7	5	6	1	2		1	3				1	
1,732人 82.9%	インドネシア	47	26	6	10	28	20	137	24	46	49	8		1				8		1	
	韓国	14	3	19	1	58	20	115	53	14	37	1	1	1				8			
	カンボジア	1				1		2	1	1											
	シンガポール	1	1			1	2	5	3	1								1			
	スリランカ	3	1			2		6	1	3	2										
	タイ	14	9		1	22	9	55	13	9	18	4		1				9		1	
	台湾					34	23	57	2	18	14	1	2	2				12		6	
	中国	30	21	15	9	542	545	1,162	60	553	287	49	125	5	17			26	1	39	
	ネパール	3	2			2	1	8	2	4	2										
	パキスタン	7	1			1	1	10		4	5									1	
	バングラデシュ	17	5	1		4	8	35	1	11	17	3	1			2					
	フィリピン	1	6			4	3	14	1	2	6	3	2								
	ベトナム	16	8	1		11	8	44	5	16	17	4						2			
	マレーシア	3	2	8	6	12	6	37	18	6	8	2						1		2	
	ミャンマー		2				1	3		1		1		1							
	モンゴル	3	5			3	3	14	3	2	5	3	1								
	ラオス	1	1					2		1	1										
中近東（9 ヶ国・地域）	アフガニスタン	1						1		1											
26人 1.2%	イエメン					1		1			1										
	イスラエル	1						1										1			
	イラン	2	2			2	1	7			4					2				1	
	クウェート	1						1		1											
	サウジアラビア						1	1				1									
	シリア	3						3			1					2					
	トルコ	3	2		1	1	2	9		2	6							1			
	ヨルダン	1	1					2				1	1								
	アフリカ（24 カ国・地域）	アルジェリア	1	3					4		1		1		1		1				
63人 3.0%	ウガンダ						1	1		1											
	エジプト	2			1	5	1	9	2	2		4								1	
	エチオピア	1	1					2	1		1										
	エリトリア	1						1				1									
	カメルーン	3					1	4		2		2									
	ガーナ	2				2	1	5		4	1										
	ケニア		2			1	1	4		4											
	コンゴ民主共和国	1						1		1											
	ザンビア	1						1									1				
	シエラレオネ						1	1		1											
	ジンバブエ		1					1									1				
	スーダン		2			1		3		2							1				
	タンザニア	1				1	1	3		2	1										
	チュニジア						1	1			1										
	ナイジェリア	6						6		3	2		1								
	ブルキナファソ	1						1		1											
	ボツワナ		2				1	3		1	1						1				
	マラウイ		1					1		1											
	マリ	1						1				1									
	南アフリカ	2					1	3		1	1						1				
	モザンビーク		1			1	1	3		3											
	モロッコ		1				2	3		2							1				

外国人留学生数

(平成30年5月1日現在)

地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数												
		国費		私費					大学院生				研究生			その他					
				政府派遣		その他			学部生	博士・前期	博士・後期	博士・四年	学部	大学院	研究所等	研修コース	日本語 (学部)	特別聴講学生 (大学院)	特別研究学生	科目等履修生	
		男	女	男	女	男	女														
	ブルンジ	1						1								1					
オセアニア (3 カ国・地域)	オーストラリア					2	1	3			1								2		
8人 0.4%	ニュージーランド		1					1			1										
	フィジー	2	1			1		4		3	1										
北米 (2 カ国・地域)	アメリカ合衆国	5	4			19	9	37	3	8	4					2	20				
38人 1.8%	カナダ	1						1		1											
中南米 (16 ヶ国・地域)	アルゼンチン	1						1			1										
	エルサルバドル	1				1		2	1		1										
	キューバ	1	1					2			2										
	グアテマラ		3					3		2	1										
	コスタリカ	1						1		1											
	コロンビア	1	1					2								1	1				
	チリ	3					2	5		2	1		2								
	ハイチ共和国	1						1				1									
	パナマ	1						1			1										
	パラグアイ	3						3	1		1					1					
	ブラジル	9	1			3		13		3	5		1			4					
	ベネズエラ	5				2		7		2	4						1				
	ペルー	1	1			1		3			2					1					
	ボリビア	2	1					3			2		1								
	ホンジュラス	1					1	2		1	1										
	メキシコ	3	1			1	1	6	1	1	4										
ヨーロッパ (25カ国・地域)	アルメニア						1	1			1										
167人 8.0%	イギリス	4	1			1		6		2	2		1				1				
	イタリア	1				10	4	15			2						1		12		
	ウズベキスタン	2						2			1						1				
	エストニア	1						1								1					
	オーストリア	1				1	1	3			1		1				1				
	オランダ					2	3	5			1						4				
	キルギス						1	1			1										
	スイス					1		1									1				
	スウェーデン					7	4	11									6		5		
	スペイン	2				1		3		1	1								1		
	スロバキア					1	1	2			1	1									
	チェコ						1	1											1		
	デンマーク	1						1			1										
	ドイツ					22	14	36		2	5	1					11		17		
	ノルウェー					1		1			1										
	ハンガリー	1	1			1	3	6			2	1					1		2		
	フィンランド	2				2	2	6			3						1		2		
	フランス	1				31	15	47	1	10	12						5		19		
	ブルガリア	1						1	1												
ベルギー	1						1		1												
ポルトガル						1	1										1				
ポーランド	1	1			1	1	4			2								2			
ルーマニア	1						1			1											
ロシア	4	4			1	1	10		3	5				1		1					
計 (97カ国・地域)		275	136	50	29	863	736	2,089	205	776	570	95	142	12	19	27	125	2	116		

外国人留学生数

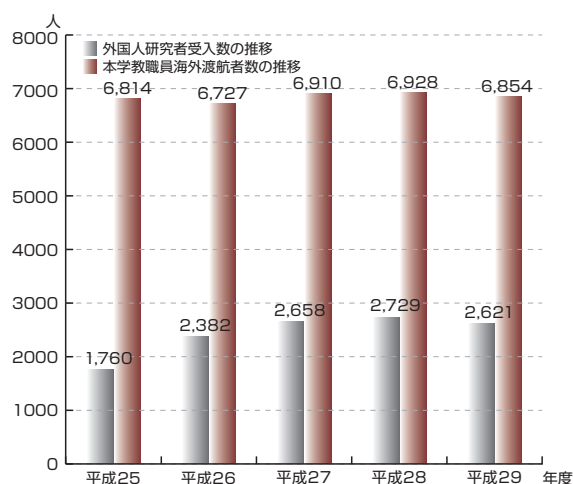
外国人留学生数(国・地域別、部局別)

地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																						
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	法科大学院	公共政策大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究所	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体力学研究科	電気通信研究所
アジア (18ヵ国・地域)	インド	26								4	1	1		10	1		3	1		1					
	インドネシア	137	4	1				2	2	34	3	6	1	29	20	2	5	1	23	2					
	韓国	115	19	2	6			4		15	6			51	7		2		2	1					
	カンボジア	2												2											
	シンガポール	5	1							1				1	1										
	スリランカ	6								2				2				1	1						
	タイ	55	3							8	3	3	1	21	1	3	5		3						
	台湾	57	6		1			6	3	6	2	2	1	10	3	5	3	1	2	4					
	中国	1,162	158	42	45			1	101	32	67	62	21	17	278	53	80	87	24	50	12	11	6		5
	ネパール	8								3	1			2	1				1						
	パキスタン	10									2			4	1			2	1						
	バングラデシュ	35								15	3			6	3		1	1	1	3					
	フィリピン	14									2	1		7	1			2		1					
	ベトナム	44			1			7	1	8	3	1		11	1			2	1	6	1				
	マレーシア	37						2		2	2			24					1	3	2				
	ミャンマー	3									1						2								
	モンゴル	14								2	1	3		2		1	1		4						
	ラオス	2													1				1						
中近東 (9ヵ国・地域)	アフガニスタン	1												1											
	イエメン	1												1											
	イスラエル	1	1																						
	イラン	7												4				1							
	クウェート	1																		1					
	サウジアラビア	1										1													
	シリア	3												1											
	トルコ	9	1					1		1				2				1	2						
	ヨルダン	2										1		1											
アフリカ (24ヵ国・地域)	アルジェリア	4									1			1				1							
	ウガンダ	1						1																	
	エジプト	9									4	1		3					1						
	エチオピア	2								1				1											
	エリトリア	1									1														
	カメルーン	4						1			2							1							
	ガーナ	5			1			2									2								
	ケニア	4						1			1	1							1						
	コンゴ民主共和国	1								1															
	ザンビア	1																							
	シエラレオネ	1									1														
	ジンバブエ	1																							
	スーダン	3						1												1					
	タンザニア	3							1	1									1						
	チュニジア	1												1											
	ナイジェリア	6								3								2		1					
	ブルキナファソ	1															1								
	ボツワナ	3												1					1						
	マラウイ	1																	1						
	マリ	1									1														
	南アフリカ	3						1												1					
	モザンビーク	3							1		1								1						
	モロッコ	3												1						1					

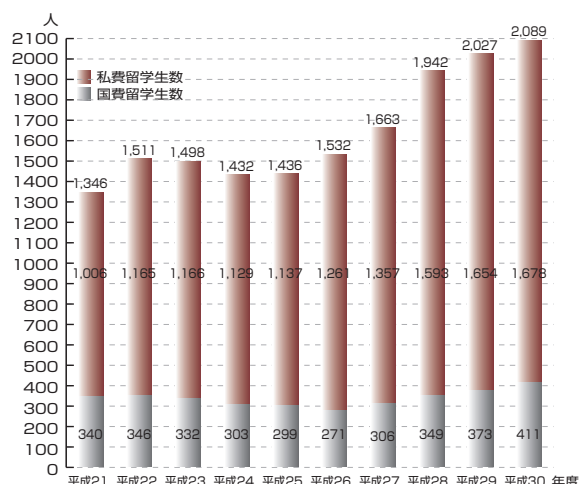
(平成30年5月1日現在)

計(97カ国・地域)	2089	219	45	64	1	139	42	207	111	43	23	578	98	103	139	46	113	28	11	7	5	2	2	3	27	33
------------	------	-----	----	----	---	-----	----	-----	-----	----	----	-----	----	-----	-----	----	-----	----	----	---	---	---	---	---	----	----

研究者等交流状況の推移



外国人留学生受入数の推移



国際的な大学連合への加盟

	設立年月	設立の経緯	加盟国・地域 (加盟大学)	本学の 加盟年
環太平洋大学協会 (APRU) (Association of Pacific Rim Universities)	1997.6	環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。 日本からは、東北大学、東京大学、名古屋大学、大阪大学、慶應義塾大学、早稲田大学が加盟。	16 (50)	2008年
東アジア研究型大学協会 (AEARU) (The Association of East Asian Research Universities)	1996.1	東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。 日本からは、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、京都大学、大阪大学が加盟。	4 (18)	1998年
T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)	1989.10	ヨーロッパの理工系大学間において、主に修士課程レベルでのダブル・ディグリープログラムによる交流を通じてトップレベルのエンジニアを養成することを視野に入れて設立された。 2005年よりヨーロッパ以外の大学の加盟が可能になり、ブラジル、中国、オーストラリアの大学をはじめ、日本からは東北大学、慶應義塾大学、同志社大学、横浜国立大学が加盟。	21 (56)	2007年
日独6大学アライアンス (HeKKSaGOn) (The German-Japanese University Alliance: Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Tohoku (in Sendai), Göttingen, Osaka-Alliance)	2010.7	日本とドイツの主要大学の研究者、教職員及び学生の交流、共同研究の推進、サマースクール等の開催など、日独大学間の交流を推進することを目的として設立された。日本からは、東北大学、京都大学、大阪大学が加盟。	2 (6)	2010年
日英産学連携プログラム (RENKEI) Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives	2012	日本と英国の主要大学の連携を基盤とし、共同研究、知識移転、人材育成の分野において、産業界との連携を強化することを目的として設立された。日本からは、東北大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、立命館大学が加盟。	2 (12)	2012年



第5回 APRU-IRIDeS
マルチハザードサマースクール (東北大学)



第6回日独6大学学長会議 (大阪大学)
(写真提供: 大阪大学)



RENKEI ワークショップ「オープン化された文化遺産研究」(立命館大学) (写真提供: 立命館大学)

海外拠点

(平成30年5月1日現在)

海外事務所

事務所名(設置場所)	設立	事務所名(設置場所)	設立
① 中国代表事務所(北京) Tohoku University China Office	2007年4月20日	④ タイ代表事務所(バンコク) Tohoku University Thailand Office	2016年3月14日
② ロシア代表事務所(モスクワ) Tohoku University Russia Office	2010年9月11日	⑤ ワシントン大学-東北大学 アカデミックオープンスペース(シアトル) University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space (UW-TU: AOS)	2017年4月14日
③ ロシア代表事務所シベリア支部(ノボシビルスク) Tohoku University Russia Office Siberia Branch	2010年9月11日		

リエゾンオフィス

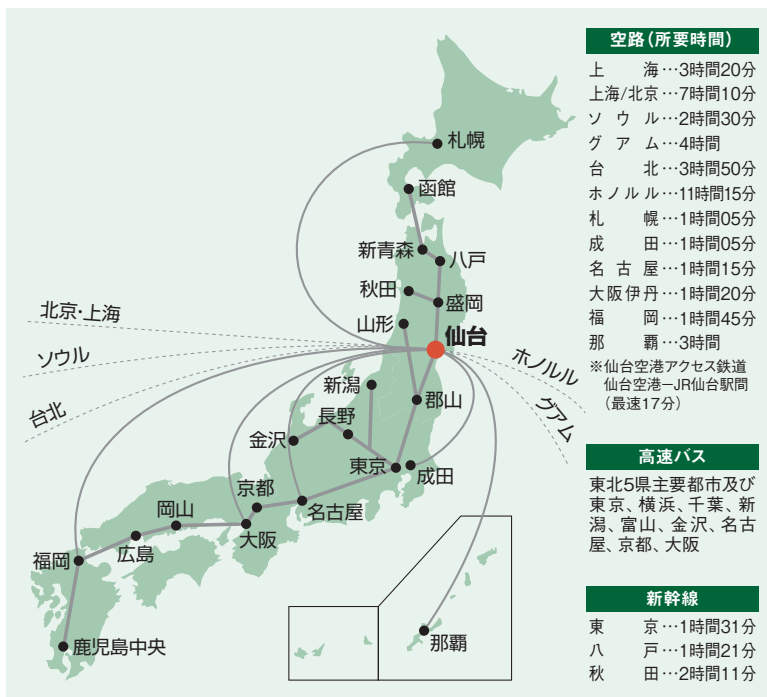
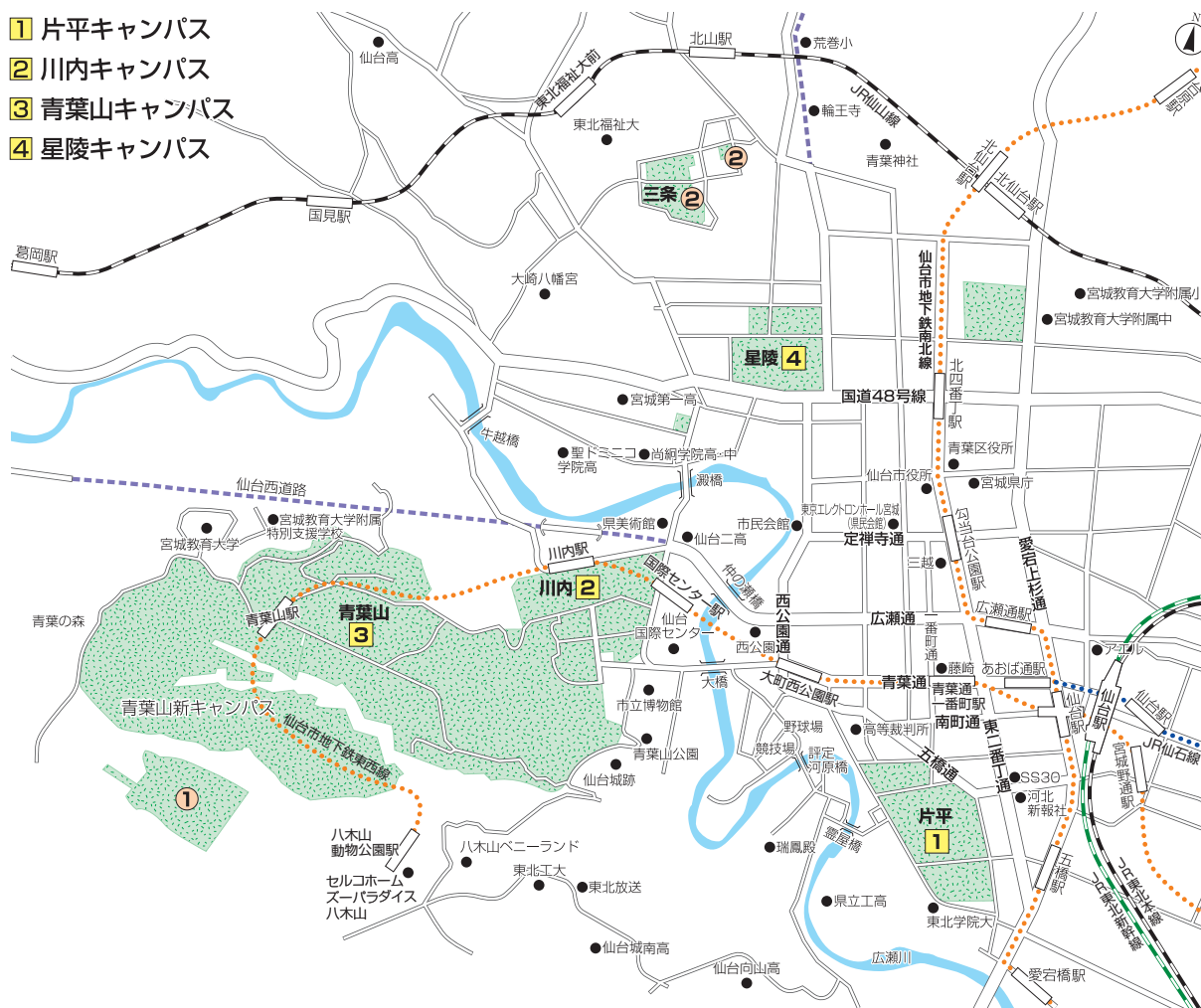
締結機関(設置場所)	国・地域(締結日)	オフィス名	世話部局
⑥ ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア(2002年5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
⑦ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア(2002年6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑧ シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ(2003年11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑨ 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国(2003年12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑩ 熱帯医学研究所	フィリピン(2007年5月1日)	東北大学-RITM 新興・再興感染症 共同研究センター (フィリピン拠点)	医学系研究科
⑪ バンドン工科大学	インドネシア(2011年8月2日)	環境科学研究科 国際環境リーダーリエゾンオフィス (2015年3月23日: オフィス名変更に伴い再締結)	環境科学研究科
⑫ ソウル大学校 (工科大学)	韓国(2011年12月1日)	日本国4大学(北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学)工学部等と大韓民国ソウル大学校工科大学の間における連絡オフィス	工学研究科
⑬ スウェーデン王立工科大学 (機械学科)	スウェーデン(2012年6月28日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑭ カリフォルニア大学 リバーサイド校	アメリカ(2013年2月1日)	東北大学センター	高度教養教育・学生支援機構
⑮ リヨン大学 (国立応用科学院リヨン校金属材料物理研究所)	フランス(2015年6月2日) ※2004年1月23日国立応用科学院 リヨン校との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所 医学系研究科
⑯ 貿易大学	ベトナム(2015年12月19日)	東北大学-貿易大学共同事務所	高度教養教育・学生支援機構
⑰ 国立交通大学 (電気・コンピューター工学部)	台湾(2017年5月4日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 未来科学技術共同研究センター 工学研究科 理学研究科 材料科学高等研究所



施設所在地一覧

主要地区

- 1 片平キャンパス
- 2 川内キャンパス
- 3 青葉山キャンパス
- 4 星陵キャンパス



その他の地区

施設名	住所・郵便番号 (県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター(マイクロシステム融合研究開発センター)	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
国際交流会館三条第一会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(275)9901
② ユニバーシティ・ハウス三条	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(274)7305
国際交流会館三条第二会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-15	022(718)7850
③ 国際交流会館東仙台会館	〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022(293)5591
④ 電子光学研究センター	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3400
⑤ 東北大学けんこうプラザ	〒989-3204 仙台市青葉区南吉成6-6-5	022(341)2453
⑥ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎字桐ヶ崎15-3-1	0225(53)3374
⑦ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2242 牡鹿郡女川町小浜浜字向3-1	0225(53)2436
⑧ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター(教育関係共同利用拠点)	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑨ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎町鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑩ 生命科学研究所水生生態系野外実験施設	〒989-4104 大崎町鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
⑪ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏蔵王観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	0224(34)2743
⑫ 生命科学研究所附属浅海海洋生物学教育研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑬ 学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030-0111 青森県青森市大字荒川十和田八幡平国立公園酸々湯集団施設	017(738)0621
⑭ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市將軍野南1-14-46	018(845)8716
⑮ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(本荘地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築字西の角4	0184(29)2124
⑯ 理学研究科(三陸地震観測所)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑰ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター(遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑱ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
金属材料研究所附属産学官広域連携センター(大阪オフィス)	〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-2 大阪府立大学内 地域連携研究機構8階	072(254)6372
金属材料研究所附属産学官広域連携センター(兵庫オフィス)	〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学内 インキュベーションセンター2階	079(260)7209
⑳ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏飯館観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯館村前田	0244(42)0530
㉑ ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県豊稗市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
㉒ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階	03(3218)9612
㉓ 東京サイト	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3602
㉔ 経済学研究科会計専門職専攻国際会計政策コース拠点(IGSAP)	〒132-0035 東京都江戸川区平井6-1-17	03(6869)3195

学寮、ユニバーシティ・ハウス、国際交流会館

施設名称	収容定員	所在地	電話番号
日就寮(日本人学生の男子)	103名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-1858
以文寮(日本人学生の男子)	96名	〒982-0832 //	022-229-5392
齋風寮(日本人学生の男子)	81名	〒982-0832 //	022-229-4954
如春寮(日本人学生の女子)	64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857
明善寮(日本人学生の男子)	160名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-3-2	022-234-0134
松風寮(日本人学生の男子)	150名	〒980-0011 //	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス青葉山(日本人学生及び留学生の男女)	752名	〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	(問合せ先) 学生支援課 生活支援係 022-795-3943
ユニバーシティ・ハウス三条(日本人学生及び留学生の男女)	416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ(日本人学生及び留学生の男女)	216名	〒981-0935 //	022-718-2021
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅲ(日本人学生及び留学生の男女)	208名	〒981-0935 //	//
ユニバーシティ・ハウス上杉(日本人学生及び留学生の男女)	32名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6-3-2	(問合せ先) 学生支援課 生活支援係 022-795-3943
ユニバーシティ・ハウス長町(日本人学生及び留学生の男女)	48名	〒982-0011 仙台市太白区長町8-6-10	022-797-9301
ユニバーシティ・ハウス片平(日本人学生及び留学生の男女、外国人研究者)	81名	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-14-15	022-718-7850
国際交流会館三条第一会館(留学生の男女、外国人研究者)	254名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-275-9901
国際交流会館三条第二会館(留学生の男女)	108名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-15	022-718-7850
国際交流会館東仙台会館(留学生の男女)	70名	〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022-293-5591

課外活動施設

施設名称	住所
評定河原陸上競技場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1
金房ボート艇庫	〒989-1505 柴田郡川崎町大字小野字西田10-5
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50
七ヶ浜ヨット艇庫	〒985-0802 宮城県七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷61-1
萩雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉荒敷820-1
清溪小屋	〒989-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳国有林305口林小班
片平体育館	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
片平第(2・5・6)ホール	//
富沢野球場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5
富沢自動車練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-6
馬場	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
川内サブアリーナ	〒980-8576 仙台市青葉区川内41
川内課外活動共用施設(川内ホール)	//
川内サークル部室棟、川内サークル部室棟Ⅱ	//
川内課外活動共用施設A	//
川内課外活動共用施設B	//
サークルE・F・G棟	//



ユニバーシティ・ハウス片平

建物配置図

1 片平キャンパス

大学本部、研究所



エクステンション教育研究棟

本部事務機構

- 総長室経営企画スタッフ室 26
- 総務企画部総務課 26
- 総務企画部社会連携課 28
- 総務企画部法務課 27
- 総務企画部コンプライアンス推進課 27
- 総務企画部国際交流課 30
- 総務企画部広報室 28
- 人事企画部人事企画課 29
- 人事企画部人事給与課 29
- 人事企画部環境安全推進課 40
- 財務部 29
- 研究推進部 29
- 施設部 34
- 情報部情報推進課 27
- 監査室 27

経済学研究科

- 地域イノベーション研究センター 41

生命科学研究科

- 事務室 36
- 生命科学研究科本館 37
- 生命科学プロジェクト総合研究棟 36
- 環境制御実験棟 38

法科大学院、公共政策大学院

- 事務室 41

会計大学院

- 事務室、研究室 35
- 講義室 41

金属材料研究所

- 本多記念館(事務室) 9
- 1号館、2号館、3号館、4号館 10 11 12 17
- 10号館(放送大学宮城学習センター) 1
- 共同研究プロジェクト棟 4
- スーパーコンピュータ棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 技術棟I、技術棟II 7 8
- 共通ラボ棟 15
- 国際教育研究棟 16
- 附属新素材共同研究開発センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 附属強磁場超伝導材料研究センター別館 75
- 極低温科学センター 3

流体科学研究所

- 事務室 42
- 流体研1号館、2号館、3号館 42 44 45
- 高速流実験棟 46
- 衝撃波学際応用実験棟 47
- 低乱流洞実験棟 70
- 流動ダイナミクス棟 43
- ジョイントラボラトリー棟 48
- 附属未到エネルギー研究センター 44

電気通信研究所

- 事務室 76
- 通研本館 76
- 通研1号館、2号館 61 62 63
- ブレインウェア研究開発施設 64 65
- 評価分析センター 66
- 共同研究棟 67
- ナノ・スピンの実験施設 59
- 21世紀情報通信研究開発センター 71 72

多元物質科学研究所

- 事務部棟 51
- 多元研東1号館(反応化学研究棟1号館) 19
- 多元研東2号館(反応化学研究棟2号館) 22
- 多元研東3号館(反応化学研究棟旧館) 21
- 多元研西1号館(科学計測研究棟S棟) 24
- 多元研西2号館(科学計測研究棟N棟) 23
- 多元研西工場(工場棟) 25
- 多元研南1号館(素材工学研究棟1号館) 52
- 多元研南2号館(素材工学研究棟2号館) 53
- 多元研南3号館(素材工学研究棟3号館) 54

- 南総合研究棟1(材料・物性総合研究棟II) 57
- 南総合研究棟2(材料・物性総合研究棟I) 58
- 多元研共同研究棟 55
- 多元研図書室 31
- 材料科学高等研究所(AIMR)
- 事務室 30
- AIMR本館 30
- AIMRラボ棟 17
- AIMR別館 20
- 史料館 33
- 研究教育基盤技術センター片平分室 36
- 先端電子顕微鏡センター 32
- 産学連携機構 29
- 埋蔵文化財調査室 34 39
- キャンパスデザイン室 34
- 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター 59
- 情報公開室 27
- 産学連携先端材料研究開発センター 73
- エクステンション教育研究棟 41

- 文化財収蔵庫 49
- 片平北門会館 50
- ユニバーシティハウス片平、エスパス、セリシール、北門ラウンジ
- 厚生施設(さくらショップ)
- 厚生施設(さくらキッチン・レストラン)
- 片平会館 2
- さくらホール 56
- 片平体育館 69
- 知の館 77
- 男女共同参画推進センター 41
- 耐災害ICT研究センター 74



〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

電話番号案内 022(717)7800



2 川内キャンパス

人文社会科学学部、全学教育

●土地:817,777㎡ ●建物:140,373㎡(平成30年7月1日現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 電話番号案内 022(717)7800



本部事務機構

- 教育・学生支援部(教育・学生総合支援センター) 7
- 教育・学生支援部入試課 19
- 文学部・文学研究科
- 事務室 22
- 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
- 教育学部・教育学研究科
- 事務室 25
- 法学部・法学研究科
- 事務室 23
- 文学研究科・法学研究科合同研究棟 24
- 経済学部・経済学研究科
- 事務室 28
- 演習室 28 29
- 国際文化研究科
- 事務室 6
- 附属言語脳認知総合科学研究センター 6
- 附属図書館 本館 20
- 東北アジア研究センター
- 事務室・研究室 3
- 分室 19
- 高度教養教育・学生支援機構
- 事務室 3
- 保健管理センター、
- 学生相談・特別支援センター(学生相談所)、
- ハラスメント全学学生相談窓口 4
- 入試センター 19

- 学生相談・特別支援センター(特別支援室) 33
- キャリア支援センター 7
- 大学教育支援センター 3
- 学習支援センター(SLAサポート) 11
- グローバルラーニングセンター 17
- 教養教育院 1

植物園

- 本館 30
- 津田記念館 31
- 教育情報基盤センター 11

学生実験棟

- 川北合同研究棟 3
- 講義棟A棟、B棟、C棟 8 9 10
- マルチメディア教育研究棟 11
- 文科系総合講義棟 36
- 中講義棟 26
- 文科系総合研究棟 25
- 文科系合同研究棟 27
- サークルE棟 5
- サークルF・G棟 12
- 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) 13
- 川内サブアリーナ 14
- 川内体育館(川内アリーナ) 15
- 川内課外活動共用施設B 16
- 川内課外活動共用施設A 17
- 教育研究基盤支援棟4 33
- 教育研究基盤支援棟5 34

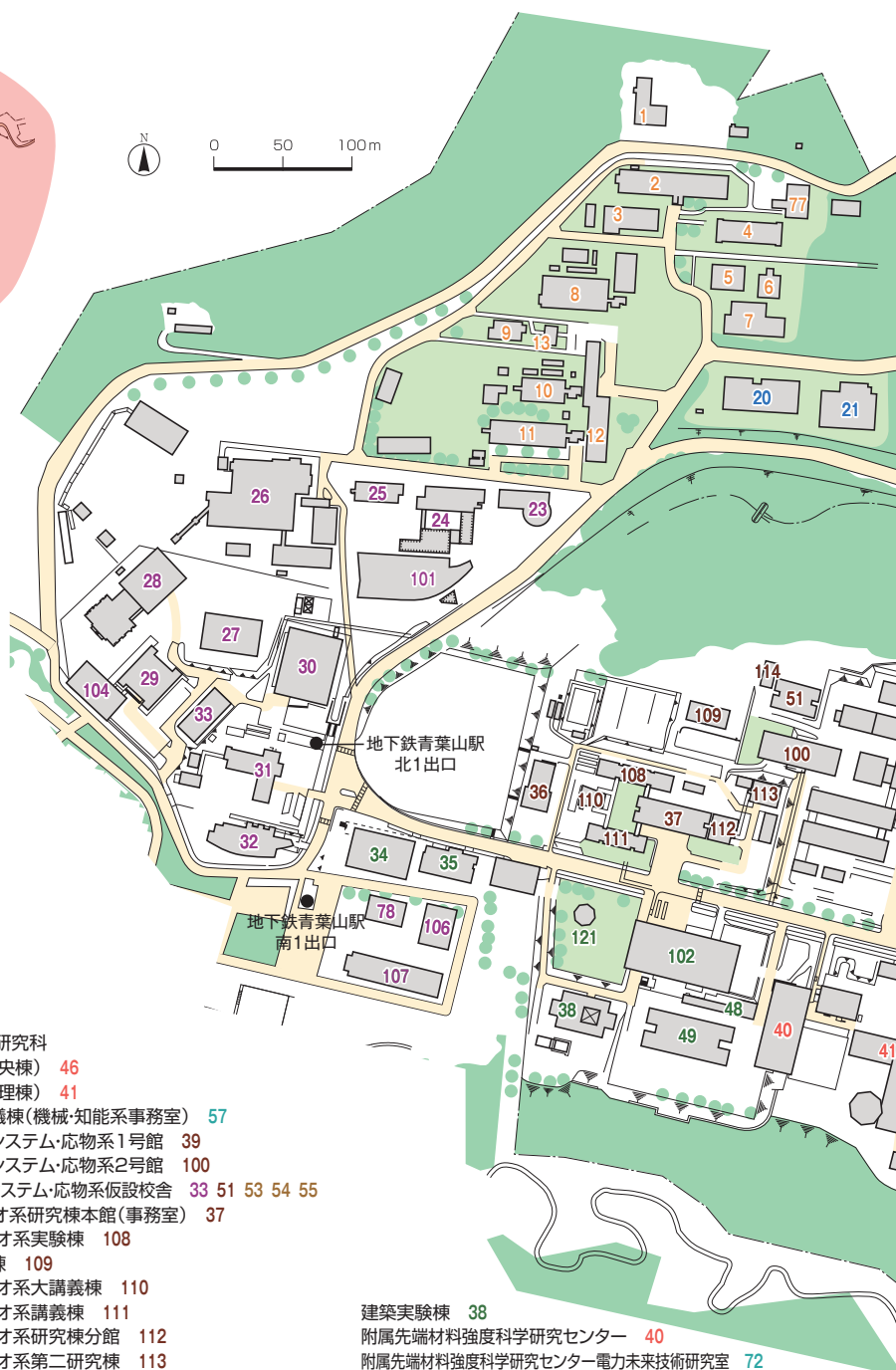
- 川内サークル部室棟 18
- 川内サークル部室棟Ⅱ 37
- 川内課外活動共用施設(川内ホール) 35
- 百周年記念会館(川内萩ホール) 21
- 厚生施設(文系食堂) 32



川内キャンパス

青葉山キャンパス

理工学学部



＜青葉山キャンパス＞

本部事務機構

情報部情報基盤課 29

理学部・理学研究科

事務棟 12

理学研究科合同A棟・B棟 24

理学研究科合同A棟別館 25

理学研究科大講義棟 5

理学研究科合同C棟 101

数学系研究棟 7

物理系研究棟 2

物理系講義棟 3

物理・化学合同棟 4

化学系研究棟 8

地球科学系研究棟 11

生物学系研究棟 10

超伝導核磁気共鳴装置棟 13

数理学記念館 6

巨大分子解析センター棟 9

附属大気海洋変動観測研究センター 2

附属惑星プラズマ・大気研究センター 2

附属地震・噴火予知研究観測センター 68

機器開発研修棟 77

薬学部・薬学研究科

事務室 15

薬学研究科A棟 15

薬学研究科B棟 16

薬学研究科C棟 17

薬学研究科D棟 18

附属薬用植物園管理棟 19

工学部・工学研究科

事務室(中央棟) 46

事務室(管理棟) 41

機械系講義棟(機械・知能系事務室) 57

電子情報システム・応物系1号館 39

電子情報システム・応物系2号館 100

電子情報システム・応物系仮設校舎 33 51 53 54 55

化学・バイオ系研究棟本館(事務室) 37

化学・バイオ系実験棟 108

総合実験棟 109

化学・バイオ系大講義棟 110

化学・バイオ系講義棟 111

化学・バイオ系研究棟分館 112

化学・バイオ系第二研究棟 113

超臨界溶媒工学研究棟 114

マテリアル・開発系教育研究棟(事務室) 103

マテリアル・開発系マテリアル共同研究棟 60

マテリアル・開発系 革新材料研究棟 73

マテリアル・開発系実験・工場棟 79

マテリアル・開発系材料実験棟 115

マテリアル・開発系大講義棟 118

人間・環境系教育研究棟 102

建築CLTモデル実証棟 121

教育研究基盤支援棟19[A1] 48

社会環境工学実験棟 49

工学系総合研究棟 40

創造工学センター 43

電子情報システム・応物系3号館 31

建築実験所 27

建築実験棟 38

附属先端材料強度科学研究センター 40

附属先端材料強度科学研究センター電力未来技術研究室 72

附属超臨界溶媒工学研究センター 40

附属マイクロ・ナノマシニング研究教育センター 64

技術社会システム専攻 40

機械系1号館 80

機械系実験棟I 81

機械系実験棟J 82

機械系実験研究棟 83

機械・知能系教育実験棟 84

附属先端材料強度科学研究センター環境材料強度研究棟 85

機械系2号館 86

機械・知能系共同棟 87

量子エネルギー工学専攻本館 88

量子エネルギー工学専攻講義棟 89

放射線同位元素実験室 90

生活環境早期復旧技術研究センター研究棟 91

●土地: 1,577,230㎡ ●建物: 392,381㎡ (平成30年7月1日現在)

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 農学研究科・農学部・環境科学研究科・災害科学国際研究所 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800



青葉山キャンパス

中央棟

青葉山植物園ゲート

生活環境早期復旧技術研究センター実験棟 92
 先進核融合炉工学総合実験棟 93
 高速中性子実験棟 94
 臨界未満装置実験室(量子エネルギー科学館) 95
 ナノ医工学実験棟 96
 ナノ医工学研究棟 97

情報科学研究科
 研究棟・事務室 32
 研究室 31 32 39 51 80 86 87 100 102
 生命科学研究所
 研究室 8 10 24 25

環境科学研究科
 研究棟 56
 エコラボ 58
 医工学研究科
 事務室 41
 研究室 39 40 41 80 100
 附属図書館 北青葉山分館 21
 附属図書館 工学分館 44
 ニュートリノ科学研究センター 22
 総合学術博物館 23
 自然史標本館 23
 国際高等研究教育院 28
 学際科学フロンティア研究所 28
 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 26
 未来科学技術共同研究センター(NICHe) 35
 極低温科学センター 1
 サイバーサイエンスセンター 29
 サイバーサイエンスセンター2号館 104
 環境保全センター 67
 未来情報産業研究館 34
 未来産業技術共同研究館 78
 青葉山体育館 30
 厚生施設(けやきダイニング) 36
 厚生施設(北青葉山厚生会館) 20
 ハッチェリースクエア 42
 厚生施設(あおば食堂) 46
 青葉記念会館 45
 厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) 65
 自動車の過去・未来館 66
 厚生施設「BOOOK」(ブックカフェ、売店) 47

青葉山キャンパス

理工系学部

●土地:1,577,230㎡ ●建物:392,381㎡(平成30年7月1日現在)

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
農学研究科・農学部・環境科学研究科・災害科学国際研究所 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部・情報科学研究科 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
電話番号案内 022(717)7800



<青葉山新キャンパス>

- 農学部・農学研究科
- 事務室 110
- 総合研究棟 110
- 附属動物研究棟 111
- 環境科学研究科
- 環境科学研究科本館 108
- 災害科学国際研究所
- 災害科学国際研究所棟 105
- 青葉山 commons 109
- 附属図書館農学分館
- 厚生施設(みどり食堂)
- 厚生施設(みどりショップ)
- 国際集積エレクトロニクス研究開発センター 98
- エネルギーセンター 99
- レジリエント社会構築イノベーションセンター 106
- レアメタル総合棟 107
- 青葉山みどり厚生会館 120



4 星陵キャンパス

医・歯学部、病院

●土地: 179,214㎡ ●建物: 334,449㎡ (平成30年7月1日現在)

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 東北メディカル・メガバンク機構 〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 電話番号案内 022(717)7000



医学部・医学系研究科

事務室 19
 医学部0号館 16
 医学部1号館 19
 医学部2号館 33
 医学部3号館 34
 医学部4号館 17
 医学部5号館 20
 医学部6号館 44
 保健学科D棟 42
 教育研究基盤支援棟 41
 保健学科A棟 13
 保健学科B棟 12
 フロンティア研究棟 14
 プリオン研究実験棟 23
 動物実験施設 24
 実習講義棟 18
 臨床講義棟 35
 創生応用医学研究センター 20
 オートプシー・イメージングセンター 12
 環境遺伝医学総合研究センター 44
 総合地域医療研修センター 38
 東北大学クリニカルスキルスラボ 38

歯学部・歯学研究科

事務室 10
 基礎研究棟 8
 実習講義棟 9
 臨床研究棟 10
 第2臨床研究棟 40

薬学研究科

研究室 44

医工学研究科

研究室 3 10 17 19 21 33 34 44
 医工学実験棟 21

加齢医学研究所

事務室 4
 加齢研実験研究棟 3
 プロジェクト総合研究棟 4
 スマート・エイジング研究棟 39
 ブレインイメージング研究棟 6
 ブレインダイナミクス研究棟 7
 腫瘍動物実験棟 5
 先進フロンティア研究棟 11
 先端医療実験棟 47
 動物資源実験棟 48
 附属図書館 医学分館 37

病院

事務室(管理棟) 31
 外来診療棟 36
 中央診療棟 32
 西病棟 28
 東病棟 29
 臨床研究推進センター 27
 先端医療技術トレーニングセンター 43
 星陵レジデンス 46
 先進医療棟 30

動物実験センター 26
 遺伝子実験センター 3
 東北メディカル・メガバンク棟 45
 RI星陵サブセンター 25
 星陵学生サークル棟 1
 星陵体育館 2
 星陵会館(厚生施設)医学部開設百周年記念ホール
 ルー・星陵オーデトリウム 15
 医学部良陵会館 38



星陵キャンパス

東北大学概要 2018

●
[編集・発行]
平成30年8月

東北大学総務企画部広報室
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

●
<http://www.tohoku.ac.jp/>

